MultiImpact 700 シリーズ

ドットインパクトプリンタ
オンラインマニュアル

MultiImpact 700XX2
MultiImpact 700XX2N
MultiImpact 700JX3
MultiImpact 700JX3N
MultiImpact 700LX2
MultiImpact 700EX

808-830126-104-A
初版

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpact、BarcodeStudioは日本電気株式会社の登録商標です。
PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。
Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。
Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。
Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。
Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

808-830126-104-A　初版

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本マニュアルは、次に示すNEC ドットプリンタを正しくお使いいただくための手引き書です（以降の説明ではこれらをまとめて「MultiImpact 700」と呼びます)。

- MultiImpact 700XX2
- MultiImpact 700XX2N
- MultiImpact 700JX3
- MultiImpact 700JX3N
- MultiImpact 700LX2
- MultiImpact 700EX

本マニュアルにはMultiImpact 700の操作に必要な情報を記載しています。日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。
尚、ユーザーズマニュアルではプリンタを初めてお使いになるときの手順や日常の保守、「故障かな？」と思ったときの処置方法が､ソフトウェアマニュアルではプリンタドライバなど添付ソフトウェアのインストール方法が記載されています。併せてご利用ください。

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第1章　プリンタドライバ

各OSの印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第2章　リモートパネル

リモートパネルの使い方や設定の変更方法について説明しています。

第3章　PrinterSignalStation

PrinterSignalStationの使用方法について説明しています。

付録　技術情報

テスト印刷のサンプルや文字コード表を載せています。

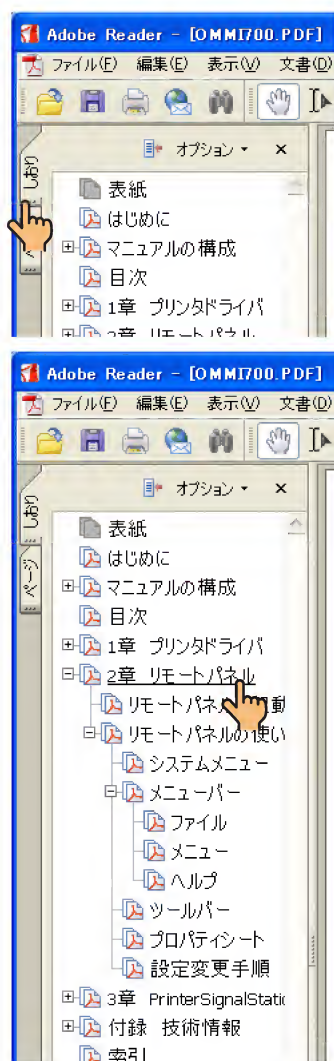
オンラインマニュアルの使い方

このオンラインマニュアルは、目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネール、リンクが設定してあります。ここではしおりやサムネール、リンクの使い方、印刷方法などをAdobe Readerを使用して簡単に説明します。Adobe Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの［Adobe Readerのヘルプ］をご覧ください。

目的のページを表示する

［しおり］、［サムネール］のナビゲーション機能やリンク機能を使って目的のページを表示します。

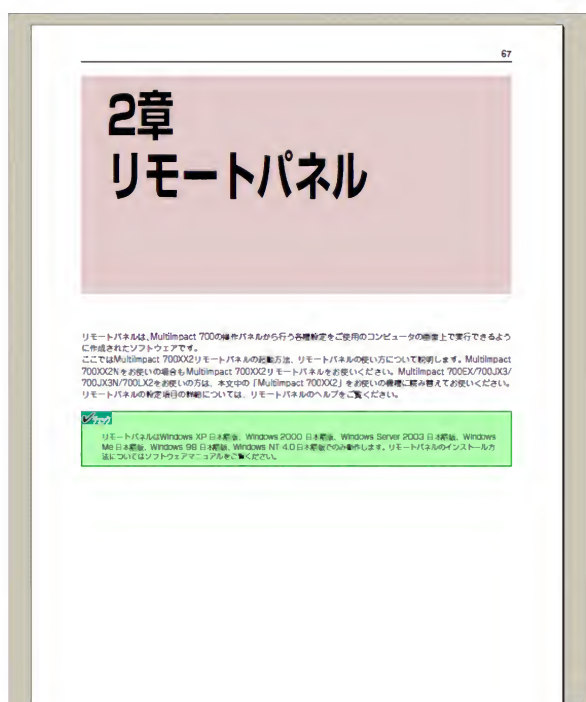
しおりを使う

しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。

1. ［しおり］タブをクリックする。

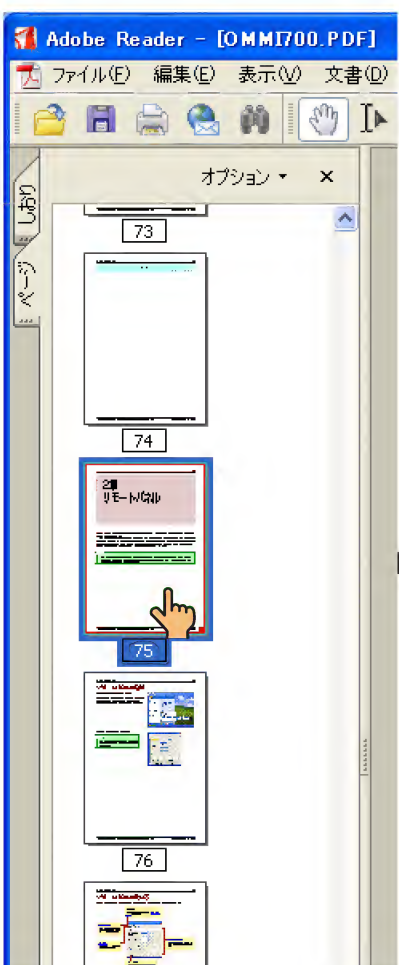
2. ［手のひら］ツールを表示させる。

3. 表示させたいしおりを選びクリックする。

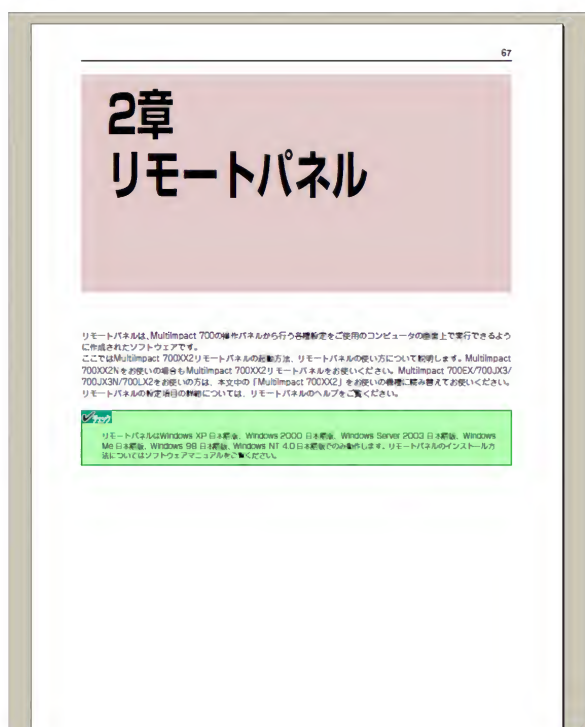
   しおりの上へ［手のひら］ツールを移動すると［指さし］の形に変わるので、その場所をクリックしてください。選んだしおりのページが表示されます。

   階層化された項目は、項目名の左側に［+］、［—］の記号が表示されます。その下の階層は［+］を押すと表示し、［—］を押すと非表示になります。

サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、クリックすることで目的のページを表示することができます。

1. ［ページ］タブをクリックする。

2. ［手のひら］ツールを表示させる。

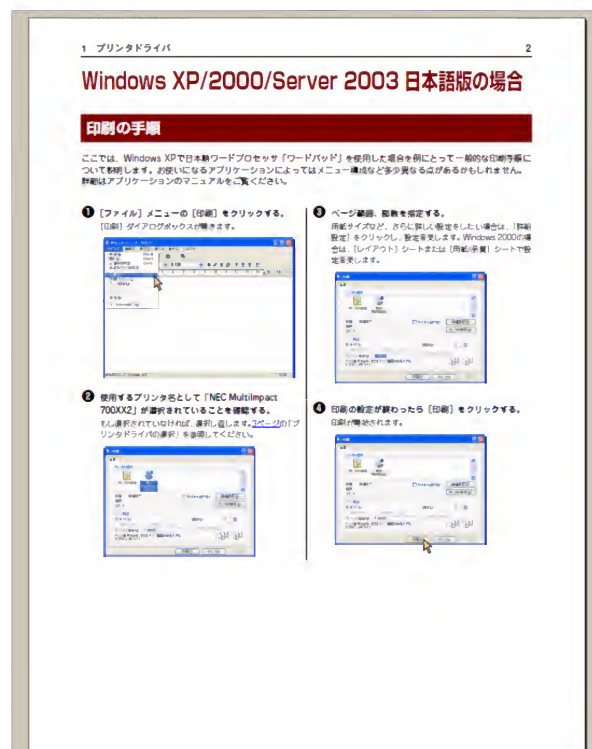
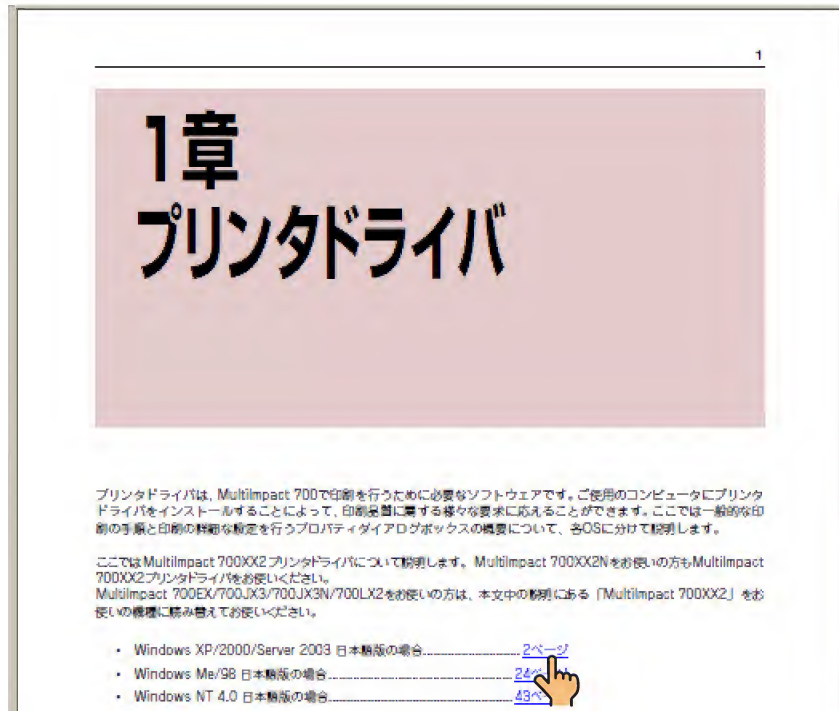
3. 表示させたいページのサムネールを選びダブルクリックする。

サムネールの上へ［手のひら］ツールを移動すると［矢印］の形に変わるので、その場所をダブルクリックしてください。選んだページが表示されます。

リンクを使う

リンクをクリックすると、目的のページへジャンプする機能です。本マニュアルでは、目的ページや文章内の青の下線文字にリンクの設定がしてあります。［手のひら］ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

1. ［手のひら］ツールをクリックする。

2. リンクのある場所をクリックする。

リンクのある場所へ[手のひら]ツールを移動すると[指さし]の形に変わるので､その場所をクリックしてください。

目次

はじめに iv
マニュアルの構成 iv
オンラインマニュアルの使い方 v
目的のページを表示する v

1章　プリンタドライバ 1

Windows XP/2000/Server 2003 日本語版の場合 2
印刷の手順 2
プリンタドライバの選択 3
印刷先の変更 4
共有プリンタに設定する 6
印刷の詳細設定 7
［プロパティ］ダイアログボックスを開く 8
［印刷設定］ダイアログボックスで詳細設定を行う 11
［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う 17
Windows Me/98 日本語版の場合 24
印刷の手順 24
印刷する 24
NEC Print Server Port のインストール方法 25
プリンタドライバの選択 27
印刷先の変更 28
共有プリンタに設定する 30
印刷の詳細設定 32
［プロパティ］ダイアログボックスを開く 33
プロパティシートで詳細設定を行う 35
Windows NT 4.0 日本語版の場合 43
印刷の手順 43
プリンタドライバの選択 44
印刷先の変更 45
共有プリンタに設定する 47
印刷の詳細設定 48
［プロパティ］ダイアログボックスを開く 49
［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う 52
［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う 60

2章　リモートパネル 67

リモートパネルの起動 68
リモートパネルの使い方 69
システムメニュー 69
メニューバー 70
ツールバー 72
プロパティシート 73
設定変更手順 74

3章　PrinterSignalStation 75

PrinterSignalStation の使用できる環境 75
PrinterSignalStation に関する注意事項 76
PrinterSignalStation を動作させる前に 76
PrinterSignalStation の制限事項 76
転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境についてのご注意 76
ソフトウェアの起動 77
タスクトレイアイコン 77
バルーンポップアップ 78
メニューの起動 79
プリンタ一覧 82
状態 82
環境設定 83
リモートパネルの起動 87
ヘルプを見る 87
トレイアイコン 88
ステータス 88
PrinterSignalStation が正しく動作しないときは 89

付録　技術情報 95

文字コード表 96
1 バイト系コード表 97
8 ビットコード表 97
7 ビットコード表 98
漢字コード表（2 バイト系コード表） 99
テスト印刷サンプル 104
制御コード一覧 106
基本制御コード表 106
拡張制御コード表 107

新制御コードのコマンド仕様 110
EM　同期コード 110
FS 05f　縮小設定 110
FS 06F　書体選択 111
ESC c8　パラメータリセット 111
FS 05F　漢字コード表の選択 111
FS 02 ER　カット紙手前側排出モードの設定 112
FS 02 EF　カット紙奥側排出モードの設定 ... 112
ESC m 1　フロントトラクタフィーダモードの設定 112
ESC m 2　カット紙用紙モードの設定 112
ESC m 3　リアトラクタフィーダモードの設定 113
特殊文字の印刷 114
バーコードを印刷する 114
制御コード 114
FS'　バーコード印刷 114
バーコードの概要 116
バーコードの種類 116
バーコード指令の概要 116
バーコードの横の長さ 117
バーコード印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意 117
カスタマバーコードを印刷する 119
カスタマバーコードのフォーマット 119
カスタマバーコードのコード体系 121
カスタマバーコードの印刷位置 124
OCR-B 相当フォントを印刷する 125
FS 0 6 F　書体選択 125

1章 プリンタドライバ

プリンタドライバは、MultiImpact 700で印刷を行うために必要なソフトウェアです。ご使用のコンピュータにプリンタドライバをインストールすることによって、印刷品質に関する様々な要求に応えることができます。ここでは一般的な印刷の手順と印刷の詳細な設定を行うプロパティダイアログボックスの概要について、各OSに分けて説明します。

ここではMultiImpact 700XX2プリンタドライバについて説明します。MultiImpact 700XX2Nをお使いの方もMultiImpact 700XX2プリンタドライバをお使いください。
MultiImpact 700JX3/700JX3N/700LX2/700EXをお使いの方は、本文中の説明にある「MultiImpact 700XX2」をお使いの機種に読み替えてお使いください。

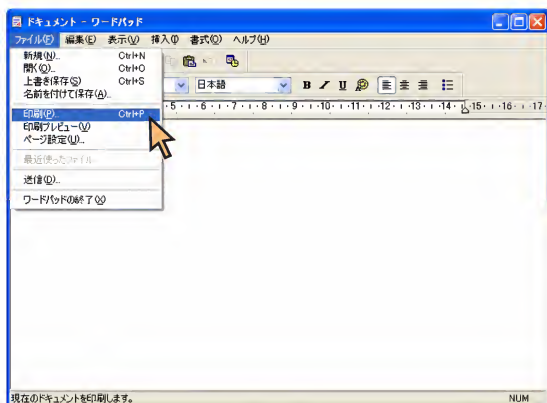
- Windows XP/2000/Server 2003 日本語版の場合........................... 2ページ
- Windows Me/98 日本語版の場合.. 24ページ
- Windows NT 4.0 日本語版の場合... 43ページ

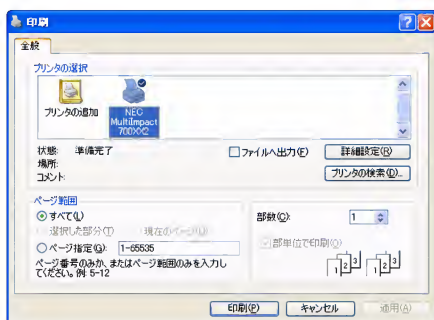
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版の場合

印刷の手順

ここでは、Windows XPで日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を使用した場合を例にとって一般的な印刷手順について説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

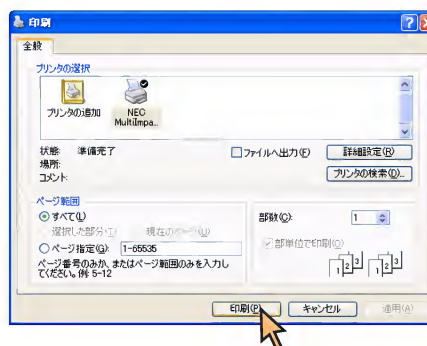
❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷ **使用するプリンタ名として「NEC MultiImpact 700XX2」が選択されていることを確認する。**

もし選択されていなければ、選択し直します。3ページの「プリンタドライバの選択」を参照してください。

❸ **ページ範囲、部数を指定する。**

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は、［詳細設定］をクリックし、設定変更します。Windows 2000の場合は、［レイアウト］シートまたは［用紙/品質］シートで設定変更します。

❹ **印刷の設定が終わったら［印刷］をクリックする。**

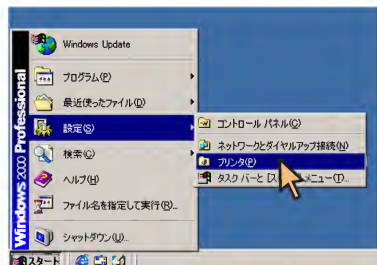
印刷が開始されます。

プリンタドライバの選択

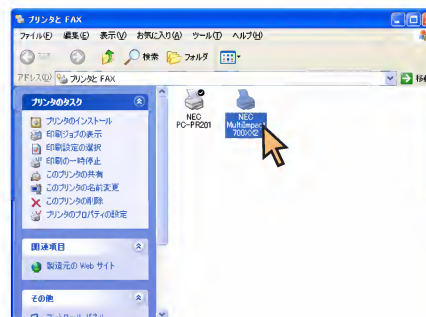
1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタドライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタドライバを選択します。

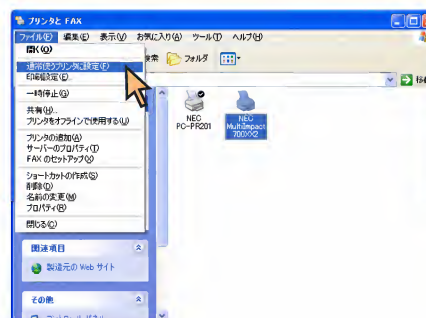
❶ ［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。

Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。

Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

❷「NEC MultiImpact 700XX2」アイコンをクリックする。

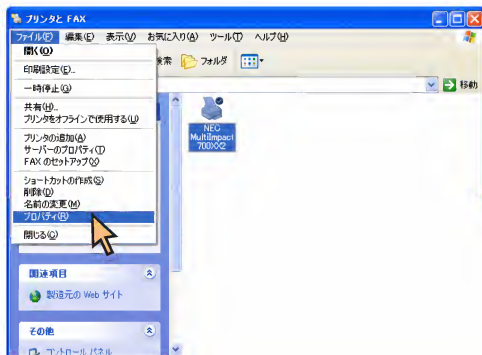
ドライバのインストール時に付けた名前が表示されます。

❸［ファイル］メニューの［通常使うプリンタ］をクリックする。

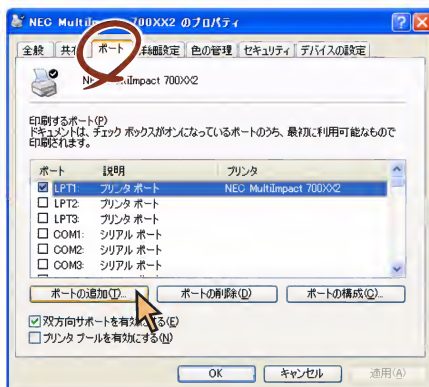
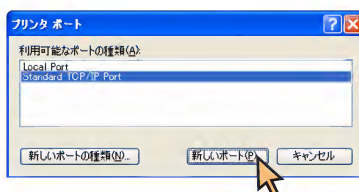
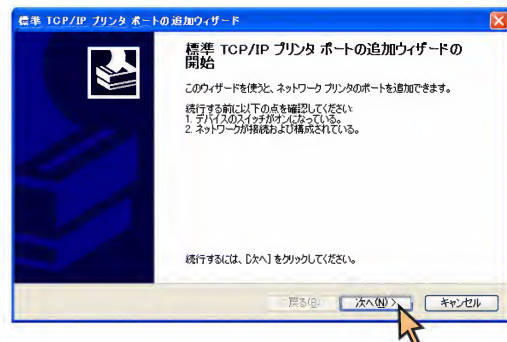
これでプリンタドライバが選択されます。

印刷先の変更

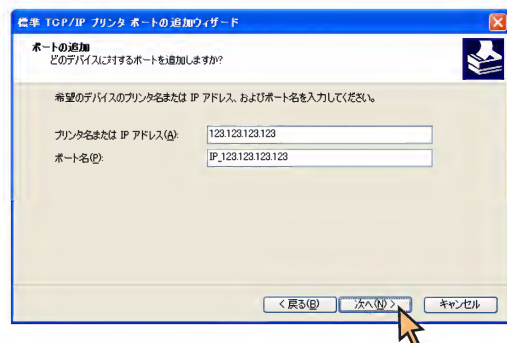
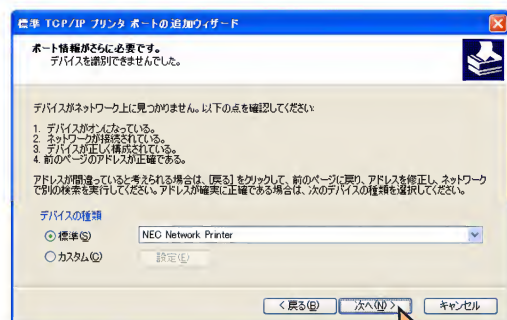
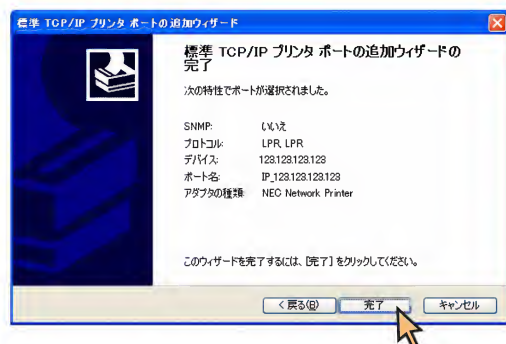
LANボード/LANアダプタによってネットワークに接続されているプリンタを指定する方法を説明します。プリンタソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの［ポート］プロパティシート上で行います。印刷先の変更は、「Standard TCP/IP Port」を使用した場合を例にとって説明します。LANボードやLANアダプタに関する詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

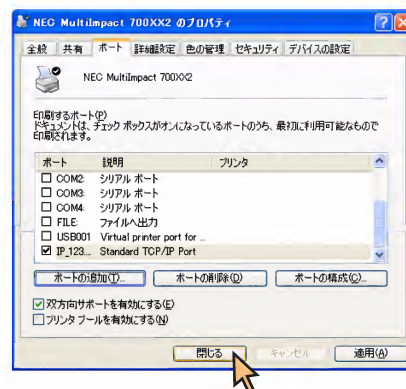
ここではWindows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版の環境で印刷先を変更する方法についてMultiImpact 700XX2 とNEC PR-NP-06を使用した場合を例にとって説明します。MultiImpact 700XX2NとMultiImpact 700JX3NにはPR-NP-06相当品が標準で装備されています。

❶ **［MultiImpact 700XX2のプロパティ］のダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタとFAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダの［NEC MultiImpact 700XX2］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］シートを開く。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［Standard TCP/IP Port］を選んで、［新しいポート］をクリックする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**

❻ **「NEC PR-NP-06」のIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。**

❼ **手順❻で入力された IP アドレスがネットワーク上に設定されていない場合、次のようなダイアログボックスが表示される。［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選択し、［次へ］をクリックする。表示されない場合は手順❽へ進んでください。**

❽［完了］をクリックする。

❾［閉じる］をクリックする。

印刷先の変更が完了しました。

共有プリンタに設定する

MultiImpact 700を、Windows XP 日本語版/2000 日本語版/Server 2003 日本語版環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。

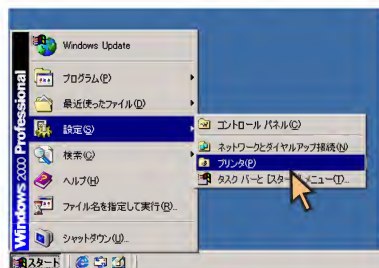
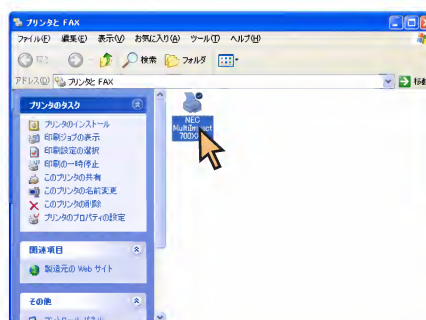
ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

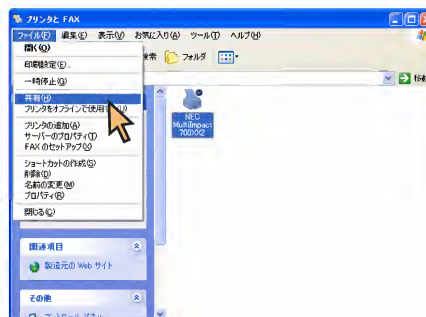
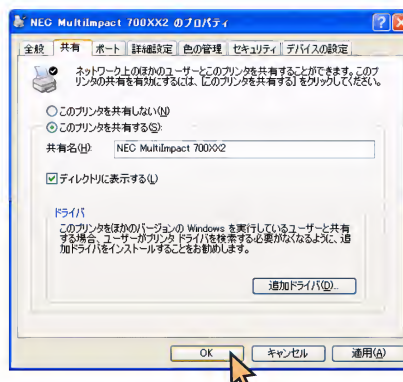
ここではWindows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版の環境で、共有プリンタとして設定する手順について説明します。

❶ **［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。**

Windows XP Professional/Server 2003の場合は、[スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合は、[スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア］、[プリンタとFAX］の順にクリックします。

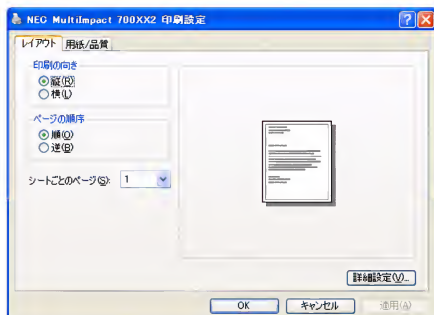
Windows 2000の場合は、[スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

❷ **「NEC MultiImpact 700XX2」アイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［共有］をクリックする。**

［NEC MultiImpact 700XX2のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❹ **［このプリンタを共有する］または［共有する］をチェックし、そのプリンタの共有名を入力し、[OK］をクリックする。**

これで共有プリンタの設定は完了です。

印刷の詳細設定

次のような2つの［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。

［印刷設定］ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の2つのプロパティシートから構成されています。

- ［レイアウト］シート
- ［用紙/品質］シート

［プロパティ］ダイアログボックス

プリンタのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の7枚のプロパティシートから構成されています。

- ［全般］シート
- ［共有］シート
- ［ポート］シート
- ［詳細設定］シート
- ［色の管理］シート
- ［セキュリティ］シート*
- ［デバイスの設定］シート

* Windows XP Home Editionの場合、表示されません。Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

チェック

アプリケーションによっては、ダイアログボックスの設定を変更するタイミングに関係なくアプリケーションからの設定が優先されるものがあります。また、［スタート］からの設定変更に合わせて、アプリケーションの設定も自動的に変わるなど、使用するアプリケーションによって異なりますのでアプリケーションのマニュアルを参照してください。

［プロパティ］ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法

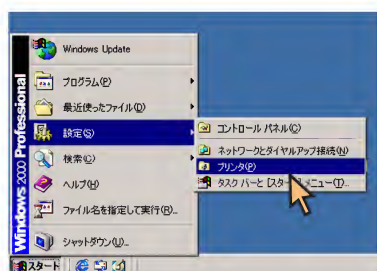
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

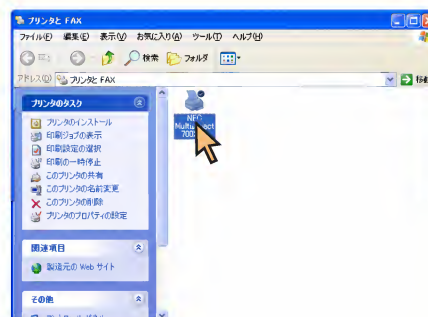
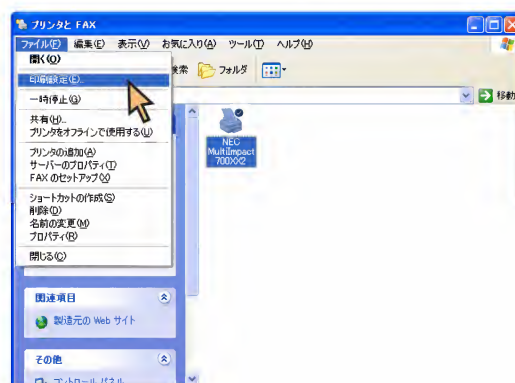
［スタート］ボタンを使って呼び出す

❶［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。

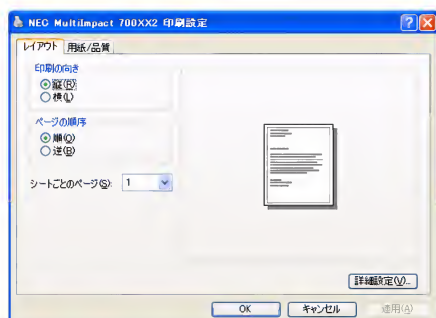
Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

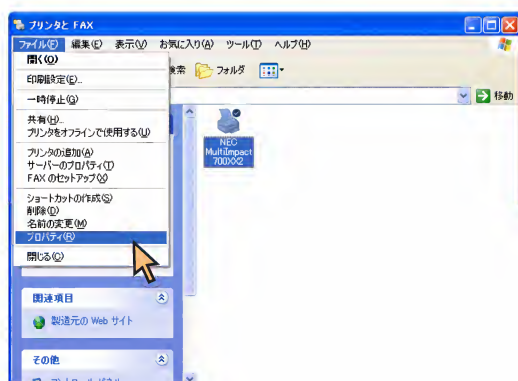
Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。

Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

❷「NEC MultiImpact 700XX2」アイコンをクリックする。

［印刷設定］ダイアログボックスを開きたいときは手順❸へ、［プロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❹へ進んでください。

❸［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックする。

［印刷設定］ダイアログボックスが開きます。

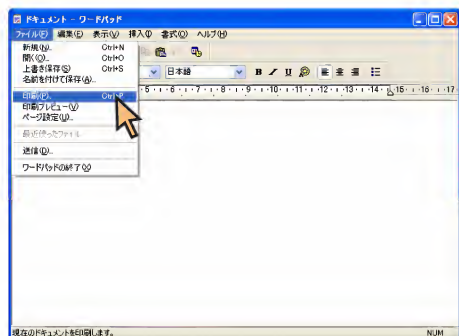
各プロパティシートについては、11ページからの「［印刷設定］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

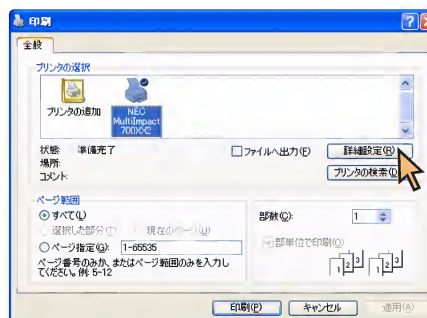
❹［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

［プロパティ］ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、17ページからの「［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドまたは［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

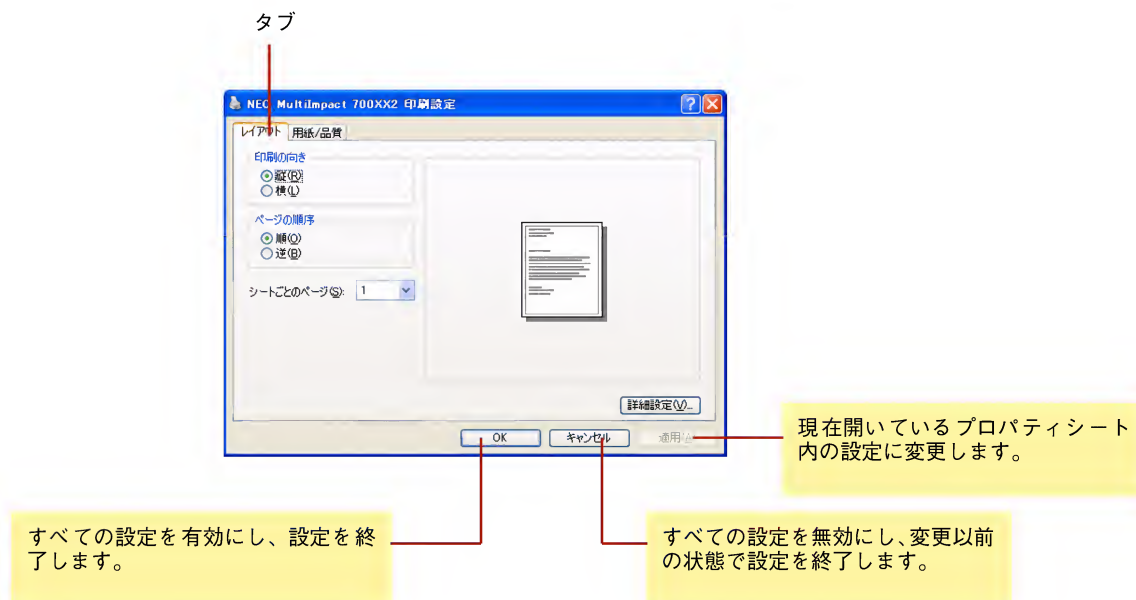
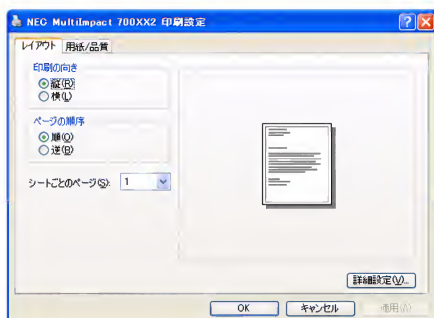
［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷［詳細設定］をクリックし、印刷の設定を行う。

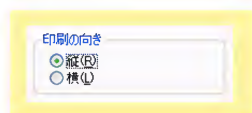
Windows 2000の場合は［レイアウト］シートおよび［用紙／品質］シートで、印刷の設定を行います。

チェック

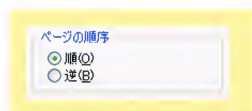
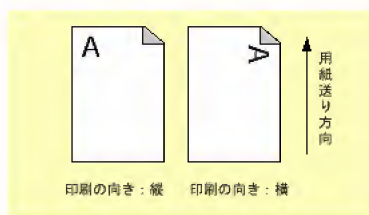
アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

[印刷設定] ダイアログボックスで詳細設定を行う

[印刷設定] ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

[レイアウト] シート

このプロパティシートは印刷の向き、ページの順序など印刷のレイアウトに関する設定を行うものです。

印刷の向き、ページの順序などを設定すると右側に表示されているイラストが設定に応じて変化します。

印刷の向き

縦：　用紙を縦長に使って印刷します。
横：　用紙を横長に使って印刷します。

ページの順序

順：　用紙をページの始めから順に印刷します。
逆：　用紙をページの終わりから順に印刷します。

シートごとのページ

1枚の用紙にドキュメントの何ページ分を印刷するかを指定します。

［用紙/品質］シート

このプロパティシートは給紙方法の選択、色に関する設定を行うものです。

トレイの選択

用紙の給紙方法を選択します。詳細は13ページをご覧ください。

色の選択

白黒　：　モノクロで印刷します。
カラー：　カラーで印刷します。

給紙方法について

給紙方法を選択します。MultiImpact 700XX2プリンタドライバがサポートする給紙方法は次のとおりです。

画面表示	内　容
自動選択	［デバイスの設定］プロパティシート上の給紙方法の設定に従います。
シートガイド	シートガイドに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートガイド（上余白0）＊1	シートガイドに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ	オプションのシートフィーダに用紙をセットします。＊2 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ（上余白0）＊1	オプションのシートフィーダに用紙をセットします。＊2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
フロントトラクタ	フロントトラクタに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
フロントトラクタ（上下余白0）＊1	フロントトラクタに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
リアトラクタ＊3，＊4	オプションのリアトラクタに用紙をセットします。＊5 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
リアトラクタ（上下余白0）＊1，＊3	オプションのリアトラクタに用紙をセットします。＊5 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。

＊1　通常の印刷では使用しません。印刷可能領域をミシン目近くまで取りたい場合にのみ、ご使用いただけますが、以下の点をご承知の上で使用してください。

- ユーザーズマニュアル記載の印刷保証領域以外は、かすれ等の印刷品位劣化が生じる場合があります。
- ミシン目上は印刷しないでください。ピン折れ等の障害が発生することがあります。

＊2　この設定をお使いになる場合は、［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［デバイスの設定］シートの［インストール可能なオプション］において［シートフィーダ］を［あり］に設定してください。

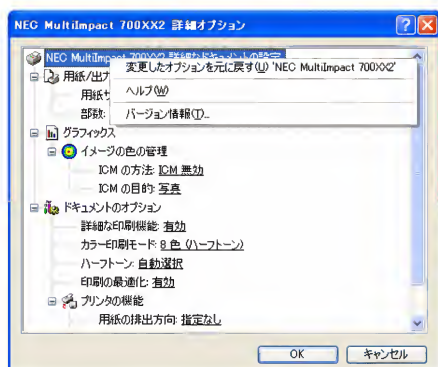
＊3　MultiImpact 700LX2 はリアトラクタをサポートしていません。

＊4　MultiImpact 700EX での名称は、「リアプルトラクタ」、「リアプッシュトラクタ」となります。

＊5　この設定をお使いになる場合は、［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［デバイスの設定］シートの［インストール可能なオプション］において［リアトラクタ］を［あり］に設定してください。

［詳細設定］

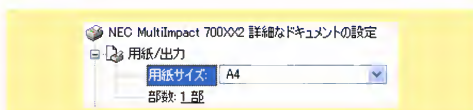
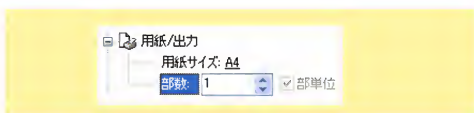
このボタンをクリックすると［詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。

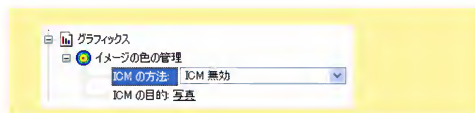
このダイアログボックスで印刷の詳細に関する以下の設定を行うことができます。

チェック

このダイアログボックスで右クリックすると、左の画面を表示します。

- 変更したオプションを元に戻す
変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
- バージョン情報
本プリンタに関する情報を表示します。

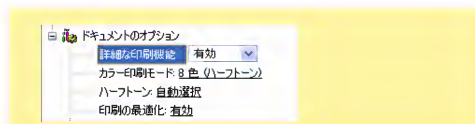
用紙サイズ

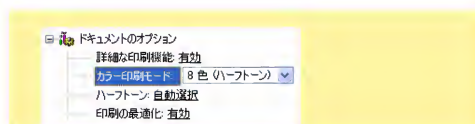
印刷用紙のサイズを選択します。
MultiImpact 700がサポートする用紙サイズについては16ページを参照してください。

部数

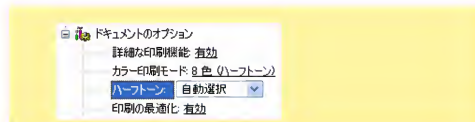
印刷部数を選択します。

ICMの方法*[1]

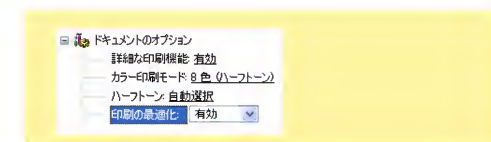
イメージカラーマッチング機能（ICM）を有効にするか、無効にするかを選択します。

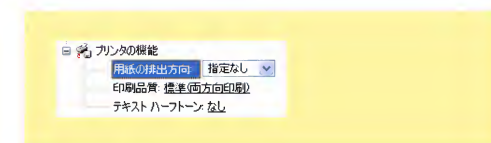
ICMの目的*[1]

イメージカラーマッチング機能の目的を選択します。

詳細な印刷機能

［詳細オプション］ダイアログボックスで設定した印刷機能を有効にするか、無効にするかを選択します。

カラー印刷モード*[1]

カラー印刷モードの種類を選択します。

ハーフトーン

ハーフトーンの設定方法を選択します。

印刷の最適化

印刷の最適化を有効にするか、無効にするかを選択します。

用紙の排出方向

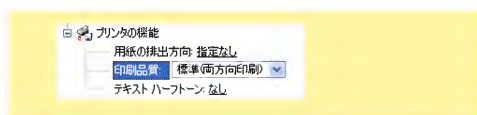
印刷した用紙の排出先を選択します。

- 指定なし

  用紙の排出方向を指定しません。プリンタ本体の設定が有効となります。
- 前方排出

  用紙をシートガイドに排出します。
- 後方排出

  用紙をスタッカに排出します。

*[1]　MultiImpact 700LX2/700EX はカラー印刷に対応していません。

印刷品質

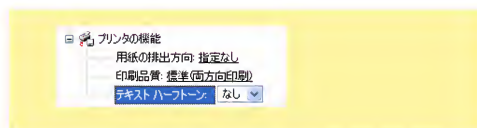
- 指定なし

  高速印刷および印刷方向（片方向／両方向）を指定しません。プリンタ本体の設定が有効となります。
- 標準（片方向印刷）

  左から右へ印刷を行います。最もきれいに印刷することができます。
- 標準（両方向印刷）

  両方向最短印刷を行います。片方向印刷に比べて印刷時間が短縮されます。
- 高速（片方向印刷）

  印刷データを 1 ドットおきに間引き、左から右へ印刷を行います。[標準（片方向印刷）] に比べて印刷時間が短縮されます。
- 高速（両方向印刷）

  印刷データを 1 ドットおきに間引いて両方向最短印刷を行います。最も高速に印刷することができます。

テキストハーフトーン＊[1]

TrueTypeフォントにハーフトーン処理を行うかを設定します。

- なし

  従来 OS と TrueType フォントの印刷結果が同じになります。
- 160

  ハーフトーン処理を行います。

＊1　Windows 2000 には、この設定はありません。

用紙サイズについて

用紙サイズを選択します。MultiImpact 700XX2プリンタドライバがサポートする用紙の種類は次のとおりです。給紙方法により、サポートする用紙が異なります。現在設定されている給紙方法で使用できない用紙を選択すると、使用不可のメッセージが出ます。

画面表示		内　容
A3	(297×420mm)	A3サイズの用紙を縦置きにセットします。
A3横	(420×297mm)	A3サイズの用紙を横置きにセットします。
A4	(210×297mm)	A4サイズの用紙を縦置きにセットします。
A4横	(297×210mm)	A4サイズの用紙を横置きにセットします。
A5	(148×210mm)	A5サイズの用紙を縦置きにセットします。
A5横	(210×148mm)	A5サイズの用紙を横置きにセットします。
B4	(257×364mm)	B4サイズの用紙を縦置きにセットします。
B4横	(364×257mm)	B4サイズの用紙を横置きにセットします。
B5	(182×257mm)	B5サイズの用紙を縦置きにセットします。
B5横	(257×182mm)	B5サイズの用紙を横置きにセットします。
はがき	(100×148mm)	はがきを縦置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
はがき横	(148×200mm)	はがきを横置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
往復はがき	(200×148mm)	往復はがきを縦置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
往復はがき横	(148×200mm)	往復はがきを横置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
10×11インチ		10インチ幅の連続紙をセットします。
15×11インチ		15インチ幅の連続紙をセットします。
封筒　角形2号　横		封筒　角形2号（332×240mm）を横置きにセットします。
封筒　角形3号　横		封筒　角形3号（277×216mm）を横置きにセットします。
封筒　長形3号　横		封筒　長形3号（235×120mm）を横置きにセットします。
封筒　長形4号　横		封筒　長形4号（205×90mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形2号　横		封筒　洋形2号（162×114mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形5号　横		封筒　洋形5号（217×95mm）を横置きにセットします。
名刺	(55×91mm)	名刺または名刺サイズの用紙を縦置きにセットします。
登録した用紙		Windows XP/2000/Server 2003の「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙を使用する場合は、登録した用紙名を選択してください。以下の範囲内で作成してください。用紙の登録方法については「ユーザー定義用紙サイズの登録」（22ページ）をご覧ください。 幅　50.8～420.05mm／高さ　25.4～541mm
上記の他に「15×1インチ」～「15×14インチ」などの連続紙を12種類選択することができます。		

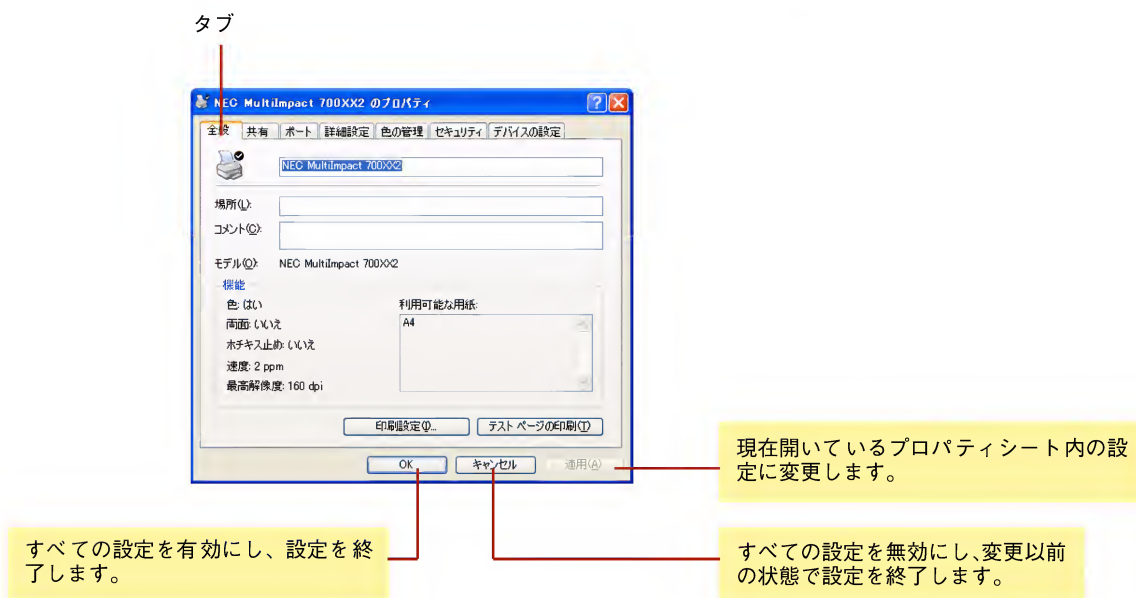
注意事項

- シートフィーダをお使いの場合は用紙サイズA3（縦置き）、A3横、B4（縦置き）は使用できません。
- シートフィーダをお使いの場合は封筒洋形2号、洋形5号は使用できません。
- ユーザー定義用紙サイズを上余白0mmまたは上下余白0mmで使用する場合は、給紙方法をシートガイド（上余白0）、シートフィーダ（上余白0）、フロントトラクタ（上下余白0）または、リアトラクタ（上下余白0）に設定してください。
- MultiImpact 700EXをお使いの場合は、上記の表に記載の以下の項目は使用（または選択）できません。
  - 封筒洋形2号
  - 洋形5号
  - 表末尾に記載の「15×1インチ」～「15×14インチ」など12種類の連続紙

  MultiImpact 700EXでシートフィーダをお使いの場合は、封筒と名刺は使用できません。

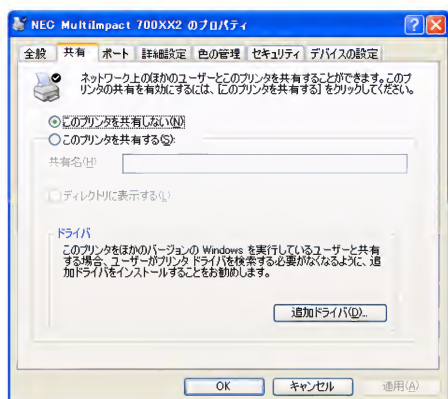
［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う

［プロパティ］ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

［全般］シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

［共有］シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

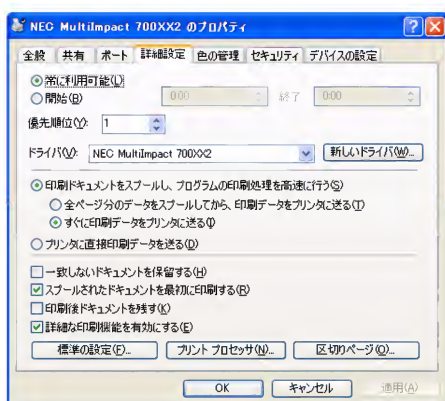
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

［ポート］シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

PrinterSignalStationを使用する場合は［双方向サポートを有効にする］を選択してください。

［詳細設定］シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

［色の管理］シート＊1

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

＊1　MultiImpact 700LX2/700EX はカラー印刷に対応していません。

［セキュリティ］シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

Windows XP Home Editionの場合、表示されません。
Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

［デバイスの設定］シート

このプロパティシートはデバイスの設定に関する以下の設定を行います。

> **チェック**
>
> このプロパティシートで右クリックすると、左の画面が表示されます。
>
> - 変更したオプションを元に戻す
>   変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
> - バージョン情報
>   プリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

給紙方法と用紙の割り当て

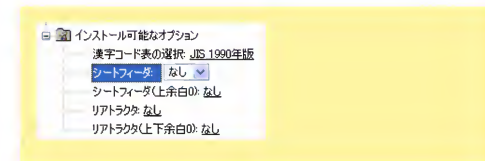
MultiImpact 700がサポートしている給紙方法から、使用するものを選択します。

ツリービューの中の給紙方法の1つをクリックすると給紙方法に割り当てる用紙が表示されます（MultiImpact 700でサポートする給紙方法については13ページを参照してください）。給紙方法に割り当てる用紙を選択します。

> **チェック**
>
> - 給紙方法として［自動選択］を選択したときに、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定が有効となります。設定方法については、21ページを参照してください。
> - オプションの［シートフィーダ］や［リアトラクタ］等は、［インストール可能なオプション］において使用するオプションを［あり］に設定した場合に有効となります。

漢字コード表の選択

漢字コード表の選択を設定します。

- JIS1978年版
  JIS1978年版漢字コード表で印刷します。
- JIS1990年版
  JIS1990年版漢字コード表で印刷します。

シートフィーダ、シートフィーダ（上余白0）
リアトラクタ、リアトラクタ（上下余白0）

オプション装置の有無を設定します。

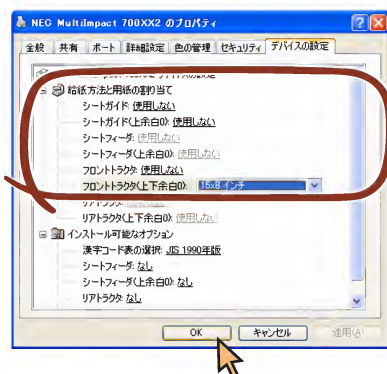
- なし
- あり

給紙方法と用紙の割り当てについて

給紙方法と用紙の割り当てにより、給紙方法を自動選択する場合は以下のように設定します。

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスを開く。**

［プロパティ］ダイアログボックスの開き方については、8ページの「［スタート］ボタンを使って呼び出す」をご覧ください。

❷ **［デバイスの設定］シートで［給紙方法と用紙の割り当て］を設定し、［OK］をクリックする。**

チェック

同じ用紙サイズを複数の給紙方法に割り当てた場合は、上の方に表示されている給紙方法が選択されます。

❸ **［印刷設定］ダイアログボックスを開く。**

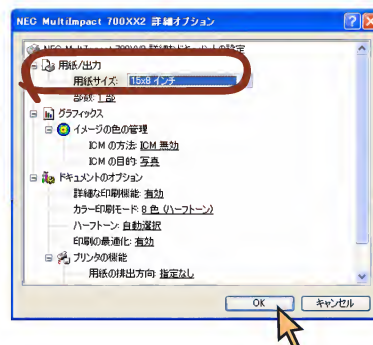
［印刷設定］ダイアログボックスの開き方については、8ページの「［プロパティ］ダイアログボックスを開く」をご覧ください。

❹ **［用紙／品質］シートで給紙方法から［自動選択］を選択する。**

チェック

［自動選択］以外の給紙方法を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定にかかわらず、ここで選択した給紙方法で印刷が行われます。

❺ **［詳細オプション］ダイアログボックスを開き、使用する用紙サイズを選択し、［OK］をクリックする。**

手順2でこの用紙サイズを割り当てた給紙方法が自動選択されます。

チェック

ここで、［給紙方法と用紙の割り当て］で設定した用紙サイズ以外の用紙を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］で一番上に表示されている給紙方法が選択されます。

❻ **［OK］をクリックする。**

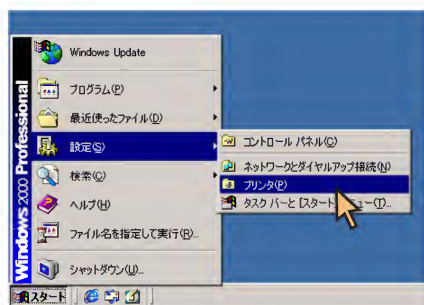
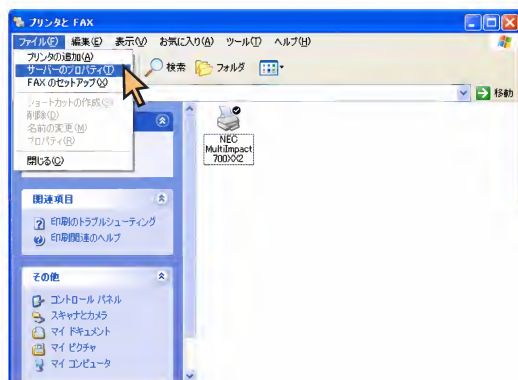
ユーザー定義用紙サイズの登録

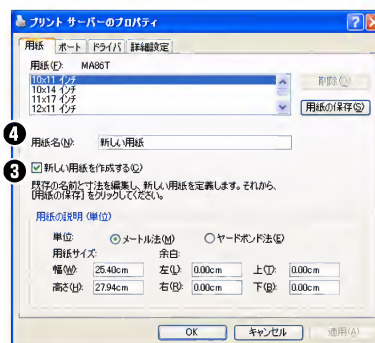
次の手順でユーザー定義用紙サイズを登録します。

❶ **［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。**

Windows　XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows　XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。

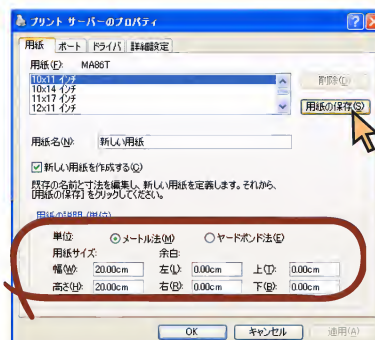
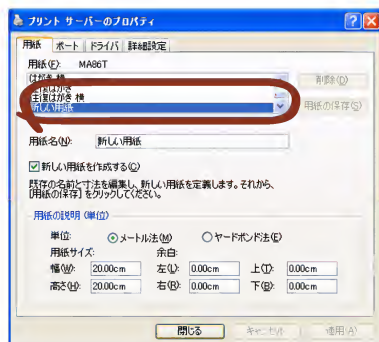
Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

❷ **［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックし、［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスを開く。**

❸ **［用紙］シートにおいて［新しい用紙を作成する］をチェックする。**

❹ **［用紙名］に用紙の名前を設定する。**

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

❺ **［単位］を指定して［用紙サイズ］と［余白］を設定する。**

チェック

- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
- MultiImpact 700XX2プリンタドライバでは、幅50.8～420.05mm、長さ25.4～541mmの範囲内で用紙サイズを使用することができます。
- MultiImpact 700XX2プリンタドライバでは、ユーザー定義用紙サイズの左右余白は0mm固定です。また、上下余白は給紙方法を選択することで設定されます。このため、用紙登録時の余白設定は反映されません。

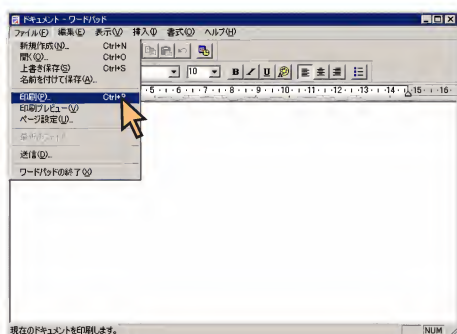
❻ **［用紙の保存］をクリックする。**

❼［用紙］一覧に新しい用紙が表示されたことを確認する。

Windows Me/98 日本語版の場合

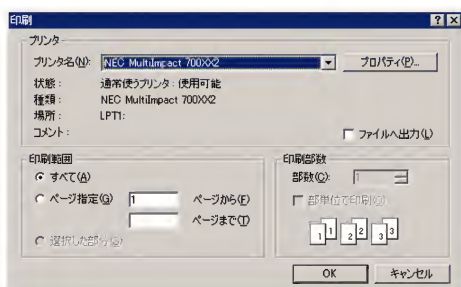
印刷の手順

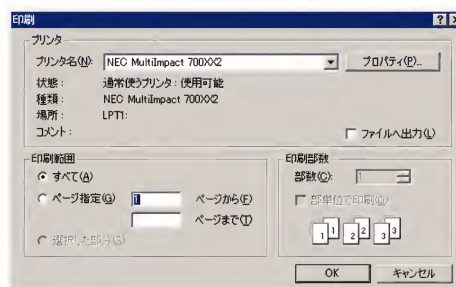
ここでは、Windows Meで日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を使用した場合を例にとって一般的な印刷手順について説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

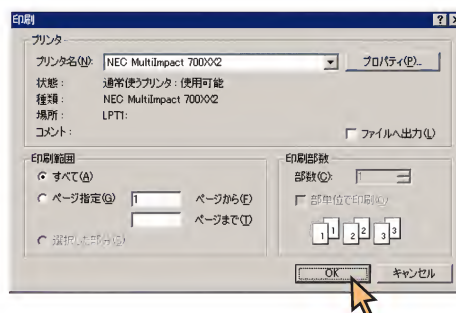
印刷する

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷ **使用する［プリンタ名］として「NEC MultiImpact 700XX2」が選択されていることを確認する。**

もし選択されていなければ、選択し直します。27ページの「プリンタドライバの選択」を参照してください。

❸ **印刷範囲、部数を指定する。**

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は［プロパティ］をクリックし、設定変更します。

❹ **印刷の指定が終わったら［OK］をクリックする。**

印刷が開始されます。

NEC Print Server Portのインストール方法

ここでは、Windows 98とPR-NP-06を使用して印刷する場合に必要となるNEC Print Server Portをインストールする手順を説明します。

なお、Windows 98の基本的な操作およびセットアップについては、OS添付のマニュアルなどをご覧ください。

チェック

- NEC Print Server Portをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- インストールを始める前に、PR-NP-06に添付のCD-ROMを用意してください。
- NEC PR-NP-06添付のCD-ROMはCD-ROMをドライブにセットするだけで、自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。自動的にメニュープログラムが起動しない場合は、CD-ROM内のルートディレクトリにあるAutoRun.exeを実行してください。

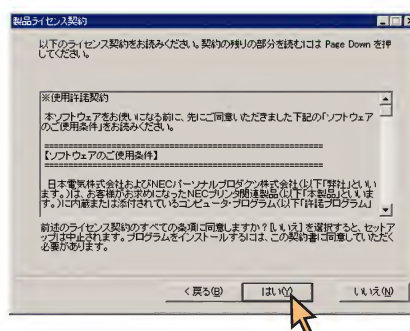
❶ **コンピュータの電源をONにし、Windows 98を起動する。**

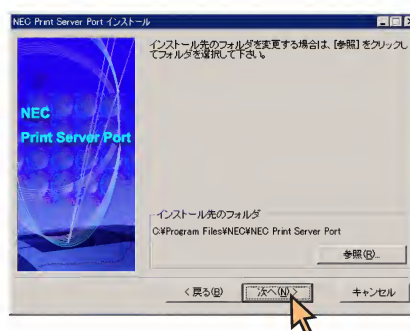
❷ **PR-NP-06に添付のCD-ROMをドライブにセットする。**

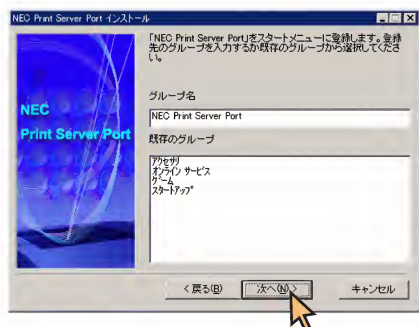
User Softwareのメインメニューが起動します。

❸ **［LPR/IPP Port］ボタンをクリックする。**

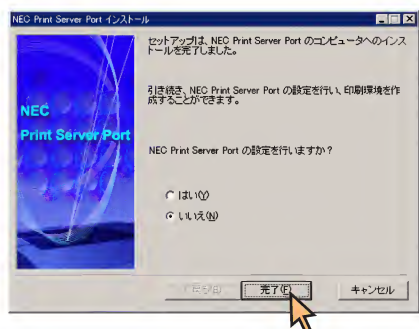
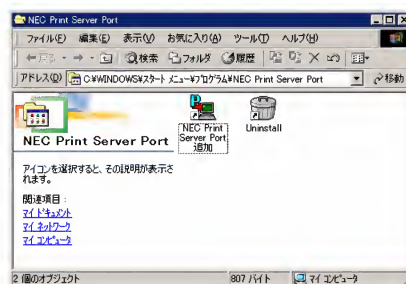
❹ **［次へ］をクリックする。**

❺ **使用許諾契約を読み、［はい］をクリックする。**

❻ **［NEC Print Server Port］のインストール先を指定し、［次へ］をクリックする。**

作成先フォルダを変更したい場合は、［参照］をクリックしインストールするフォルダを選択してください。

❼ スタートメニューの登録先を指定し、[次へ]をクリックする。

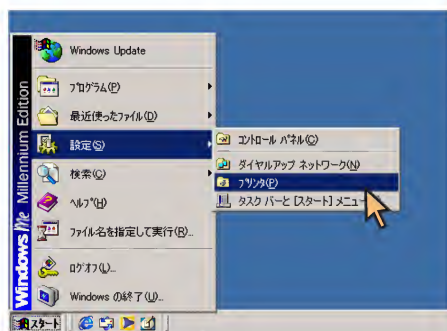
既存のグループに登録したい場合は、下のリストボックスから選択してください。

❽ [いいえ] をクリックし、[完了] をクリックする。

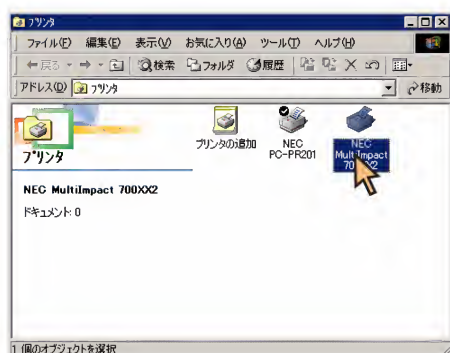
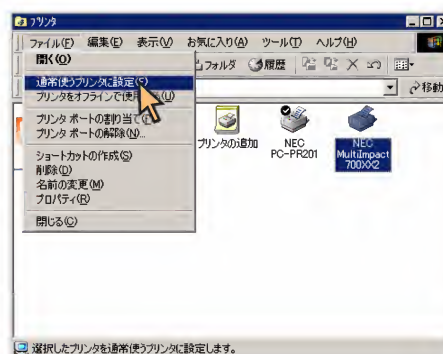
[はい] を選択すると、引き続きNEC Print Server Portの設定を行えますが、ここでは [いいえ] を選択し、インストールを終了させます。

このままセットアップを続けたい場合は、NEC PR-NP-06添付のオンラインマニュアルを参照してください。

❾ 下に表示された画面を閉じる。

プリンタドライバの選択

1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタドライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタドライバを選択します。

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［NEC MultiImpact 700XX2］アイコンをクリックする。

ドライバのインストール時に付けた名前が表示されます。

❸ ［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。

これでプリンタドライバが選択されます。

印刷先の変更

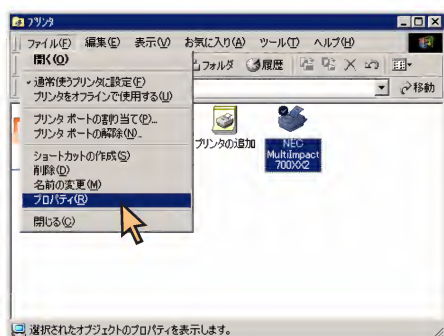
LANボード/LANアダプタによってネットワークに接続されているプリンタを指定する方法を説明します。プリンタソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの［詳細］プロパティシート上で行います。印刷先の変更は、「NEC Print Server Port」をインストールした後に行ってください。

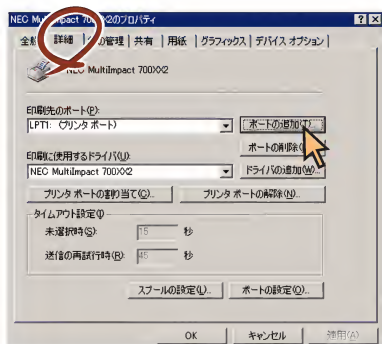
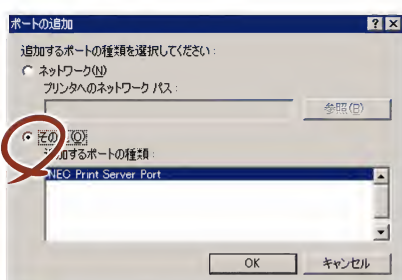
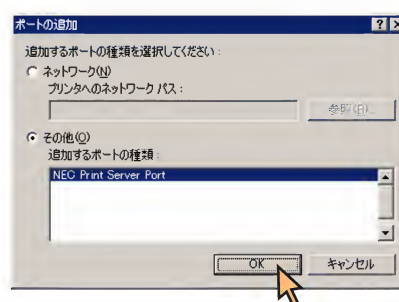
LANボードやLANアダプタに関する詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

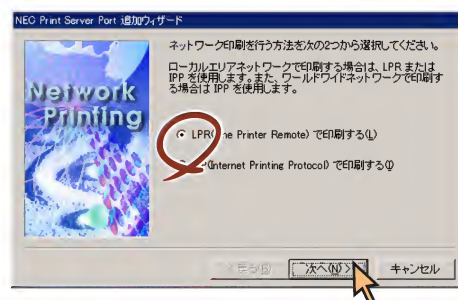
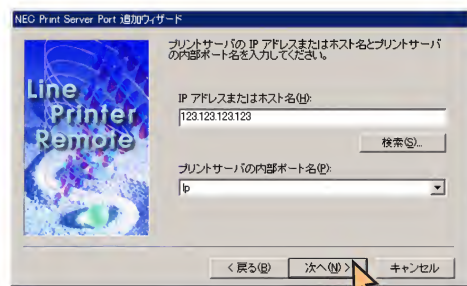
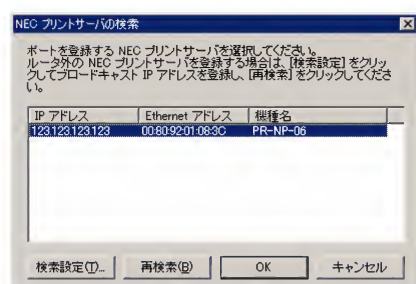
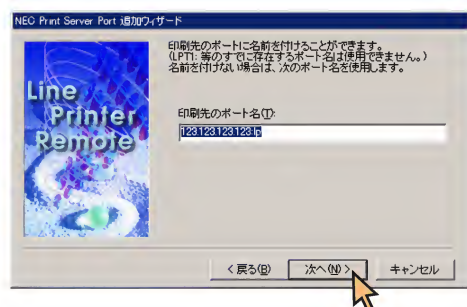
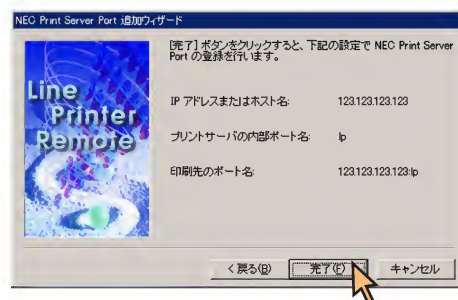
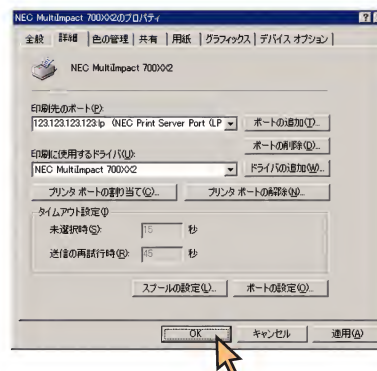
NEC Print Server Portについては、PR-NP-06を使用した場合のインストール方法を、「NEC Print Server Portのインストール方法」（25ページ）に記載してありますので、そちらを参照してください。

ここではWindows Me 日本語版、Windows 98 日本語版の環境で印刷先を変更する方法についてMultiImpact 700XX2とNEC PR-NP-06を使用した場合を例にとって説明します。

❶ **［MultiImpact 700XX2のプロパティ］のダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダの「NEC MultiImpact 700XX2」アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［詳細］シートを開く。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［その他］を選択する。**

❺ **「NEC Print Server Port」を選んで、［OK］をクリックする。**

❻ **［NEC Print Server Port］が開いたら、［LPR（Line Printer Remote）で印刷する］をクリックし、［次へ］をクリックする。**

［IPP（Internet Printing Protocol）］を選択してPortを設定したい場合は、PR-NP-06添付のUser Softwareのオンラインマニュアルを参照してください。

❼ IPアドレスまたはホスト名を入力し、[次へ]をクリックする。

「NEC PR-NP-06」が存在する場合、検索をクリックし使用するPR-NP-06を選択してください。

❽ 印刷先のポート名を確認し，[次へ] をクリックする。

❾ [完了] をクリックする。

❿ [OK] をクリックする。

共有プリンタに設定する

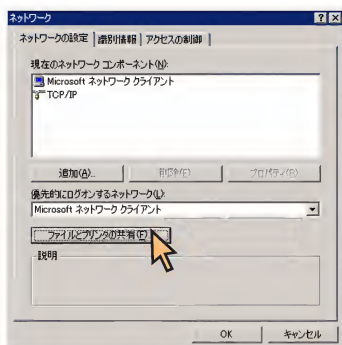
MultiImpact 700を、Windows Me/98環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。
ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

ここではWindows Me/98の環境で、共有プリンタとして設定する手順について説明します。

❶ ［コントロールパネル］を開く。

❷ ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする。

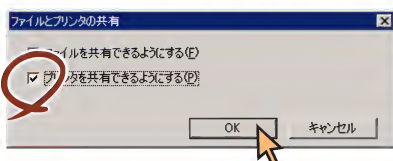
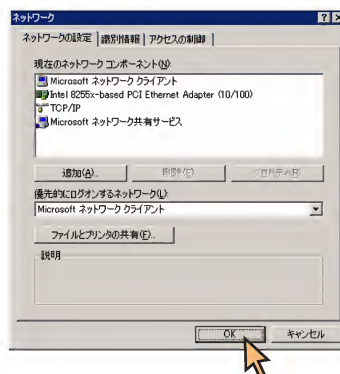
❸ ［ファイルとプリンタの共有］をクリックする。

［ファイルとプリンタの共有］ダイアログボックスが開きます。

ネットワーク構成にTCP/IPプロトコル、Microsoftネットワーク共有サービスが必要です。

❹ ［プリンタを共有できるようにする］をチェックし、［OK］をクリックする。

［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されます。

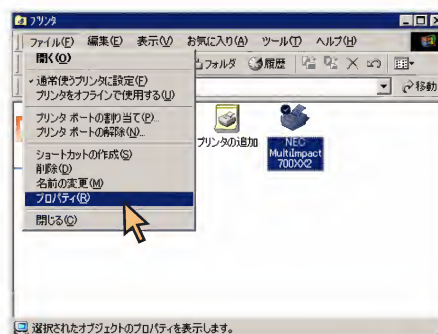
❺ ［OK］をクリックする。

チェック

ネットワークの構成を変更した場合は、必ずWindowsを再起動してください。

❻ ［プリンタ］フォルダ内の［NEC MultiImpact 700XX2］アイコンをクリックする。

［プリンタ］フォルダは［スタート］から［設定］—［プリンタ］をクリックすると開きます。

❼ ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

［NEC MultiImpact 700XX2のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❽［共有］シートを開く。

❾［共有］シートの設定をする。

［共有する］を選び、そのプリンタに対して、共有名を入力します（コメント、パスワードは必要に応じて入力します）。

❿［OK］をクリックする。

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoftネットワーク共有サービス」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

印刷の詳細設定

次のような［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。［プロパティ］ダイアログボックスは以下のような7枚のプロパティシートから構成されています。

ここでは［プロパティ］ダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの設定の概要について説明します。

- [全般］シート
- [詳細］シート
- [色の管理］シート ＊1
- [共有］シート ＊2
- [用紙］シート
- [グラフィックス］シート
- [デバイスオプション］シート

＊1　MultiImpact 700LX2/700EX はカラー印刷に対応していません。
＊2　お使いのコンピュータの設定環境によっては、表示されない場合があります。

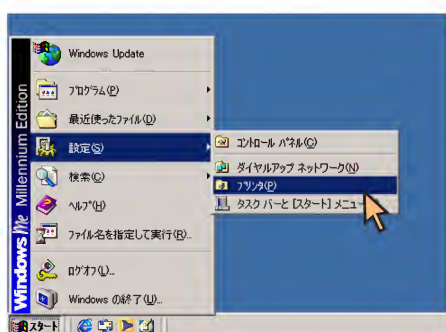
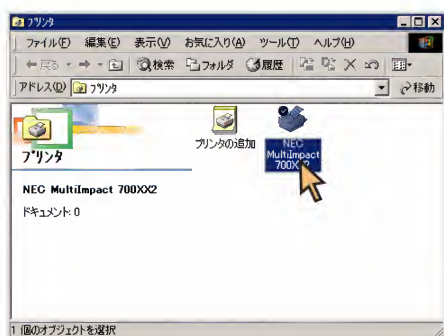
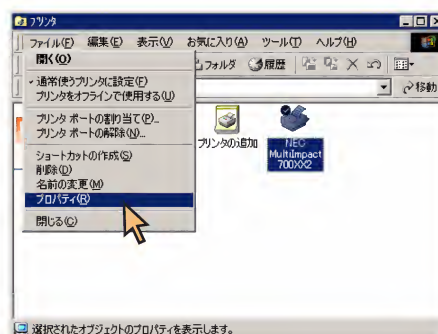
［プロパティ］ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

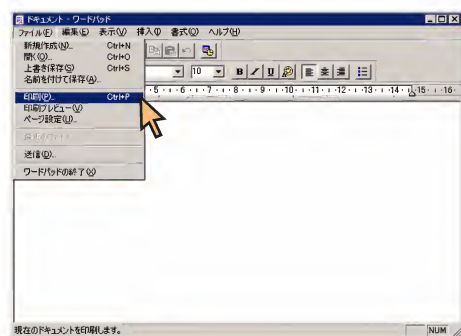
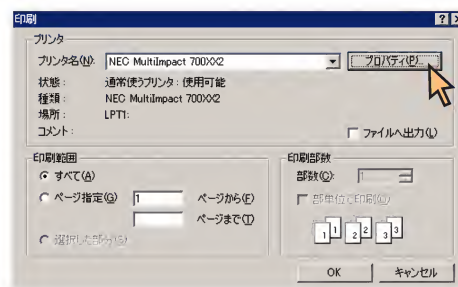
- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

［スタート］ボタンを使って呼び出す

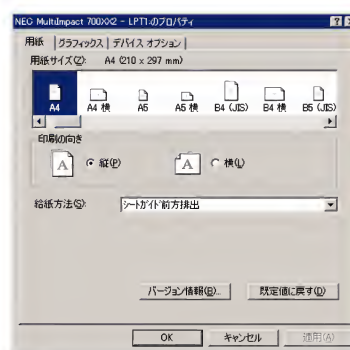
❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［NEC MultiImpact 700XX2］アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。
下のような［プロパティ］ダイアログボックスが開きます。

アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドまたは［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここではWindows Meで日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を使用した場合を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

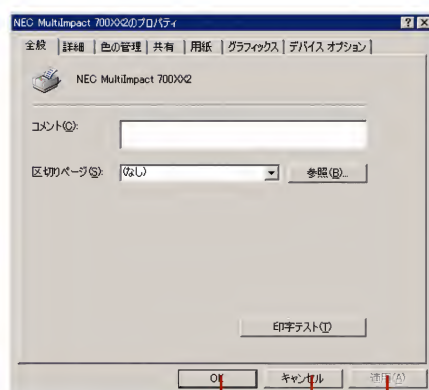
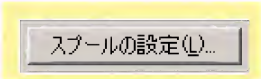
［印刷］ダイアログボックスが開きます。

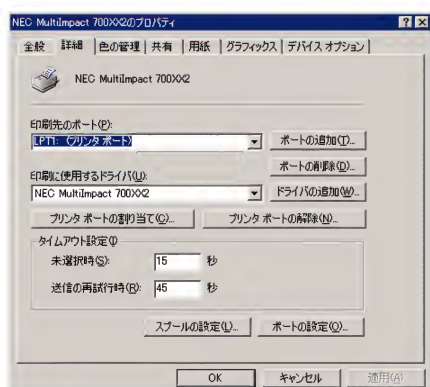
❷ **［プロパティ］をクリックする。**

下のような［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

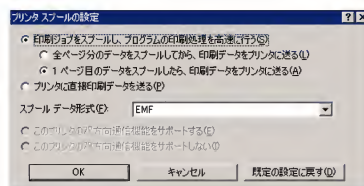
プロパティシートで詳細設定を行う

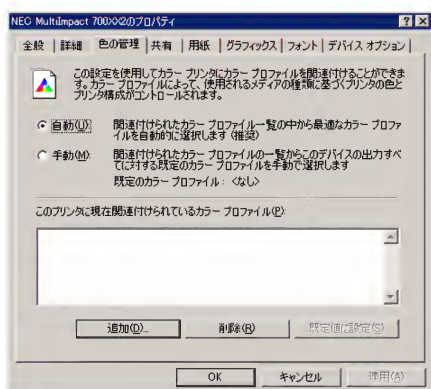
［プロパティ］ダイアログボックスで設定できる内容についてプロパティシートごとに説明します。なお、各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されているヘルプでも説明されています。

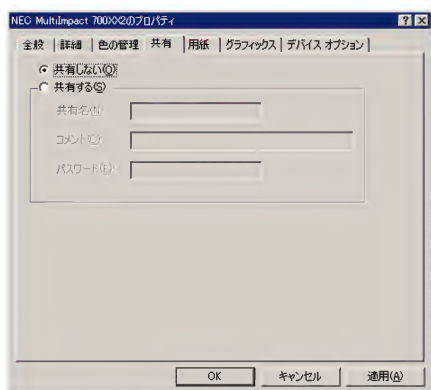
各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

［全般］シート

このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタドライバ共通のものです。
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。

［詳細］シート

このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタドライバ共通のものです。
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。

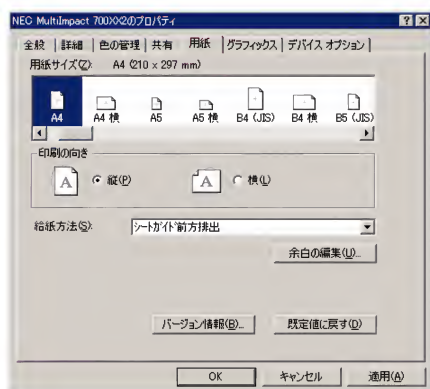
［スプールの設定］

このボタンをクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでプリンタスプールに関するいろいろな設定を行うことができます。

［色の管理］シート＊1

このプロパティシートは通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。

［共有］シート

このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタドライバ共通のものです。
このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタをネットワークで使用しているときのみ表示されます。
プリンタを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。

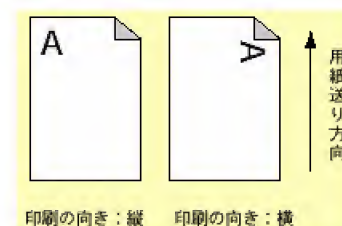
＊1　MultiImpact 700LX2/700EX はカラー印刷に対応していません。

[用紙] シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行うものです。

用紙サイズ

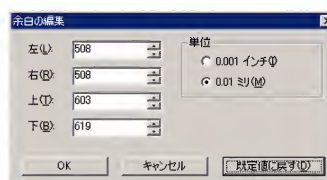
用紙のサイズを選択します。詳しくは38ページをご覧ください。

用紙の向き

縦： 用紙を縦長に使って印刷します。
横： 用紙を横長に使って印刷します。

給紙方法

給紙方法を選択します。詳しくは39ページをご覧ください。

[余白の編集]

このボタンをクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスで余白の編集を行います。選択した用紙サイズに最適な値が設定されていますので通常の印刷で、この値を変更する必要はありません。
設定を変更すると印刷位置が不正になる場合がありますので、必要なとき以外は変更しないでください。

[バージョン情報]

プリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

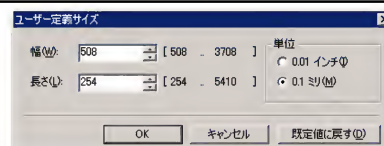
[既定値に戻す]

現在開いているプロパティシート内のすべての設定を標準の状態に戻します。

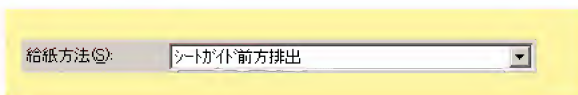
用紙サイズについて

用紙のサイズを選択します。MultiImpact 700XX2プリンタドライバがサポートする用紙の種類は次のとおりです。給紙方法により、サポートする用紙が異なります。現在設定されている給紙方法で使用できない用紙を選択すると、使用不可のメッセージが出ます。

画面表示		内　容
A3	(297×420mm)	A3サイズの用紙を縦置きにセットします。
A3横	(420×297mm)	A3サイズの用紙を横置きにセットします。
A4	(210×297mm)	A4サイズの用紙を縦置きにセットします。
A4横	(297×210mm)	A4サイズの用紙を横置きにセットします。
A5	(148×210mm)	A5サイズの用紙を縦置きにセットします。
A5横	(210×148mm)	A5サイズの用紙を横置きにセットします。
B4	(257×364mm)	B4サイズの用紙を縦置きにセットします。
B4横	(364×257mm)	B4サイズの用紙を横置きにセットします。
B5	(182×257mm)	B5サイズの用紙を縦置きにセットします。
B5横	(257×182mm)	B5サイズの用紙を横置きにセットします。
はがき	(100×148mm)	はがきを縦置きにセットします。
はがき横	(148×200mm)	はがきを横置きにセットします。
往復はがき	(200×148mm)	往復はがきを縦置きにセットします。
往復はがき横	(148×200mm)	往復はがきを横置きにセットします。
10×11インチ		10インチ幅の連続紙をセットします。
15×11インチ		15インチ幅の連続紙をセットします。
封筒　角形2号　横		封筒　角形2号（332×240mm）を横置きにセットします。
封筒　角形3号　横		封筒　角形3号（277×216mm）を横置きにセットします。
封筒　長形3号　横		封筒　長形3号（235×120mm）を横置きにセットします。
封筒　長形4号　横		封筒　長形4号（205×90mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形2号　横		封筒　洋形2号（162×114mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形5号　横		封筒　洋形5号（217×95mm）を横置きにセットします。
名刺	(55×91mm)	名刺または名刺サイズの用紙を縦置きにセットします。
ユーザー定義サイズ*1		上記以外の定形外サイズの用紙を、幅50.8～370.8mm、長さ25.4～541mmの範囲内で、［ユーザー定義サイズ］で定義して使うことができます。
上記の他に「15×1インチ」～「15×16.5インチ」などの連続紙を40種類、選択することができます。		

*1 「ユーザー定義サイズ」を選択すると下の画面が表示されます。定形外サイズの用紙を、幅50.8～370.8mm、長さ25.4～541mmの範囲内で定義して使用することができます。

注意事項

- シートフィーダをお使いの場合は用紙サイズA3（縦置き）、A3横、B4（縦置き）は使用できません。
- シートフィーダをお使いの場合は封筒洋形2号、洋形5号は使用できません。
- MultiImpact 700EXをお使いの場合は、封筒洋形2号、洋形5号は使用できません。
  MultiImpact 700EXでシートフィーダをお使いの場合は、封筒と名刺は使用できません。

給紙方法について

給紙方法を選択します。MultiImpact 700XX2プリンタドライバがサポートする給紙方法は次のとおりです。

画面表示	内　容
シートガイド前方排出	シートガイドに用紙をセットし、シートガイドに排出します。＊1 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートガイド前方排出（上余白0）	シートガイドに用紙をセットし、シートガイドに排出します。＊1､＊2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
シートガイド後方排出	シートガイドに用紙をセットし、スタッカに排出します。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートガイド後方排出（上余白0）	シートガイドに用紙をセットし、スタッカに排出します。＊2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ前方排出	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、シートガイドに排出します。＊3 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ前方排出（上余白0）	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、シートガイドに排出します。＊2、＊3 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ後方排出	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、スタッカに排出します。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ後方排出（上余白0）	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、スタッカに排出します。＊2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
フロントトラクタ	フロントトラクタに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
フロントトラクタ（上下余白0）	フロントトラクタに用紙をセットします。＊2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
リアトラクタ＊4，＊5	オプションのリアトラクタに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
リアトラクタ（上下余白0）＊4	オプションのリアトラクタに用紙をセットします。＊2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。

＊1　リモートパネルでシートガイドの排出方向を後方排出にしている場合、またはプリンタのメモリスイッチ 4-6（MSW4-6）を ON にしている場合は、後方排出されます。

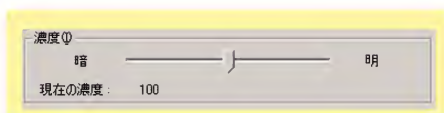
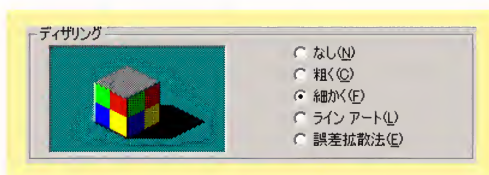
＊2　通常の印刷では使用しません。印刷可能領域をミシン目近くまで取りたい場合にのみ、使用してくださいただし、以下の点をご承知の上で使用してください。

- ユーザーズマニュアル記載の印刷保証領域以外は、かすれ等の印刷品位劣化が生じる場合があります。
- ミシン目上は印刷しないでください。ピン折れ等の障害が発生することがあります。

＊3　リモートパネルでシートフィーダの排出方向を後方排出にしている場合、またはプリンタのメモリスイッチ 4-7（MSW4-7）を ON にしている場合は、後方排出されます。

＊4　MultiImpact 700LX2 はリアトラクタをサポートしていません。

＊5　MultiImpact 700EX での名称は、「リアプルトラクタ」、「リアプッシュトラクタ」となります。

[グラフィックス] シート

このプロパティシートはグラフィックスに関する以下の設定を行います。

- 解像度
- ディザリング
- 濃度
- 色

解像度

MultiImpact 700の解像度は「160dpi」のみです。

ディザリング

使用するディザパターンを選択します。デフォルトは「細かく」です。

- なし

  濃淡を使わず、白か黒で印刷します。

- 軽く

  解像度300dpi以上のプリンタを使用するときに選びます。MultiImpact 700には適していません。

- 細かく

  解像度200dpi以下のプリンタを使用するときに最適です。MultiImpact 700にも最適です。

- ラインアート

  カラー印刷データにせずに、印刷するグラフィックに黒、白グレー階調の間にくっきりとした境目のあるときに選んでください。このプロパティシート中の［色］の［カラー制御］を［白黒のみで印刷］に設定している場合のみ選択可能です。

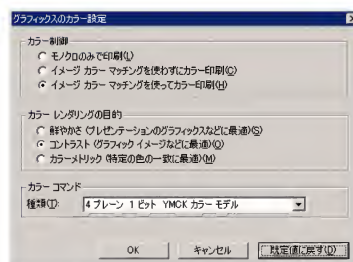
- 誤差拡散法

  はっきりした境目のない写真や絵を印刷する場合に選択してください。

濃度

グラフィックスの明暗を増減するときに使います。印刷を薄くするときは［明］の方向へ、印刷を濃くするときは［暗］の方向へ設定します。デフォルト値は100です。

色*[1]

カラーグラフィックスの印刷方法を指定するときに使います。選択すると［グラフィックスのカラー設定］ダイアログボックスが現れます。

カラー制御*[1]

色の制御を行います。印刷する際の色の制御の設定を行います。［イメージカラーマッチング］とは、Windows Me/98に標準で用意されているカラーマッチング機能です。詳しくは、右上の［？］ボタンをクリックして表示される、各項目のヘルプを参照してください（ヘルプの使用方法は、Windows添付のファーストステップガイドを参照してください。

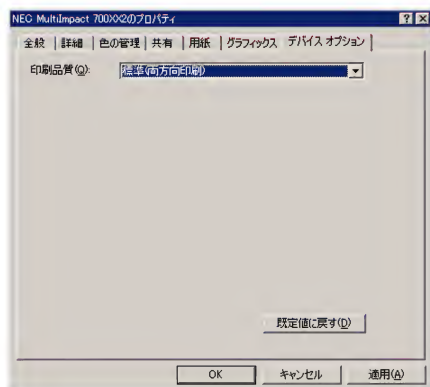
カラーレンダリングの目的*[1]

印刷するドキュメントの種類に応じた色制御を選択します。詳しくは、右上の［？］ボタンをクリックして表示される、各項目のヘルプを参照してください（ヘルプの使用方法は、Windows添付のファーストステップガイドを参照してください。

カラーコマンド*[1]

カラーモデルの設定を行います。MultiImpact 700では「4プレーン1ビットYMCKカラーモデル」のみ設定可能です。

*1　MultiImpact 700LX2/700EX はカラー印刷に対応していません。

［デバイスオプション］シート

このプロパティシートはデバイスオプションに関しての設定を行います。

印刷品質

- 指定なし

  高速印刷および印刷方向（片方向／両方向）を指定しません。プリンタ本体の設定が有効となります。
- 標準（片方向印刷）

  最も印刷品質が高いモードです。印刷は左から右へ行います。縦罫線などの印刷位置を揃えたいときに有効です。
- 標準（両方向印刷）

  両方向最短印刷になり、片方向印刷に比べて印刷時間が短縮されます。
- 高速（片方向印刷）

  印刷データを 1 ドットおきに間引きます。ヘッドの横送りを高速にするため、［標準（片方向印刷）］に比べて印刷時間が短縮されます。
- 高速（両方向印刷）

  両方向最短印刷に加え、印刷データを 1 ドットおきに間引きます。ヘッドの横送りを高速にするため、最も短い印刷時間になります。

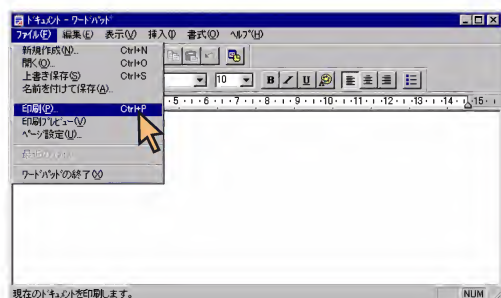
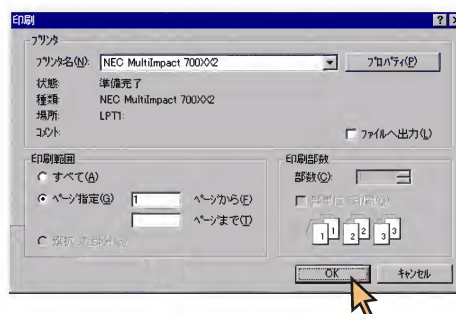
Windows NT 4.0 日本語版の場合

ここではMultiImpact 700XX2プリンタドライバを例にあげて説明します。

印刷の手順

ここでは、Windows NT 4.0で日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷ **使用するプリンタ名として「NEC MultiImpact 700XX2」が選択されていることを確認する。**

もし選択されていなければ、選択し直します。44ページの「プリンタドライバの選択」を参照してください。

❸ **印刷範囲、部数を指定する。**

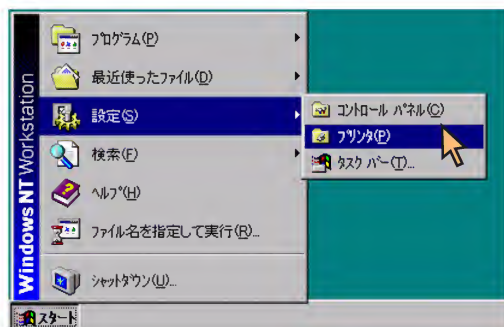
用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は［プロパティ］をクリックし、設定変更します。

❹ **印刷の設定が終わったら［OK］をクリックする。**

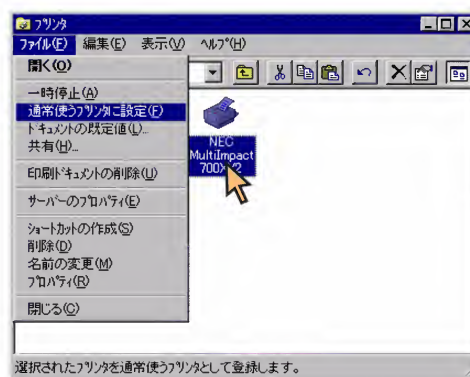
印刷が開始されます。

プリンタドライバの選択

1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタドライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタドライバを選択します。

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［NEC MultiImpact 700XX2］アイコンをクリックする。

ドライバのインストール時に付けた名前が表示されます。

❸ ［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。

これでプリンタドライバが選択されます。

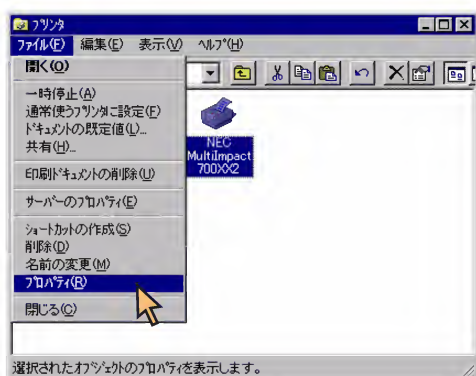
印刷先の変更

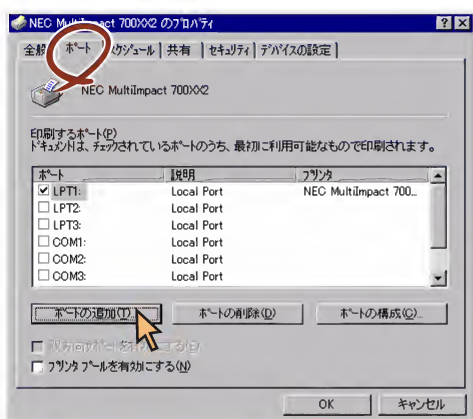
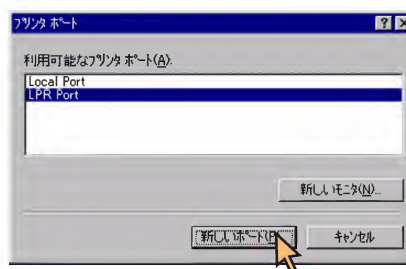
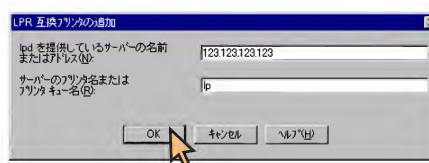
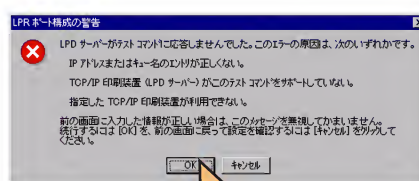
LANボード/LANアダプタによってネットワークに接続されているプリンタを指定する方法を説明します。プリンタソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの［ポート］プロパティシート上で行います。印刷先の変更は、「LPR Port」を使用した場合を例にとって説明します。

LANボードやLANアダプタに関する詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

ここではWindows NT 4.0 日本語版の環境で印刷先を変更する方法についてMultiImpact 700XX2とNEC PR-NP-06を使用した場合を例にとって説明します。

❶ ［NEC MultiImpact 700XX2のプロパティ］のダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダの［MultiImpact 700XX2］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ ［ポート］シートを開く。

❸ ［ポートの追加］をクリックする。

❹ ［LPR Port］を選んで、［新しいポート］をクリックする。

❺ NEC PR-NP-06のIPアドレスを入力し、［プリンタキュー名］に、名前を入力し、［OK］をクリックする。

❻ 以下のような画面が表示された場合は、［OK］をクリックする。

❼［OK］をクリックする。

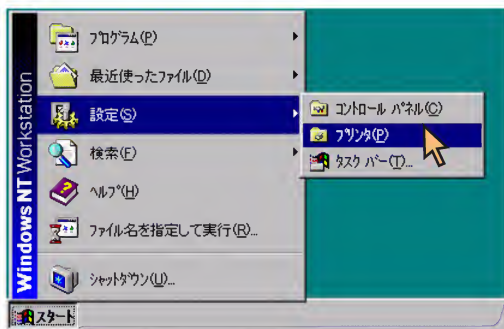
印刷先の変更が完了しました。

共有プリンタに設定する

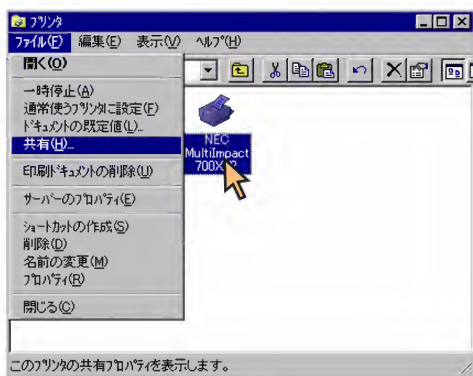
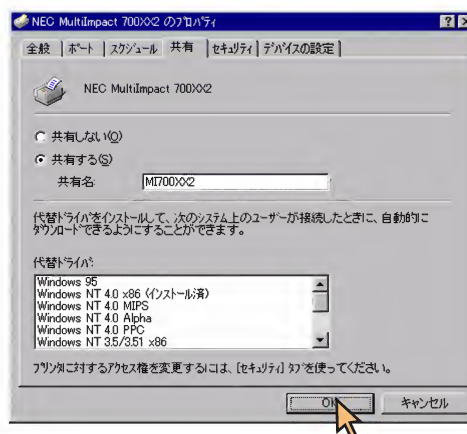
MultiImpact 700を、Windows NT 4.0環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあったクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

ここではWindows NT 4.0 日本語版の環境で、共有プリンタとして設定する手順について説明します。

❶［プリンタ］フォルダを開く。

❷［NEC MultiImpact 700XX2］アイコンをクリックする。

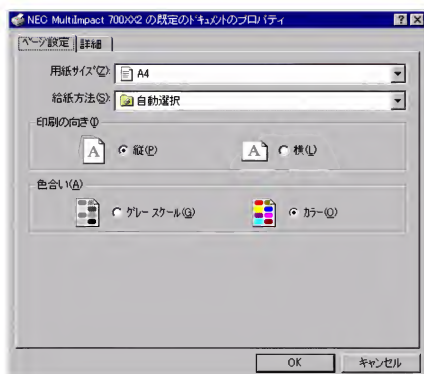
❸［ファイル］メニューの［共有］をクリックする。

［NEC MultiImpact 700XX2］ダイアログボックスが表示されます。

❹［共有する］をチェックし、そのプリンタの共有名を入力し、［OK］をクリックする。

これで共有プリンタの設定は完了です。

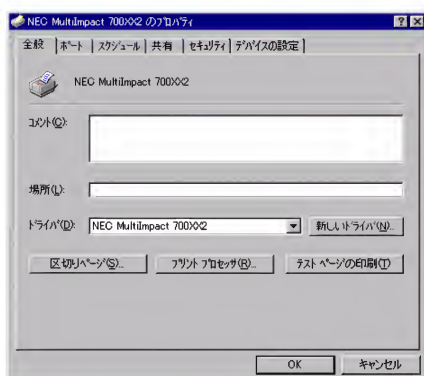
印刷の詳細設定

次のような2つの［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。

［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の2つのプロパティシートから構成されています。

- ［ページ設定］シート
- ［詳細］シート

［プロパティ］ダイアログボックス

プリンタのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の6枚のプロパティシートから構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションからは表示されません。

- ［全般］シート
- ［ポート］シート
- ［スケジュール］シート
- ［共有］シート
- ［セキュリティ］シート
- ［デバイスの設定］シート

- アプリケーションによっては、ダイアログボックスの設定を変更するタイミングに関係なくアプリケーションからの設定が優先されるものがあります。また、［スタート］からの設定変更に合わせて、アプリケーションの設定も自動的に変わるなど、使用するアプリケーションによって異なりますのでアプリケーションのマニュアルを参照してください。
- ［既定のドキュメントのプロパティ］と［プロパティ］で同じ項目の設定は、［既定のドキュメントのプロパティ］の設定が優先されます。

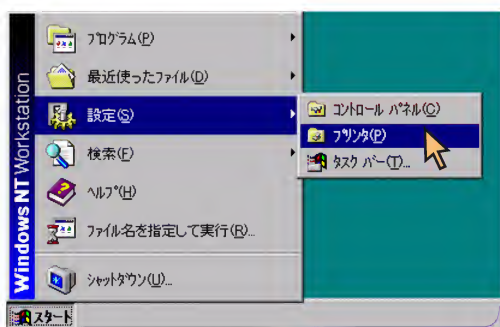
［プロパティ］ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

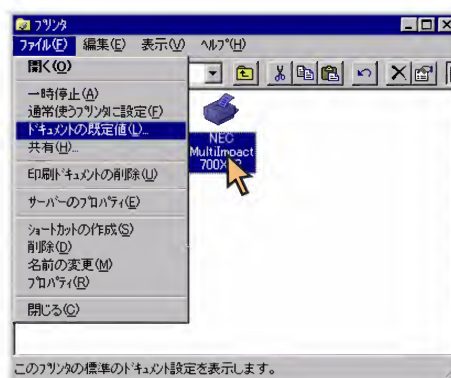
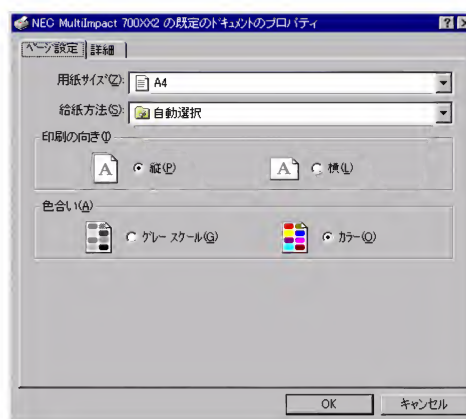
- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。

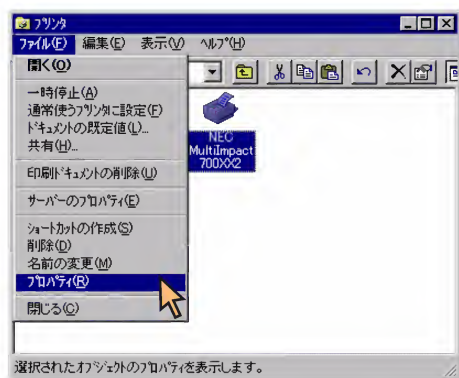
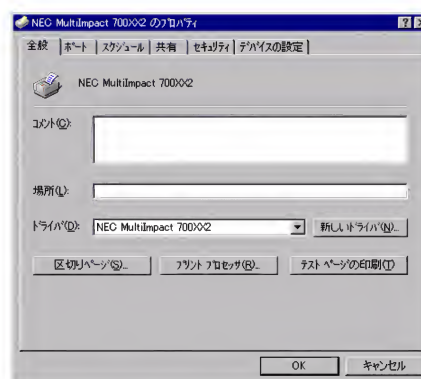
- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

［スタート］ボタンを使って呼び出す

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［NEC MultiImpact 700XX2］アイコンをクリックする。

［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❸へ、［プロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❹へ進んでください。

❸ ［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックする。

［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、52ページからの「［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

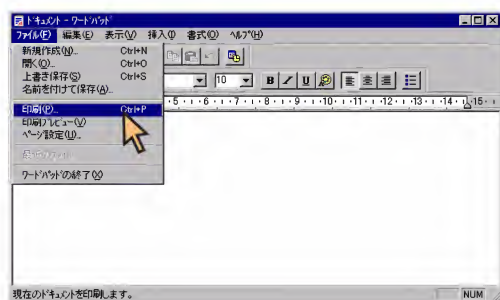
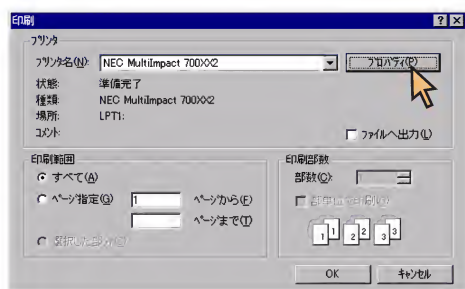
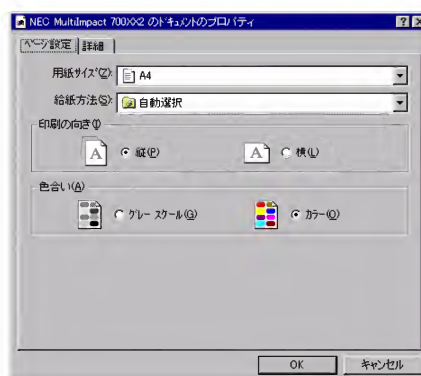
❹［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

［プロパティ］ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、60ページからの「［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションから［プロパティ］ダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドまたは［プリンタの設定］コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここではWindows NT 4.0に付属している日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を参照してください。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

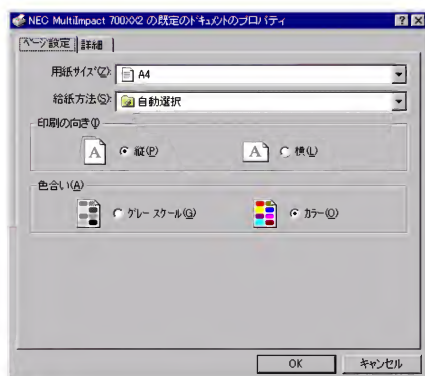
［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷ **［プロパティ］をクリックする。**

下のような［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

チェック

アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

[既定のドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスで詳細設定を行う

[既定のドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている2つのボタンには以下のような機能があります。

[ページ設定] シート

このプロパティシートはページ設定に関する以下の設定を行うものです。

- 用紙サイズについて
- 給紙方法について
- 印刷の向き
- 色合い＊1

＊1　MultiImpact 700LX2/700EX はカラー印刷に対応していません。

用紙サイズについて

用紙サイズを選択します。MultiImpact 700XX2プリンタドライバがサポートする用紙の種類は次のとおりです。

画面表示		内　容
A3	(297×420mm)	A3サイズの用紙を縦置きにセットします。
A3横	(420×297mm)	A3サイズの用紙を横置きにセットします。
A4	(210×297mm)	A4サイズの用紙を縦置きにセットします。
A4横	(297×210mm)	A4サイズの用紙を横置きにセットします。
A5	(148×210mm)	A5サイズの用紙を縦置きにセットします。
A5横	(210×148mm)	A5サイズの用紙を横置きにセットします。
B4（JIS）	(257×364mm)	B4サイズの用紙を縦置きにセットします。
B4（JIS）横	(364×257mm)	B4サイズの用紙を横置きにセットします。
B5	(182×257mm)	B5サイズの用紙を縦置きにセットします。
B5横	(257×182mm)	B5サイズの用紙を横置きにセットします。
はがき	(100×148mm)	はがきを縦置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
はがき横	(148×200mm)	はがきを横置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
往復はがき	(200×148mm)	往復はがきを縦置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
往復はがき横	(148×200mm)	往復はがきを横置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
10×11インチ		10インチ幅の連続紙をセットします。
15×11インチ		15インチ幅の連続紙をセットします。
封筒　角形2号　横		封筒　角形2号（332×240mm）を横置きにセットします。
封筒　角形3号　横		封筒　角形3号（277×216mm）を横置きにセットします。
封筒　長形3号　横		封筒　長形3号（235×120mm）を横置きにセットします。
封筒　長形4号　横		封筒　長形4号（205×90mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形2号　横		封筒　洋形2号（162×114mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形5号　横		封筒　洋形5号（217×95mm）を横置きにセットします。
名刺	(55×91mm)	名刺または名刺サイズの用紙を縦置きにセットします。
登録した用紙		Windows NT4.0の「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙を使用する場合は、登録した用紙名を選択してください。以下の範囲内で作成してください。用紙の登録方法については「ユーザー定義用紙サイズの登録」(65ページ) をご覧ください。 幅　50.8～420.05mm／高さ　25.4～541mm

注意事項

- シートフィーダをお使いの場合は用紙サイズA3（縦置き）、A3横、B4（縦置き）は使用できません。
- シートフィーダをお使いの場合は封筒洋形2号、洋形5号は使用できません。
- 各用紙サイズを使用する際のプリンタの用紙吸入位置は以下のように設定してください。
  - はがき、はがき横、往復はがき、往復はがき横：11.5mm（文字中央）
  - ユーザー定義用紙サイズ：3.8mm（文字下端）
  - 上記以外の用紙サイズ：9.7mm（文字下端）
- MultiImpact 700EXをお使いの場合は、封筒洋形2号、洋形5号は使用できません。
  MultiImpact 700EXでシートフィーダをお使いの場合は、封筒と名刺は使用できません。

給紙方法について

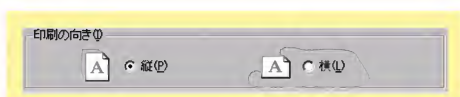
給紙方法を選択します。詳細は以下のとおりです。

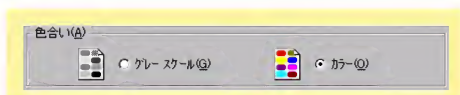
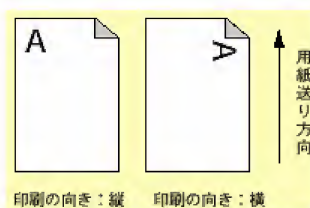
画面表示	内　容
自動選択	［デバイスの設定］プロパティシートの給紙方法の設定に従います。
シートガイド前方排出	シートガイドに用紙をセットし、シートガイドに排出します。*1
シートガイド後方排出	シートガイドに用紙をセットし、スタッカに排出します。
シートフィーダ前方排出	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、シートガイドに排出します。*2
シートフィーダ後方排出	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、スタッカに排出します。
フロントトラクタ	フロントトラクタに用紙をセットします。
リアトラクタ*3，*4	オプションのリアトラクタに用紙をセットします。

*1　リモートパネルでシートガイドの排出方向を後方排出にしている場合、またはプリンタのメモリスイッチ 4-6（MSW4-6）を ON にしている場合は、後方排出されます。

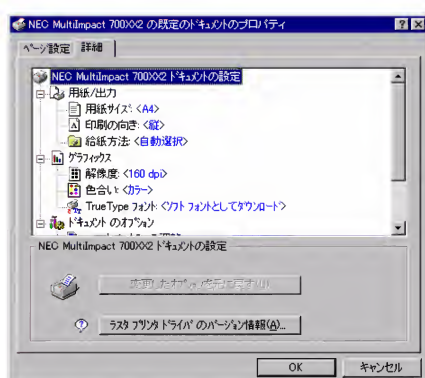
*2　リモートパネルでシートフィーダの排出方向を後方排出にしている場合、またはプリンタのメモリスイッチ 4-7（MSW4-7）を ON にしている場合は、後方排出されます。

*3　MultiImpact 700LX2 はリアトラクタをサポートしていません。

*4　MultiImpact 700EX での名称は、「リアプルトラクタ」、「リアプッシュトラクタ」となります。

印刷の向き

縦：　用紙を縦長に使って印刷します。
横：　用紙を横長に使って印刷します。

色合い

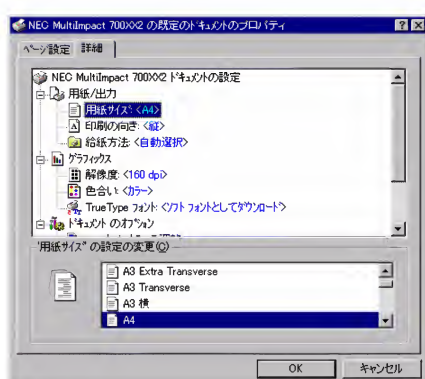
グレースケール　：グレースケールで印刷します。
カラー　　　　　：カラーで印刷します。

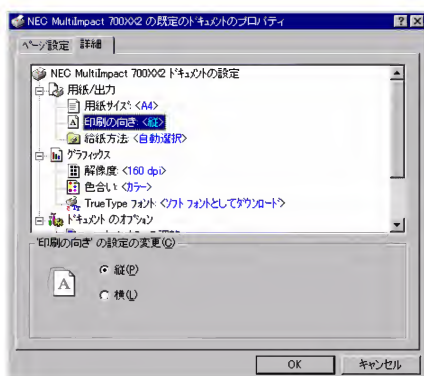
［詳細］シート

このプロパティシートは詳細に関する以下の設定を行います。

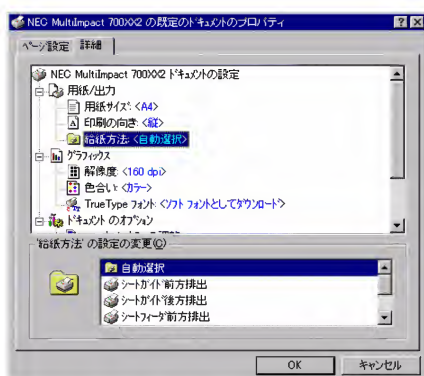
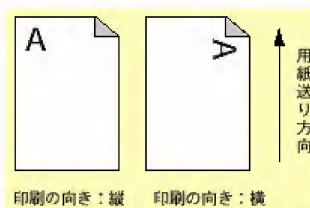
［変更したオプションを元に戻す］

変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。

［ラスタプリンタドライバのバージョン情報］

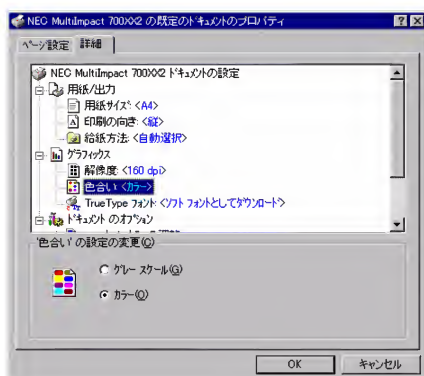
ラスタプリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

用紙サイズ

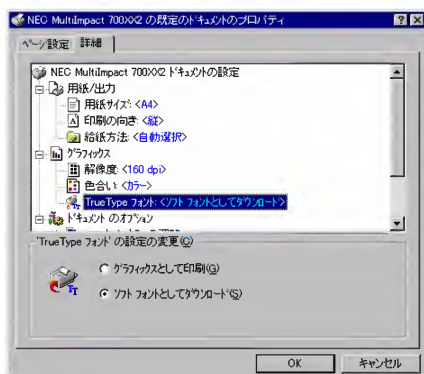
印刷用紙のサイズを選択します。
MultiImpact 700がサポートする用紙については53ページを参照してください。

印刷の向き

縦：　用紙を縦長に使って印刷します。
横：　用紙を横長に使って印刷します。

給紙方法

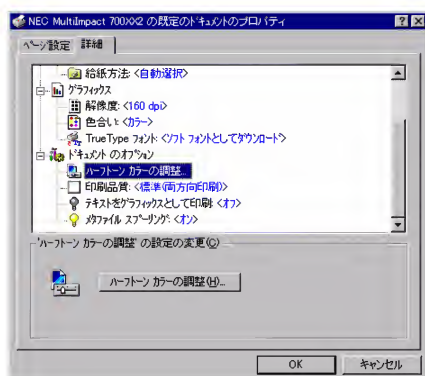
給紙方法を選択します。詳細は54ページを参照してください。

解像度

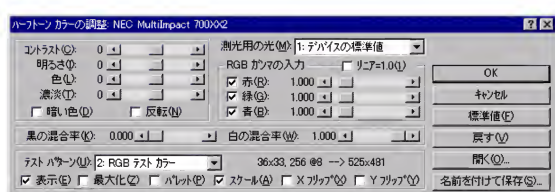
MultiImpact 700では設定の必要はありません。

色合い＊1

グレースケール　：　グレースケールで印刷します。
カラー　　　　　：　カラーで印刷します。

TrueTypeフォント＊2

「ソフトフォントとしてダウンロード」のみ選択可能です。

＊1　MultiImpact 700LX2/700EX はカラー印刷に対応していません。
＊2　Windows NT 4.0 のサービスパックのバージョンによっては表示されない場合があります。

ハーフトーンカラーの調整

［ハーフトーンの調整］ボタンをクリックすると［ハーフトーンの調整］ダイアログボックスが表示されます。

ハーフトーンカラーの調整について

［標準値］

すべての設定値を初期設定に戻します。

［戻す］

すべての設定値をダイアログボックスを開いたときの状態に戻します。

［開く］

グラフィックスファイルを選択して開きます。

［名前を付けて保存］

開いたグラフィックスファイルを保存します。グラフィックのサイズ・向き・色に対して行った変更結果が保存されます。

色や明るさなどの調整

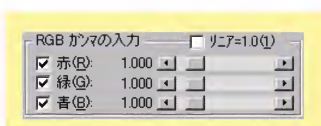
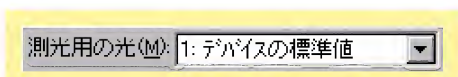
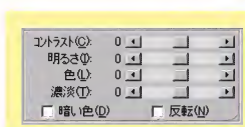
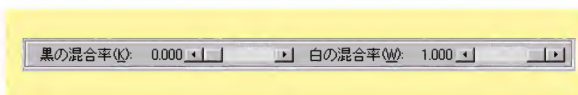
グラフィックスのコントラストや明るさを調整します。

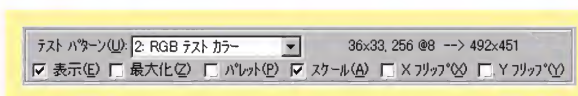
ｺﾝﾄﾗｽﾄ	：	明暗の色調の差を調整します。
明るさ	：	光の輝度を調整します。
色	：	色の鮮やかさを調整します。
濃淡	：	色合いを調整します。
暗い色	：	このチェックボックスをチェックすることで露出過度のグラフィックスを調整します。
反転	：	このチェックボックスをチェックすることで色の反転を調整します

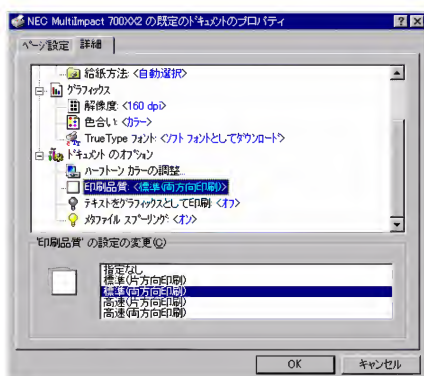
測光用の光

測光用の光を選択します。

RGBガンマの入力

リニア
このチェックボックスをチェックすることで、明るさを入力値と等しくするかどうかを指定します。

黒／白の混合率

イメージの最も暗い点から最も明るい点までの範囲を設定します。

テストパターン

参照色またはグラフィックスが表示されます。

印刷品質

- 指定なし

  高速印刷および印刷方向（片方向／両方向）を指定しません。プリンタ本体の設定が有効となります。

- 標準（片方向印刷）

  左から右へ印刷を行います。最もきれいに印刷することができます。

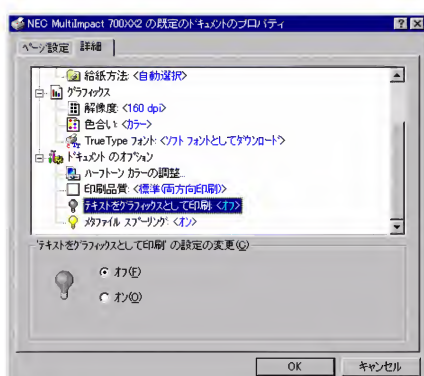
- 標準（両方向印刷）

  両方向最短印刷を行います。片方向印刷に比べて印刷時間が短縮されます。

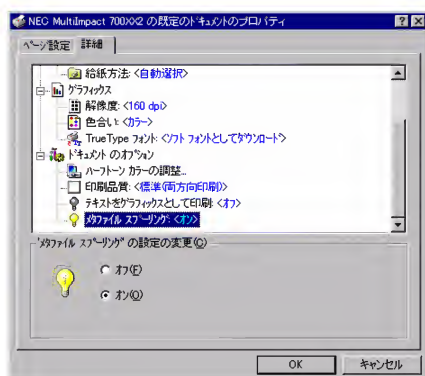
- 高速（片方向印刷）

  印刷データを 1 ドットおきに間引いてから左から右へ印刷を行います。［標準（片方向印刷）］に比べて印刷時間が短縮されます。

- 高速（両方向印刷）

  印刷データを 1 ドットおきに間引いて両方向最短印刷を行います。最も高速に印刷することができます。

テキストをグラフィックスとして印刷

オフ：　テキストを設定されているフォントで印刷します。

オン：　プリンタフォントを使用せず、グラフィックスでテキストを印刷します。

メタファイルスプーリング

印刷情報をディスクに格納する形式を指定します。

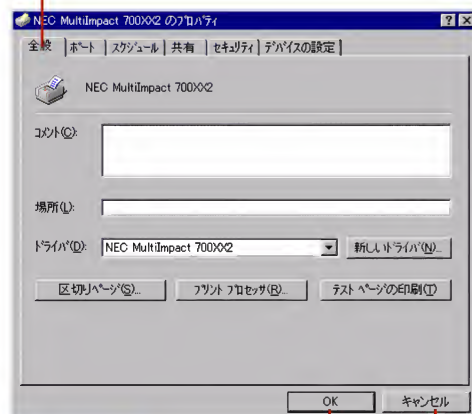
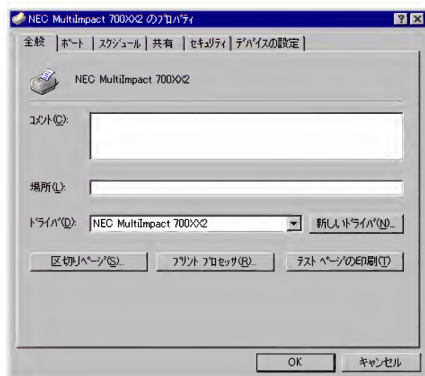
オン：　EMF（メタファイル）形式

オフ：　RAW形式

- ［用紙サイズ］、［給紙方法］、［印刷の向き］の3つの設定はページ設定と詳細プロパティシートの両方にあります。どちらか一方のプロパティシートで設定を変更すると、もう一方も変更されます。
- 用紙サイズは、給紙方法に割り当てる機能です。このため、アプリケーションより給紙方法を設定したときなど、自動的に用紙サイズが給紙方法に割り当てられたものに変わる場合があります。

［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う

［プロパティ］ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

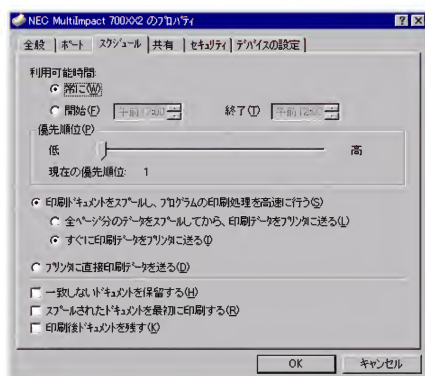
各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている2つのボタンには以下のような機能があります。

［全般］シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

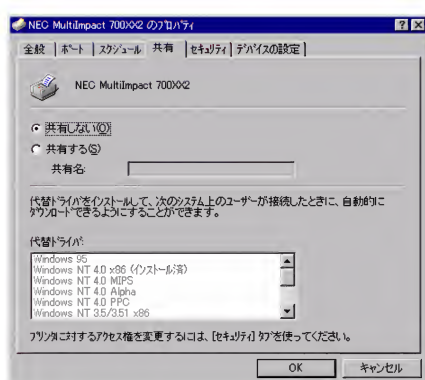
［ポート］シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

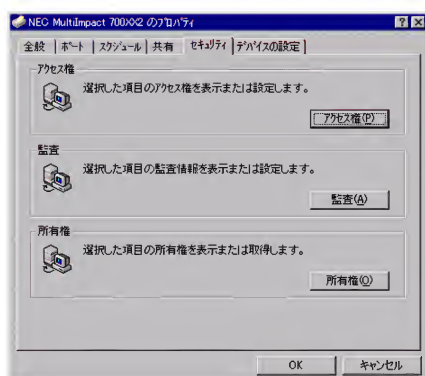
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[スケジュール] シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[共有] シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[セキュリティ] シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

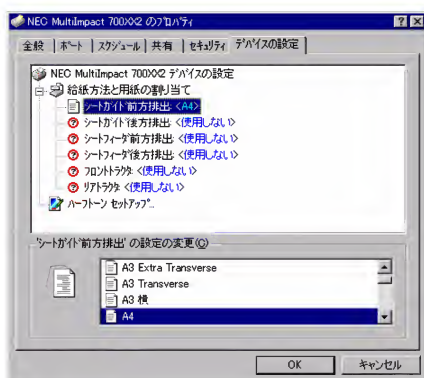
［デバイスの設定］シート

このシートはデバイスの設定に関する以下の設定を行います。

［変更したオプションを元に戻す］

変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。

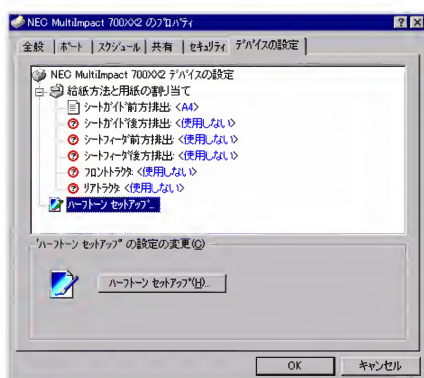
［ラスタプリンタドライバのバージョン情報］

プリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

給紙方法と用紙の割り当て

MultiImpact 700がサポートしている給紙方法から、使用するものを選択します。

ツリービューの中の給紙方法の1つをクリックすると[「給紙方法」の設定の変更］として給紙方法に割り当てる用紙が表示されます（MultiImpact 700でサポートする給紙方法については54ページを参照してください）。給紙方法に割り当てる用紙を選択します。

チェック

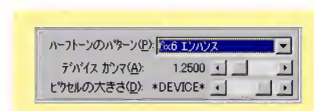
［給紙方法］として［自動選択］を選択したときに、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定が有効となります。設定方法については、64ページを参照してください。

ハーフトーンセットアップの設定の変更

［ハーフトーンセットアップ］をクリックすると［デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。［ハーフトーンセットアップ］については以下の項目を参照してください。

ハーフトーンセットアップについて

MultiImpact 700XX2/700XX2N/
700JX3/700JX3Nの場合

MultiImpact 700LX2/700EXの場合

［戻す］

すべての設定値をダイアログボックスを開いたときの状態にします。

［標準値］

すべての設定値を標準値に戻します。

ハーフトーンのパターン（全モデル共通）

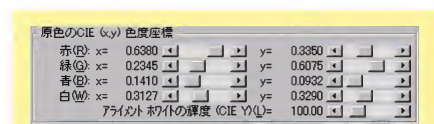
画面パターン1つ分のサイズを設定します。サイズはピクセル（画素）単位で計測されます。

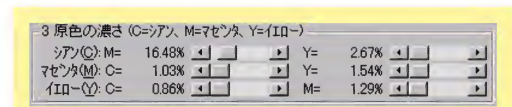
- デバイスガンマ

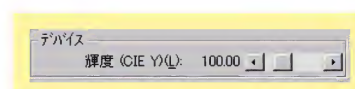
  ガンマ特性を用いて、出力データの明るさを調整します。値を小さくすると明るくなり､大きくすると暗くなります。
- ピクセルの大きさ

  ピクセルの大きさを設定して、印刷濃度を調整します。

原色のCIE（x､y）色度座標（MultiImpact 700XX2/700XX2N/700JX3/700JX3Nの場合）

国際照明委員会（CIE）規格を使って､色度座標を調整します。

3原色の濃さ（MultiImpact　700XX2/700XX2N/700JX3/700JX3Nの場合）

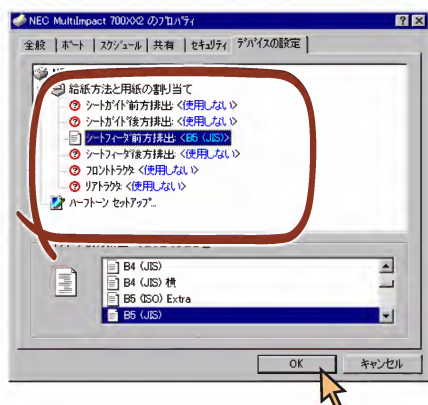
3原色の濃さを調整します。

デバイス（MultiImpact 700LX2/700EXの場合）

国際照明委員会（CIE）規格を使って、輝度を調整します

給紙方法と用紙の割り当てについて

給紙方法と用紙の割り当てにより、給紙方法を自動選択する場合は以下のように設定します。

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスを開く。**

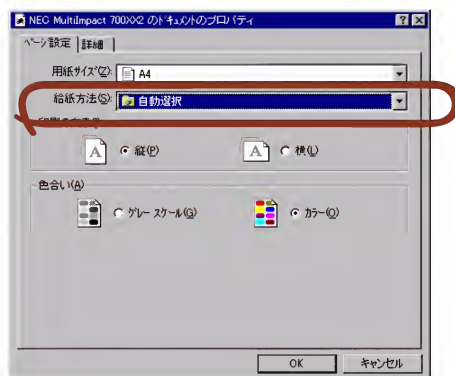
［プロパティ］ダイアログボックスの開き方については、49ページの「［スタート］ボタンを使って呼び出す」をご覧ください。

❷ **［デバイスの設定］シートで［給紙方法と用紙の割り当て］を設定し、［OK］をクリックする。**

チェック

同じ用紙サイズを複数の給紙方法に割り当てた場合は、上の方に表示されている給紙方法が選択されます。

❸ **［ドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを開く。**

［ドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスの開き方については、49ページの「［プロパティ］ダイアログボックスを開く」をご覧ください。

❹ **［ページ設定］シートで給紙方法から［自動選択］を選択する。**

チェック

［自動選択］以外の給紙方法を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定にかかわらず、ここで選択した設定方法で印刷が行われます。

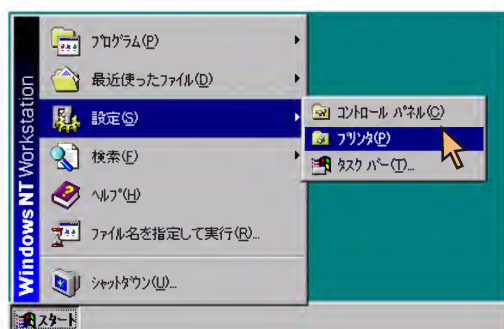
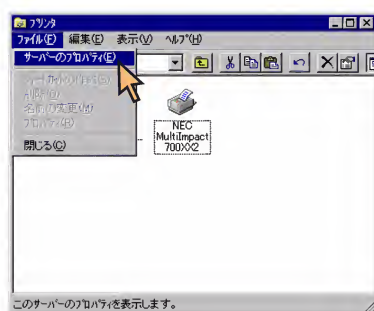
❺ **使用する用紙サイズを選択し、［OK］をクリックする。**

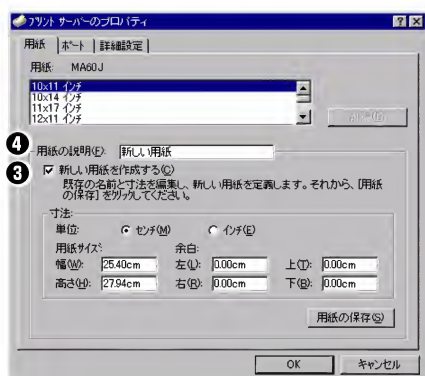
チェック

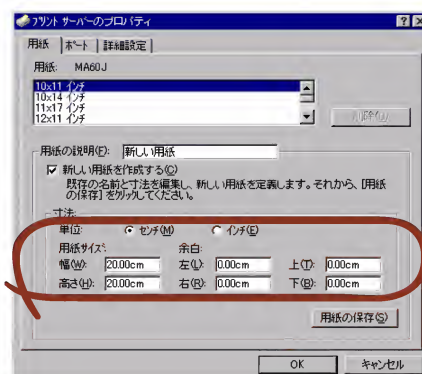
ここで［給紙方法と用紙の割り当て］で設定した用紙サイズ以外の用紙を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］で一番上に表示されている給紙方法で印刷が行われます。

ユーザー定義用紙サイズの登録

次の手順でユーザー定義用紙サイズを登録します。

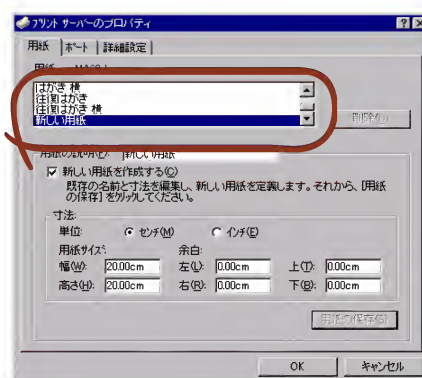
❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックし、［プリンタサーバーのプロパティ］ダイアログボックスを開く。

❸ ［用紙］シートにおいて［新しい用紙を作成する］をチェックする。

❹ ［用紙の説明］に用紙の名前を設定する。

チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

❺ ［単位］を指定して［用紙サイズ］と［余白］を設定する。

- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
- MultiImpact 700XX2プリンタドライバでは、幅50.8～420.05mm、長さ25.4～541mmの範囲内で用紙サイズを使用することができます。
- MultiImpact 700XX2プリンタドライバでは、ユーザー定義用紙サイズの左右余白は0mm固定です。また、上下余白は給紙方法を選択することで設定されます。このため、用紙登録時の余白設定は反映されません。

❻ ［用紙の保存］をクリックする。

❼ ［用紙］一覧に新しい用紙が表示されたことを確認する。

2章
リモートパネル

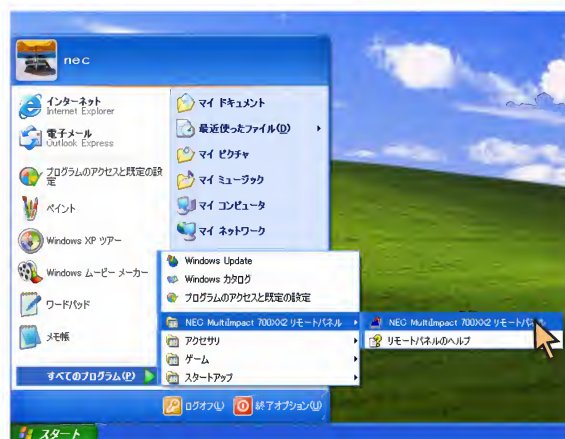
リモートパネルは、MultiImpact 700の操作パネルから行う各種設定をご使用のコンピュータの画面上で実行できるように作成されたソフトウェアです。
ここではMultiImpact 700XX2リモートパネルの起動方法、リモートパネルの使い方について説明します。MultiImpact 700XX2Nをお使いの場合もMultiImpact 700XX2リモートパネルをお使いください。MultiImpact 700JX3/700JX3N/700LX2/700EXをお使いの方は、本文中の「MultiImpact 700XX2」をお使いの機種に読み替えてお使いください。
リモートパネルの設定項目の詳細については、リモートパネルのヘルプをご覧ください。

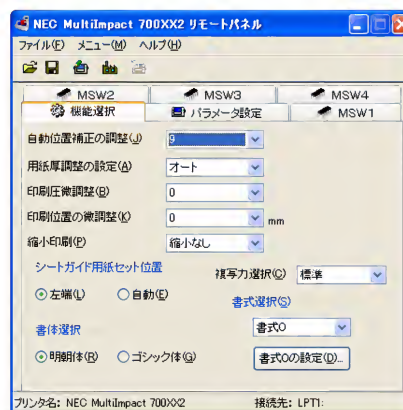
チェック

リモートパネルはWindows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版、Windows Me 日本語版、Windows 98 日本語版、Windows NT 4.0 日本語版でのみ動作します。リモートパネルのインストール方法についてはソフトウェアマニュアルをご覧ください。

リモートパネルの起動

［リモートパネル］は以下の方法で開きます。

［スタート］の［すべてのプログラム］から、［NEC Multi-Impact 700XX2リモートパネル］フォルダの［NEC MultiImpact 700XX2リモートパネル］をクリックします。

右のようなリモートパネルが表示されます。

リモートパネルの起動時の設定表示は、プリンタ本体の設定状態にかかわらず、プリンタの工場出荷設定の値を表示します。

リモートパネルの使い方

リモートパネルを起動すると次のような［リモートパネル］メインダイアログボックスが表示されます。

タイトルバー

このアイコンをクリックすると、システムメニューを表示します。

メニューバー

リモートパネルでプリンタの設定を変更するための3つのメニュー項目を表示します。

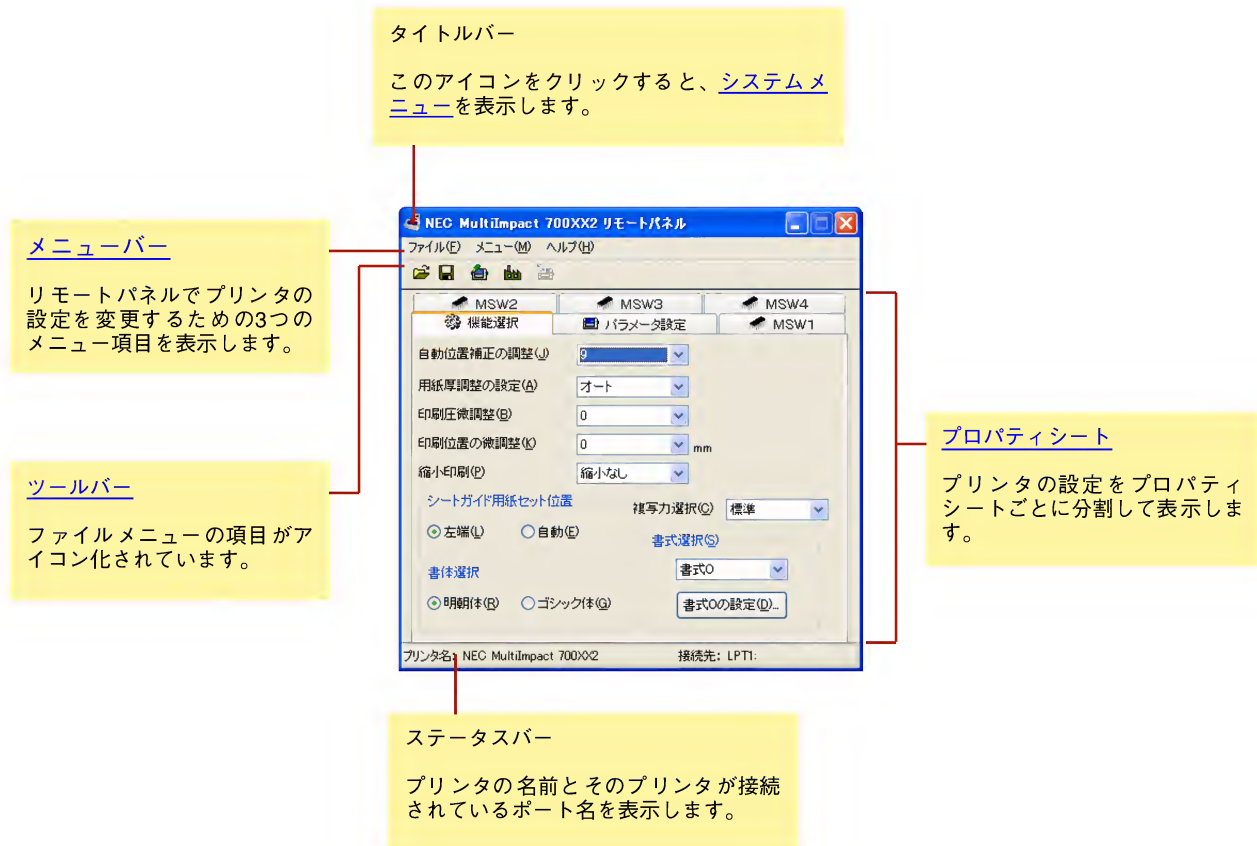
ツールバー

ファイルメニューの項目がアイコン化されています。

プロパティシート

プリンタの設定をプロパティシートごとに分割して表示します。

ステータスバー

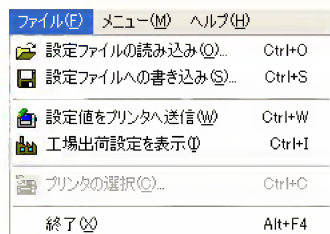
プリンタの名前とそのプリンタが接続されているポート名を表示します。

システムメニュー

- **元のサイズに戻す**
  アイコン化されているリモートパネルをウィンドウ状態に戻します。アイコン化されていないときはグレー表示されます。
- **移動**
  リモートパネルのウィンドウを移動します。リモートパネルがアイコン表示されているときは移動できないため、グレー表示されます。
- **サイズ変更**
  使用できないためグレー表示されます。
- **最小化**
  リモートパネルをアイコン表示します。すでにアイコン表示されているときはグレー表示されます。
- **最大化**
  使用できないためグレー表示されます。
- **閉じる**
  リモートパネルを終了します。

メニューバー

リモートパネルでプリンタの設定を変更するための3つのメニュー項目を表示します。

ファイル

［ファイル］をクリックすると、リモートパネルで設定した値を書き込んだり、工場出荷時の設定値に戻して表示させたりすることができます。

設定ファイルの読み込み

この項目をクリックすると［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。

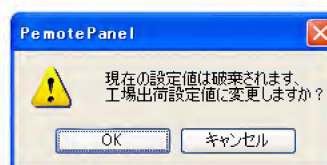
設定ファイルへの書き込み

この項目をクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するための右のダイアログボックスが表示されます。

設定値をプリンタへ送信

選択されているプリンタにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。

工場出荷設定値を表示

リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき右のダイアログボックスが表示されます。

このとき［キャンセル］をクリックすると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。［OK］をクリックすると右のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンタ本体の設定値は変更されません。[設定値をプリンタに送信]を選択してはじめて設定値は変更されます。

プリンタの選択

リモートパネルで設定変更したいプリンタを選択することができます。ご使用のコンピュータに複数のMultiImpact 700XX2プリンタドライバがインストールされている場合のみ、プリンタを選択するため右のダイアログボックスが表示されます。
設定を変更または表示したいプリンタをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンタ名および接続先が表示されます。

リストビュー

［OK］をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンタの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。

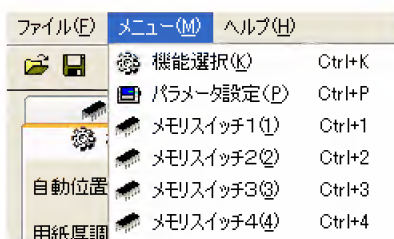
チェック

ご使用のコンピュータにMultiImpact 700XX2プリンタドライバが1つしかインストールされていない場合は、［プリンタの選択］はグレー表示され、選択できません。

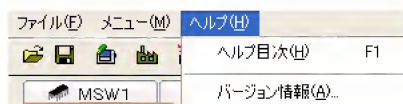
終了

リモートパネルを終了することができます。

メニュー

リモートパネルで設定変更したい項目を選択することができます。

設定変更したい項目を選択します。設定項目の詳細については、ユーザーズマニュアルまたはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

ヘルプ

ヘルプをクリックすると、リモートパネルのヘルプやバージョン情報を表示することができます。

ヘルプ目次

リモートパネルのヘルプを表示します。

バージョン情報

リモートパネルのバージョン情報を表示します。

ツールバー

- **［設定ファイルの読み込み］ボタン**
  このボタンをクリックすると［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。

- **［設定ファイルへの書き込み］ボタン**
  このボタンをクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するためのダイアログボックスが表示されます。

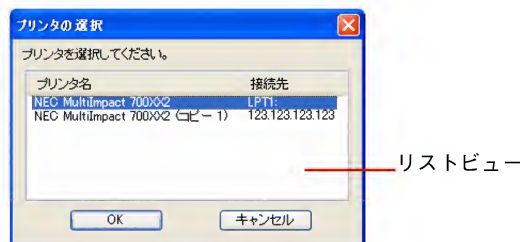
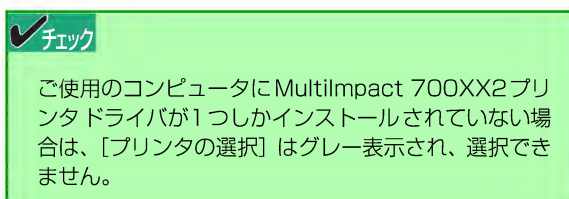
- **［設定値をプリンタへ送信］ボタン**
  このボタンをクリックするとプリンタにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。

- **［工場出荷設定を表示］ボタン**
  リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき次のダイアログボックスが表示されます。

このとき［キャンセル］を選択すると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。
［OK］を選択すると次のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。

チェック

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンタ本体の設定値は変更されません。［設定値をプリンタに送信］を選択してはじめて設定値は変更されます。

- ［プリンタの選択］ボタン
  このボタンをクリックするとリモートパネルで設定変更したいプリンタを選択することができます。ご使用のコンピュータに複数のMultiImpact 700XX2プリンタドライバがインストールされている場合のみ、プリンタを選択するため次のダイアログボックスが表示されます。設定または表示したいプリンタをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンタ名および接続先が表示されます。

［OK］をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンタの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。

ご使用のコンピュータにMultiImpact 700XX2プリンタドライバが1つしかインストールされていない場合は、［プリンタの選択］はグレー表示され、選択できません。

プロパティシート

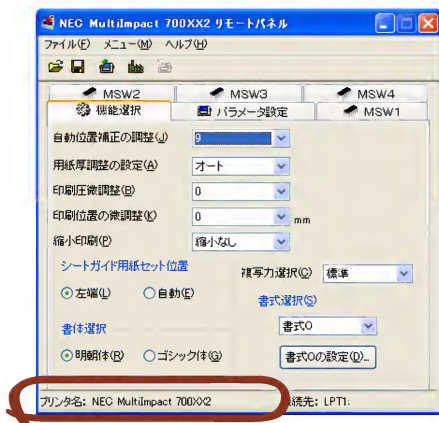
プリンタの設定をプロパティシートごとに分割して表示します。

設定項目の詳細については、ユーザーズマニュアルまたはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

設定変更手順

リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

❶ 設定を変えたいプリンタかどうか確認する。

ステータスバーのプリンタをプリンタ名で確認してください。もし希望のプリンタでない場合はツールバーの［プリンタの選択］ボタンをクリックするか［ファイル］メニューから［プリンタの選択］を選んで変更します。

チェック

プリンタの変更はプリンタが複数ある場合のみ可能です。

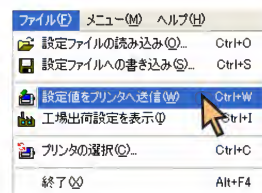
❷ 希望の設定項目のあるタブをクリックする。

希望するプロパティシートを選択し、設定項目を表示させてください。

❸ プロパティシートで設定を変更する。

設定項目の詳細については、ユーザーズマニュアルまたはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

❹ 変更した設定内容をプリンタに書き込む。

ツールバーの［設定値をプリンタへ送信］ボタンをクリックするか［ファイル］メニューから［設定値をプリンタへ送信］を選択します。

❺ ［ファイル］メニューから［終了］を選択し、リモートパネルを終了する。

これでリモートパネルの設定変更は終了です。

チェック

- リモートパネルは、対応機種のプリンタドライバがインストールされていない場合、起動できません。対応機種のプリンタドライバをインストールしてから、再度リモートパネルを起動してください。
- リモートパネルから設定値を送信する場合、接続先を確認し、正しい接続先になっていることを確認してから送信してください。また、コンピュータと送信先プリンタが正しく接続されていることを確認し、誤って他のプリンタに送信しないように注意してください。

3章 PrinterSignalStation

この章では、PrinterSignalStationを正常に機能させるための注意事項、およびPrinterSignalStationが提供する各機能の設定方法を説明します。また、説明はWindows XPの画面を使用していますが、Windows 2000/Server 2003でも同様です。MultiImpact 700XX2を例に説明しています。MultiImpact 700EX/700JX3/700JX3N/700LX2をお使いの方は、本文中の「MultiImpact 700XX2」をお使いの機種に読み替えてお使いください。

PrinterSignalStationの使用できる環境

PrinterSignalStationをインストールできる環境は、次のとおりです。それ以外ではご使用になれません。

- Windows 2000 日本語版
- Windows XP 日本語版
- Windows Server 2003 日本語版

PrinterSignalStationを正しく動作させるには、次のいずれかが必要となります。それ以外では正しく動作しない場合があります。

- LANボード（PR-NP-06＊[1]）、LANアダプタ（PR-NP-07）
- プリンタケーブル（PC-CA205、PC-PRCA-01）

チェック

- 上記以外のLANアダプタ、LANボード、およびプリンタ切替器、プリンタバッファ等を接続した場合、PrinterSignalStationは正しく動作しない場合があります。
- PrinterSignalStationはPrintAgentとの併用はできません。

＊1　MultiImpact 700XX2N/700JX3N は標準でLAN ボード（PR-NP-06 相当）を装備しています。

PrinterSignalStationに関する注意事項

ここでは、PrinterSignalStationを正常に機能させるための注意事項について説明します。

PrinterSignalStationを動作させる前に

PrinterSignalStationを動作させる前に、以下の項目を確認してください。

- PrinterSignalStationを正しく動作させるためには、プリンタのプロパティの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］をチェックし、プリンタとの双方向通信機能を有効にする必要があります。
- コンピュータ本体とプリンタの接続で、NEC指定以外のプリンタケーブルやプリンタインタフェース変換アダプタまたは、プリンタバッファ、プリンタ切替器、プリンタ共有器、プリンタセレクタなどを使用している環境では、PrinterSignalStationは、正しく動作しない場合があります。
- PrinterSignalStationは、ローカルプリンタに対してもネットワーク上の共有プリンタに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上の共有プリンタで使用される場合、PrinterSignalStationソフトウェアおよびPrinterSignalStation対応のプリンタドライバが、サーバ、クライアントの両者にインストールされている必要があります。
- PrinterSignalStationは、プリンタプールをサポートしていません。プリンタのプロパティの［ポート］シートの［プリンタプールを有効にする］がチェックされている場合は、PrinterSignalStationはプリンタの状態を正しく表示できません。チェックをはずしてご使用ください。
- PrinterSignalStationとプリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティを同時に使用すると、PrinterSignalStationが正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じてプリンタの監視を行わないように設定してください。

PrinterSignalStationの制限事項

一部コンピュータのパラレルポートの設定（例：ECPポート）によっては、PrinterSignalStationの動作および、印刷に不具合が生じる場合があります。このような場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照し、パラレルポートの設定を変更していただくことにより、PrinterSignalStationが正常に動作できるようになる場合があります。

転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境についてのご注意

転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrinterSignalStationを使用している場合に、PrinterSignalStationの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。考慮すべきネットワーク環境の例として、以下のケースがあります。

- ネットワークプリンタが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- プリントサーバ、DNSサーバ、WINSサーバが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- ローカルネットワークの通信自体が従量課金ネットワークの場合

これらを避けたい場合は、以下のように設定してください。

- プリンタのプロパティの［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］のチェックをはずして、PrinterSignalStationの双方向通信機能を無効にしてください。
- PrinterSignalStationの［環境設定］ダイアログボックスを開き、［監視するプリンタの選択］シートにおいて、課金されるネットワークに接続しているプリンタのチェックをはずし、PrinterSignalStationの監視対象からはずしてください。

ソフトウェアの起動

PrinterSignalStationは、ローカルプリンタの印刷、管理に加え、ネットワークで印刷される方、ネットワークプリンタを管理する方のために、さまざまな機能を提供します。
また、PrinterSignalStationは一度起動するとタスクトレイに常駐するので、PrinterSignalStationを終了させない限り、再度起動させる必要はありません。

PrinterSignalStationはインストール後、自動的に起動します。
再度、PrinterSignalStationを起動する場合は、［スタート］ボタンから起動します。

［PrinterSignalStationフォルダ］

タスクトレイアイコン

PrinterSignalStationは起動後、タスクトレイに常駐することにより、次のようなことが可能となります。

- タスクトレイからメニュー画面を容易に開くことができる
- プリンタドライバの［プロパティ］や［プリンタフォルダ］などを開くことができる
- リモートパネルを起動することができる＊1

PrinterSignalStationが提供するこれらの機能により、従来［スタート］ボタンから行っていた作業を容易に行えるようになります。また、プリンタの状態によってアイコンの表示が変化したり、バルーンのポップアップによってプリンタの状態通知をしますので、プリンタの状態監視がタスクトレイでも行えます。

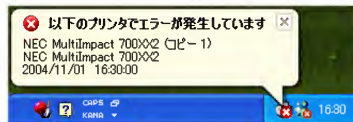
＊1 別途、お使いのプリンタに対応したリモートパネルをインストールする必要があります。

バルーンポップアップ

PrinterSignalStationは次のようなバルーンポップアップを使用してプリンタの状態を通知します。
また、Windows XP以降のOSをお使いの場合は、ポップアップされた表示内容によって、バルーンをクリックすると［状態］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは82ページを参照してください）。

バルーンポップアップは次の情報を表示します。

- ［プリンタフォルダ］で設定したプリンタ名
- 印刷したファイル名（印刷終了時）
- プリンタの状態
- 日付／時刻

同時に複数のプリンタを監視している場合は、次のようなバルーンポップアップを使用してプリンタの状態を通知します。
また、Windows XP以降のOSをお使いの場合はポップアップされた表示内容によって、バルーンをクリックすると［プリンタ一覧］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは82ページを参照してください）。

［複数プリンタ監視時のバルーンポップアップ］

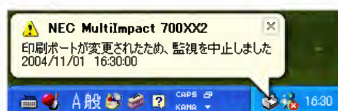
また、プリンタの状態監視以外にも、次のような場合にバルーンを表示します。

- 監視中のプリンタが削除された
  以下のバルーンポップアップを表示します。

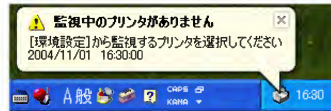
＜プリンタ名＞ プリンタが削除されたため、監視を中止しました ＜日付＞　＜時刻＞

［プリンタ削除警告バルーン］

- 監視中プリンタの印刷ポートが変更され、監視不可能な印刷ポートになった
  以下のバルーンポップアップを表示します。

＜プリンタ名＞ 印刷ポートが変更されたため、監視を中止しました ＜日付＞　＜時刻＞

［印刷ポート変更警告バルーン］

- PrinterSignalStation起動時に、監視可能なプリンタドライバがインストールされているが、監視設定されていない場合は、以下のバルーンポップアップを表示します。Windows XP以降のOSをお使いの場合、バルーンをクリックすると、［環境設定］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは83ページを参照してください）。

監視中のプリンタがありません
［環境設定］から監視するプリンタを選択してください
＜日付＞　＜時刻＞

［監視中のプリンタなし警告バルーン］

バルーンポップアップが表示されている時間の設定は、［環境設定］―［通知の設定］で変更可能です（詳しくは84ページを参照してください）。複数プリンタを監視する場合は、プリンタエラー＞プリンタ警告＞プリンタ通常の優先度でバルーンポップアップを表示します。

メニューの起動

タスクトレイからアイコンをクリックすることによって、以下のメニューを表示させることができます。

［左クリック］

PrinterSignalStationが監視しているプリンタの一覧を表示させたり、監視しているプリンタの［印刷設定］や［プロパティ］を開くためのメニューを表示することができます。

［トレイアイコン（左クリック）］

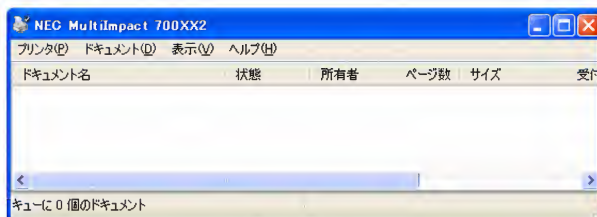
左クリックメニューを開くと以下のメニューを表示します。

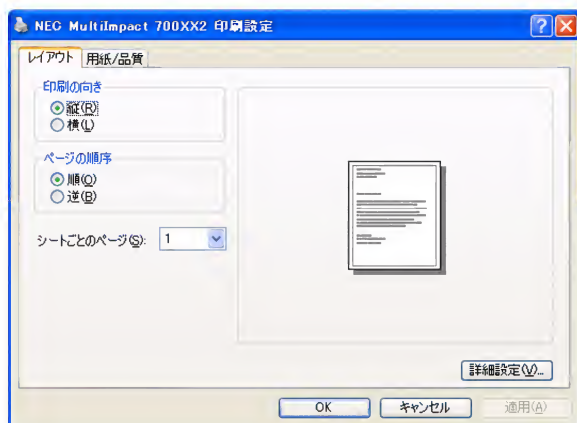
［プリンター覧］

監視しているプリンタを一覧を表示する［プリンター覧］ダイアログボックスを開きます（詳しくは82ページを参照してください）。

［プリンタ名］

- 状態
  クリックしたプリンタの詳細な状態を表示する［状態］ダイアログボックスを開きます（詳しくは82ページを参照してください）。

- プリンタフォルダ
  クリックしたプリンタフォルダを開きます。

[プリンタフォルダ]

- 印刷設定
  クリックしたプリンタの印刷設定を開きます。

- プロパティ
  クリックしたプリンタのプロパティを開きます。

[ヘルプ]

PrinterSignalStationのヘルプを開きます（詳しくは87ページを参照してください）。

［右クリック］

PrinterSignalStationの環境設定やリモートパネルの起動など、詳細な設定ができるメニューを表示することができます。
また、PrinterSignalStationを終了させることができます。

［トレイアイコン（右クリック）］

右クリックメニューを開くと、以下のメニューを表示します。

［プリンター覧］

［プリンター覧］ダイアログボックスを開いて、監視しているプリンタを一覧表示します（詳しくは82ページを参照してください）。

［プリンタ名］

- 状態（詳しくは82ページを参照してください）。
- プリンタフォルダ
- 印刷設定
- プロパティ

［環境設定］

［環境設定］ダイアログボックスを開いて、プリンタの監視内容、通知内容を設定＊[1]します（詳しくは83ページを参照してください）。

［リモートパネル］

［リモートパネル］ダイアログボックスを開いて、リモートパネルを起動します（詳しくは87ページを参照してください）。

［ヘルプ］

PrinterSignalStationのヘルプを開きます（詳しくは87ページを参照してください）。

［バージョン情報］

［バージョン情報］ダイアログボックスを開いて、PrinterSignalStationのバージョン情報を表示します。

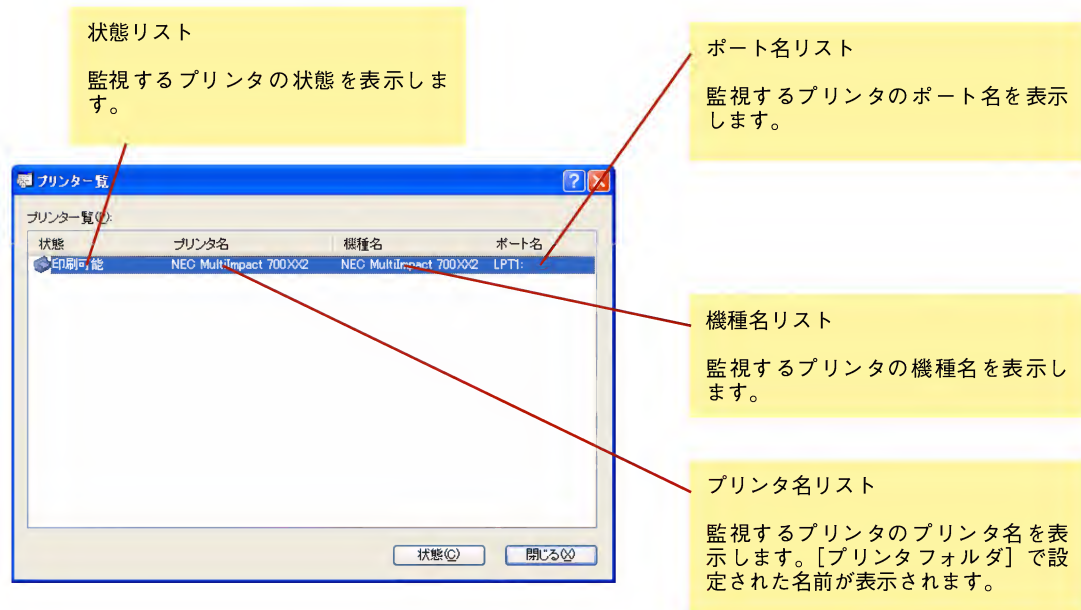
［バージョン情報］

［終了］

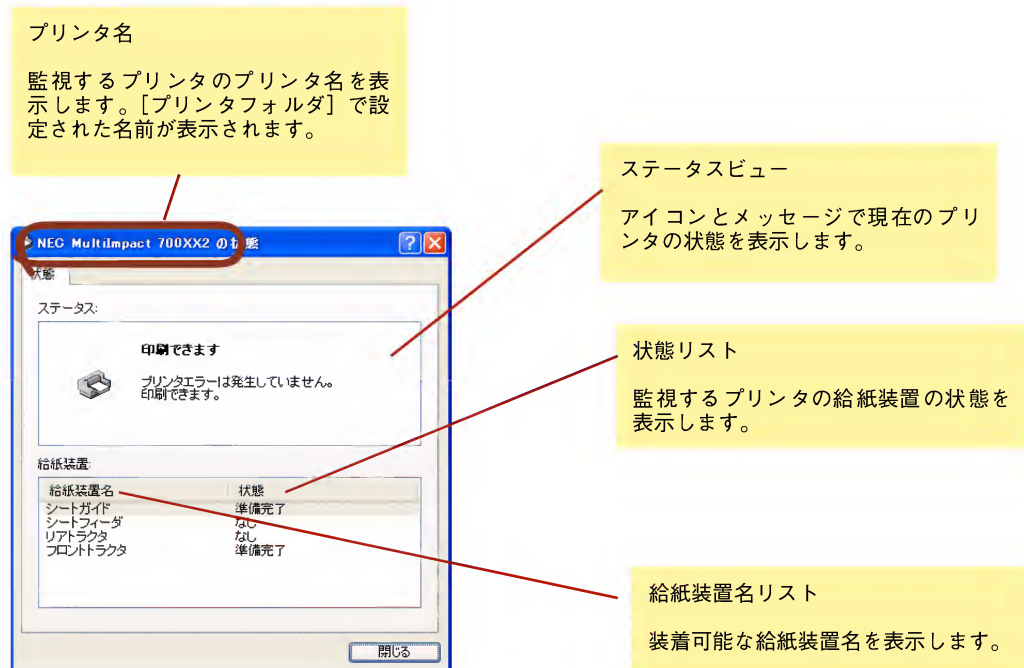
PrinterSignalStationを終了します。

＊1　管理者権限がない場合は、設定できません。

プリンター覧

プリンター覧ダイアログでは、次のような画面を使用して、監視しているプリンタを一覧表示することができます。

[プリンター覧]

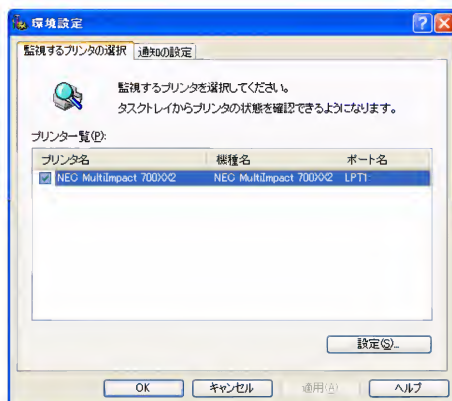
状態

状態ダイアログでは、次のような画面を使用して、プリンタの状態をより詳細に参照することができます。

[状態]

環境設定

環境設定ダイアログでは、監視するプリンタの選択やバルーンポップアップで表示する内容を設定することができます。
管理者権限のない場合は、［環境設定］を表示できません。

- ［監視するプリンタの選択］タブ

  次の画面でPrinterSignalStationで監視するプリンタを選択します。
  PrinterSignalStationでは、ここでチェックボックスにチェックを付けたプリンタを監視します。
  また、チェックを付けたプリンタは、タスクトレイのメニューにプリンタ名が追加され、プリンタの［印刷設定］や［プロパティ］を開くことができるようになります（詳しくは81ページを参照してください）。
  監視するプリンタは同時に複数選択することができます。

［監視するプリンタの選択］

チェックを付けないとプリンター覧などに表示されません。プリンタドライバのポートは、LPT、USBまたはStandard TCP/IP Portを選択してください。また、［双方向サポートを有効にする］にチェックが付いていることを確認してください。

監視するプリンタの選択タブで、［設定］ボタンをクリックすると、プリンター覧で選択されたプリンタの環境設定ができます。

［プリンタの設定］

- 監視の設定
  プリンタドライバで設定されているポートの状態監視方法を設定します。

[通常監視]

プリンタのSelect、Busy、PE信号により、高速にプリンタを監視します。

[高度監視]

プリンタのSelect、Busy、PE信号に加え、双方向通信機能により、詳細なプリンタの監視を行います。ただし、プリンタの状態変化を検出するまで、数秒の時間がかかる場合があります。

プリンタによって高度監視ができない場合があります。高度監視は、LPT、USBおよびStandard TCP/IP Port使用時のみ設定できます。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

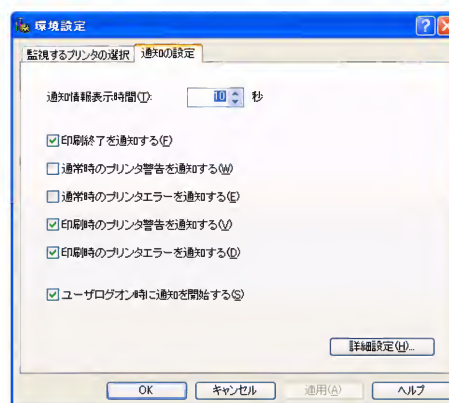
高度監視を使用する場合は、PR-NP-06、PR-NP-07の「Print Port Mode」を「Enable」に設定してください。PR-NP-06、PR-NP-07の設定についてはPR-NP-06、PR-NP-07のオンラインマニュアルをご覧ください。PR-NPX-05を使用している場合は、高度監視は動作しません。

「KSPプリンタ支援ソフトウエア」を使用する場合は、PrinterSignalStationの[監視の設定]を通常監視とし、PR-NP-06、PR-NP-07の「Print Port Mode」を「Disable」に設定してください。

- Standard TCP/IP Portの設定
  プリンタの印刷ポートがStandard TCP/IP Portである場合のSNMPコミュニティ名を設定します。プリンタに装着されたLANアダプタ、LANボードに設定されているSNMPコミュニティ名を設定します。

チェック

入力できる文字数は、0～32文字です。入力できる文字は、英数字、ハイフン(-)、アンダーバー(_)です。設定変更する場合は、管理者権限が必要となります。

- [通知の設定]タブ
  プリンタの状態を通知するバルーンポップアップの表示設定を行います。

[通知の設定]

[通知情報表示時間]

バルーンポップアップの表示時間を示します。バルーンのポップアップは設定時間が経過すると自動的に閉じます。設定値は、1～60秒の間で設定することができます。初期設定では10秒に設定されています。

プリンタの状態がチェックボックスの内容と一致した場合、チェックが付いているとバルーンポップアップ表示するようになります。チェックボックスの設定により、以下のタイミングでプリンタの状態をバルーンでポップアップ表示します。

- 印刷終了を通知する

  プリンタの印刷終了時に、次のようなバルーンをポップアップし、印刷終了を通知します。

[印刷終了]

- 通常時のプリンタ警告を通知する

  プリンタが印刷を行っていない時に、プリンタ警告が通知された場合、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタ警告を通知します。

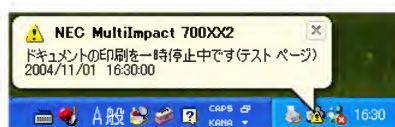
[プリンタ警告]

- 通常時のプリンタエラーを通知する

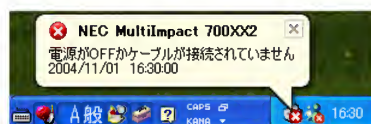
  プリンタが印刷を行っていない時に、プリンタエラーが通知された場合、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタエラーを通知します。

[プリンタエラー]

- 印刷時のプリンタ警告を通知する

  プリンタが印刷中にプリンタ警告を通知された場合に、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタ警告を通知します。

[プリンタ警告（印刷中)]

- 印刷時のプリンタエラーを通知する

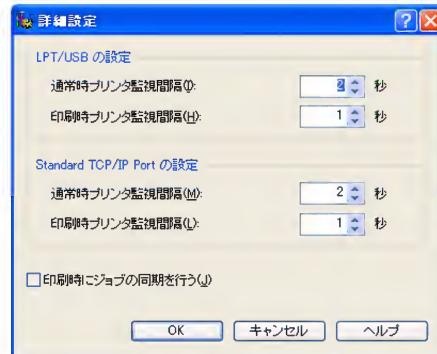
  プリンタが印刷中にプリンタエラーを通知された場合に、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタエラーを通知します。

[プリンタエラー（印刷中)]

［ユーザログオン時に通知を開始する］

ユーザがWindowsにログオンすると、自動的にPrinterSignalStationを起動しプリンタの状態通知を開始します。PrinterSignalStationを手動で起動したい場合は、チェックボックスのチェックを外してください。チェックを外している場合は、Windowsにログオンしてから、［スタート］メニュー─［すべてのプログラム］─［PrinterSignalStation］の［PrinterSignalStation］をクリックしてください。

チェックボックスのチェックをすべて外すと、PrinterSignalStationを起動してもバルーンのポップアップはされません。サーバ／クライアントによる共有プリンタでご使用の場合は、クライアントの設定が有効となります。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

［詳細設定ボタン］

PrinterSignalStationがプリンタの状態を監視する間隔を設定します。

[詳細設定]

- LPT/USBの設定

［通常時プリンタ監視間隔］

プリンタドライバで設定されているポートが、LPTかUSBで、印刷を行っていない場合のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、1～5秒の間で設定できます。初期設定は2秒です。

［印刷時プリンタ監視間隔］

プリンタドライバで設定されているポートが、LPTかUSBで、印刷中のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、0.5、1～5秒の間で設定できます。初期設定は1秒です。

- Standard TCP/IP Portの設定

［通常時プリンタ監視間隔］

プリンタドライバで設定されているポートが、Standard TCP/IP Portで、印刷を行っていない場合のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、1～5秒の間で設定できます。初期設定は2秒です。

［印刷時プリンタ監視間隔］

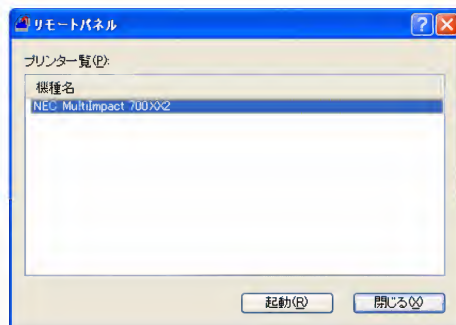
プリンタドライバで設定されているポートが、Standard TCP/IP Portで、印刷中のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、0.5、1～5秒の間で設定できます。初期設定は1秒です。

サーバ／クライアントによる共有プリンタでご使用の場合は、サーバの設定が有効となります。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

- 印刷時にジョブの同期を行う

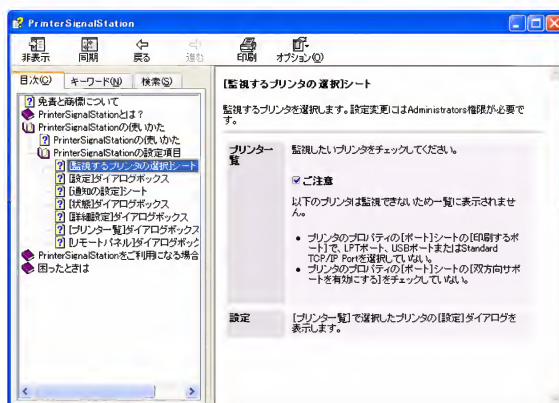
  プリンタでの印刷動作が完全に終了してから、次の印刷を開始します。連続印刷の場合などでも、各ジョブの印刷動作が終了したことを確実に通知するようになります。

リモートパネルの起動

インストールされているリモートパネルを表示します。また、リモートパネルを起動することができます。

[リモートパネル]

- リモートパネルがインストールされていない場合は何も表示されません。お使いのプリンタに対応したリモートパネルをインストールしてから再度開きなおしてください。
- リモートパネルを異なるプリンタに対して使用すると、プリンタの設定が正しく行われず、正しく印刷できなくなる場合があります。

ヘルプを見る

PrinterSignalStationのヘルプを見るためには、タスクトレイのアイコンを右クリックし、メニューから［ヘルプ］を開くか、［？］ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックしてください。

[メニューから開くヘルプ]

［？ボタンから表示するヘルプ］

トレイアイコン

PrinterSignalStationでは、タスクトレイに次の3種類のアイコンを使用してプリンタの状態を表示します。

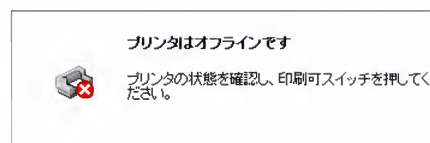
プリンタ通常…プリンタの状態に問題がなく、印刷可能な状態

プリンタ警告…プリンタの状態に問題があり、印刷できないが容易に回避可能な状態

プリンタエラー…プリンタの状態に問題があり、印刷できない状態

ステータス

タスクトレイと同様のアイコンを使用してプリンタの状態を表示し、文字によるメッセージを付随します。

－ ［状態］

－ ［プリンタの一覧］

PrinterSignalStationが正しく動作しないときは

次の表にPrinterSignalStationが正しく動作しないときの症状とその原因、対処方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

症　状	原因と対処方法
インストール／起動	
PrinterSignalStation がインストールできない	PrinterSignalStationが対応していないOSにはできません。 → PrinterSignalStationのサポートOSは、Windows XP/2000、およびWindows Server 2003です。ご使用になっているOSをご確認ください。
	インストール先のハードディスクの空き容量がありません。 → PrinterSignalStationは約2MBのハードディスクを使用します。2MB以上の空き容量があるハードディスクにインストールしてください。
PrinterSignalStationが起動しない	PrinterSignalStationが正しくインストールされていません。 → PrinterSignalStationが正しくインストールされていない可能性があります。いったんアンインストールし、再度インストールしてください。
PrinterSignalStationが自動起動してしまう／自動起動されない	PrinterSignalStationが自動起動する、または、自動起動しないに設定されています。 → ［環境設定］ダイアログボックスの［通知の設定］シートで、［ユーザログオン時に通知を開始する］の設定をご確認ください。 → チェックされていない場合は、OSにログオンしても起動されません。
起動時に「PrinterSignalServiceが開始されません」と表示され、終了してしまう	PrinterSignalStationのサービスが正しく起動していません。 ① コンピュータを再起動し、PrinterSignalStationが正しく起動するかどうかをご確認ください。 ② PrinterSignalStationをいったんアンインストールし、再度インストールし直すことで正しく起動するかどうかをご確認ください。
設　定	
［環境設定］ダイアログボックスが表示できない	環境設定を行うためのアクセス権がありません。 → ［環境設定］ダイアログボックスにより、PrinterSignalStation の動作設定を変更するためには、「コンピュータの管理者」および「Administrators」といった管理者権限が必要です。管理者権限で環境設定を行うか、システム管理者に連絡してください。
使用したいプリンタが［監視するプリンタの選択］リストに表示されない	PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバがインストールされていません。 → PrinterSignalStation をご使用になる場合は、PrinterSignalStation に対応したプリンタドライバが必要です。PrinterSignalStation対応のMultiImpactに添付されているプリンタソフトウェアCD-ROMから、PrinterSignalStation対応のプリンタドライバをインストールしてご使用ください。 → ネットワーク共有プリンタで PrinterSignalStation をご使用になる場合は、クライアントPC側にもPrinterSignalStation対応のプリンタドライバをインストールする必要があります。PrinterSignalStation対応のプリンタドライバを「LPT1:」や「FILE:」の接続先でインストールし、その後、接続先をネットワーク共有プリンタに変更してください。
	インストールされているプリンタドライバの双方向通信の設定が有効になっていません。 → インストールされているプリンタドライバのプロパティの［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。
	ご使用になるプリンタドライバが、PrinterSignalStationでサポートしているポートに接続されていません。 → PrinterSignalStationでは、「LPTx:」、「USBxxx」あるいはStandard TCP/IP Portをサポートしています。ご使用になるプリンタの接続先をご確認ください。
高度監視設定で動作しない	PR-NPX-05に接続しています。 → PR-NPX-05は高度監視に対応していません。
	高度監視設定を行うために必要なコンポーネントがインストールされていません。 → 高度監視を行う場合は、ご使用になるプリンタ用のコンポーネントが必要です。コンポーネントのインストールについては、ソフトウエアマニュアルをご覧ください。
	PR-NP-06、PR-NP-07で「Print Port Mode」設定がDisableになっています。 → 高度監視設定で動作させるにはPR-NP-06 ,PR-NP-07の「Print Port Mode」設定をEnableに設定してください。PR-NP-06、PR-NP-07の設定についてはPR-NP-06、PR-NP-07のマニュアルをご覧ください。高度監視と通常監視の違いについては、92～94ページをご覧ください。 KSPプリンタ支援ソフトウエアを使用する場合は、PrinterSignalStationを通常監視に設定し、PR-NP-06、PR-NP-07の「Print Port Mode」をDisableに設定してください。

症状	原因と対処方法
設定	
［双方向サポートを有効にする］がチェックできない。または「グレー」で表示されている	PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバがインストールされていません。 → PrinterSignalStationをご使用になる場合は、PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバが必要です。PrinterSignalStation対応のMultiImpactに添付されているプリンタソフトウェアCD-ROMから、PrinterSignalStation対応のプリンタドライバをインストールしてご使用ください。
	プリンタドライバの設定を変更するためのアクセス権がありません。 → プリンタドライバの［双方向サポートを有効にする］の設定を変更する場合は、「コンピュータの管理者」および「Administrators」といった管理者権限が必要となります。管理者権限で環境設定を行うか、システム管理者に連絡してください。
TerminalServiceでの運用で、ユーザの権限にかぎらず、［環境設定］が変更できてしまう	TerminalServiceの設定で「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」が設定されています。 → Terminal Serviceの動作設定として、「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」が設定されている場合、OSの仕様により、Terminal Serviceすべてのユーザに対して［環境設定］の変更が許可されます。システム管理者以外のユーザが環境設定を設定変更できないようにするには、「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」を設定しないでください。
プリンタ監視	
［プリンタ一覧］ダイアログにプリンタが表示されない	プリンタが監視対象として設定されていません。 → ［環境設定］－［監視するプリンタの選択］で、ご使用になるプリンタを監視対象に設定してください。
プリンタエラーあるいは印刷完了が通知されない	［環境設定］－［通知の設定］の各チェックボックスが正しく設定されていません。 → PrinterSignalStationは、この設定に応じてプリンタステータスの通知を行います。ご覧になりたい内容に従って各項目を設定してください。
	ご使用になっているプリンタとプリンタドライバの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationは、接続されているプリンタがサポート外のプリンタであることを認識すると、プリンタのステータス通知内容を「通常監視」と同等の内容に変更します。ご使用になるプリンタに対応したPrinterSignalStation対応のプリンタドライバをご使用ください。
	［環境設定］－［監視するプリンタの選択］で、ご使用になっているプリンタの設定が「通常監視」に設定されています。 → 設定が「通常監視」の場合、通知内容は「高度監視」よりも簡易的な内容となります。詳細な情報を表示させるには「高度監視」に設定してください。高度監視と通常監視の違いについては、92～94ページをご覧ください。
	「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」の［タスクバー］シートの［カスタマイズ］でPrinterSignalStationの動作が「常に非表示」に設定されています。 → 設定が「常に非表示」の場合は、バルーン表示による通知は行われません。「アクティブでないときに非表示」または「常に表示」に設定してください。
状態ダイアログボックスの「給紙装置」がグレーのまま表示されない	［環境設定］－［監視するプリンタの選択］で、ご使用になっているプリンタの設定が「通常監視」に設定されています。 → 設定が「通常監視」の場合、「給紙装置」は表示されません。高度監視と通常監視の違いについては、92～94ページをご覧ください。
状態ダイアログボックスの「給紙装置」が「不明」と表示される	プリンタの電源が入っていません。 → 接続されているプリンタの電源が入っていない場合、PrinterSignalStationは、給紙装置をすべて「不明」と表示します。プリンタの電源を入れてください。
	ご使用になっているプリンタとプリンタドライバの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationは、接続されているプリンタがサポート外のプリンタであることを認識すると、給紙装置をすべて「不明」と表示します。プリンタ装置に対応したプリンタドライバをご使用ください。
	PR-NPX-05に接続しています。 → PR-NPX-05は高度監視に対応していません。
	PR-NP-06、PR-NP-07で「Print Port Mode」設定がDisableになっています。 → 高度監視設定で動作させるにはPR-NP-06 ､PR-NP-07の「Print Port Mode」設定をEnableに設定してください。PR-NP-06、PR-NP-07の設定についてはPR-NP-06、PR-NP-07のオンラインマニュアルをご覧ください。高度監視と通常監視の違いについては、92～94ページをご覧ください。 KSPプリンタ支援ソフトウエアを使用する場合は､PrinterSignalStationを通常監視に設定し、PR-NP-06、PR-NP-07の「Print Port Mode」をDisableに設定してください。

症状	原因と対処方法
プリンタ監視	
「ネットワークエラー」が表示されたままになる	ネットワーク共有プリンタをご使用の場合、プリントサーバの電源が入っていないか、ネットワークケーブルが正しく接続されていません。 → プリントサーバの電源を入れてください。 → ネットワークケーブルを正しく接続してください。
	ネットワークの設定が正しく行われていません。 → PrinterSignalStationは、SNMPプロトコルを使用してプリンタの監視を行います。ネットワークエラーが発生しているプリンタに印刷を行って、印刷が正しく行えない場合は、Standard TCP/IP Portの設定およびOSのTCP/IPの設定を正しく行ってください。 → PrinterSignalStationを再起動してください。 → コンピュータを再起動してください。
「電源OFF／ケーブル断」が表示されたままになる	ご使用になっているプリンタの電源が入っていません。 → プリンタの電源を入れてご使用ください。
	ご使用になっているコンピュータとプリンタが正しく接続されていません。 → プリンタケーブル、ネットワークケーブルを正しく接続してください。
	接続ポートが「USBxxx」の場合、プリンタやプリンタケーブルが正しく設定されていません。 → PC側のケーブルをいったん抜いた後、再度接続し直すことで正しく動作する場合があります。
	Standard TCP/IP Portで接続している場合は、[環境設定] ― [監視するプリンタの選択] の「コミュニティ名」の設定と、ご使用になっているLANボード／アダプタの設定が一致していません。 → PrinterSignalStationは、SNMPプロトコルを使用してプリンタの監視を行います。SNMPプロトコルによって、正しくネットワーク通信を行うためには、PrinterSignalStationに設定されているコミュニティ名と、ご使用になっているLANボード／アダプタのコミュニティ名に同じ文字列を設定してください。
「情報取得中」が表示されたままとなる	ご使用になっているプリンタに正しく印刷できることをご確認ください。 → ご使用になっているプリンタに正しく印刷できる場合は、印刷が完了したことを確認した後、PrinterSignalStationを再起動してください。印刷できない場合は、PCとプリンタの接続が正しく行われていることをご確認ください。
印刷完了の通知が「遅い」または「早い」	[環境設定] ― [通知の設定] の [詳細設定] の設定をご確認ください。 ① プリンタが印刷完了したことを確認したい場合 → [印刷時にジョブの同期を行う] をチェックしてください。この設定により、PrinterSignalStationはプリンタが印刷を終了したことを確認してから印刷完了を通知するようになります。 ② プリンタの印刷完了確認が遅い場合 → [印刷時にジョブの同期を行う] がチェックされていて、印刷完了の通知が遅い場合は、ご使用になるポートの [印刷時プリンタ監視間隔] を変更してください。プリンタの監視間隔を短く設定することで、印刷完了の通知をより速く行えるようになります。 ③ プリンタの印刷完了確認が不要の場合 → プリンタの印刷完了を確認する必要がない場合は [印刷時にジョブの同期を行う] のチェックを外してください。この設定によりPrinterSignalStationはプリンタに対して印刷データを送信し終わったことを確認した時点で印刷完了を通知するようになります。
	Standard TCP/IP Portで接続している場合、ポートの設定 [標準TCP/IPポートモニタの構成] で [SNMPステータスを有効にする] が有効になっています。 → プリンタドライバのプロパティまたはサーバーのプロパティの [ポート] シート - [ポートの構成] の [SNMPのステータスを有効にする] のチェックを外してください。
印刷結果が不正になる	ご使用になっているプリンタとプリンタドライバの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationに対応していないプリンタを「高度監視」設定で監視した場合、印刷結果が不正になる場合があります。その場合、[環境設定] ― [監視するプリンタの選択] でご使用になっているプリンタの監視設定を「通常監視」に変更してください。 MultiImpact 700EX をLANアダプタで接続している環境で、印刷中にプリンタの電源を切ると、印刷結果が不正になる場合があります。 → プリンタの電源を切る場合は、いっしょにLANアダプタの電源も切ってください。
その他機能	
リモートパネルが起動できない	PrinterSignalStationに対応したプリンタのリモートパネルがインストールされていません。 → PrinterSignalStationに対応したプリンタのリモートパネルをインストールしてください。
	リモートパネルに対応したプリンタドライバがインストールされていません。 → リモートパネルに対応したプリンタドライバをインストールしてください。

- アイコン一覧

  以下は、プリンタの状態通知のアイコンです。

プリンタの状態	アイコン
印刷可能	プリンタ通常
ドキュメント準備中	プリンタ通常
印刷中	プリンタ通常
ドキュメント削除中	プリンタ通常
ドキュメント削除終了	プリンタ通常
印刷終了	プリンタ通常
ドキュメント一時停止	プリンタ警告
プリンタ一時停止	プリンタ警告
オフライン	プリンタエラー
他ポート使用中＊1	プリンタ警告
カバーオープン＊1	プリンタエラー
用紙なし＊2	プリンタエラー
用紙サイズエラー＊1、＊3	プリンタエラー
紙づまり＊1	プリンタエラー
リボンジャム＊1、＊3	プリンタエラー
プリンタ装置エラー＊1	プリンタエラー
電源OFF/ケーブル断	プリンタエラー
ネットワークエラー	プリンタエラー
情報取得エラー	プリンタエラー
情報取得中	プリンタ通常

＊1 高度監視時のみ表示

＊2 MultiImpact 700EX では印刷を行わないと用紙なしを検出しません。常時検出にする場合は、ユーザーズマニュアルを参照して「メモリスイッチ2-2 用紙なし検出方法の切り替え」を ON にしてください。

＊3 MultiImpact 700XX2/700JX3/700LX2/700EX ではサポートしていません。

複数のプリンタを監視している場合は、プリンタエラー＞プリンタ警告＞プリンタ通常の優先度でアイコンを表示します。

- バルーンポップアップ一覧
  以下は、バルーンポップアップの状態通知一覧です。

プリンタの状態	表示内容
印刷可能	バルーンPopupなし
ドキュメント準備中	バルーンPopupなし
印刷中	バルーンPopupなし
ドキュメント削除中	バルーンPopupなし
印刷終了	＜プリンタ名＞ 印刷が終了しました（＜ドキュメント名＞） ＜日付＞＜時刻＞
ドキュメント一時停止	＜プリンタ名＞ ドキュメントの印刷を一時停止中です（＜ドキュメント名＞） ＜日付＞＜時刻＞
プリンタ一時停止	＜プリンタ名＞ プリンタは一時停止中です ＜日付＞＜時刻＞
オフライン	＜プリンタ名＞ プリンタはオフラインです ＜日付＞＜時刻＞
他ポート使用中＊1	＜プリンタ名＞ 印刷ポートと異なるポートで処理しています ＜日付＞＜時刻＞
カバーオープン＊1	＜プリンタ名＞ カバーが開いています ＜日付＞＜時刻＞
用紙なし＊2	＜プリンタ名＞ 用紙がありません ＜日付＞＜時刻＞
用紙サイズエラー＊1、＊3	＜プリンタ名＞ 正しい用紙サイズで印刷できませんでした ＜日付＞＜時刻＞
紙づまり＊1	＜プリンタ名＞ 紙づまりです ＜日付＞＜時刻＞
リボンジャム＊1、＊3	＜プリンタ名＞ インクリボンがつまっています ＜日付＞＜時刻＞
プリンタ装置エラー＊1	＜プリンタ名＞ プリンタで障害が発生しています ＜日付＞＜時刻＞
電源OFF/ケーブル断	＜プリンタ名＞ 電源がOFFかケーブルが接続されていません ＜日付＞＜時刻＞
ネットワークエラー	＜プリンタ名＞ ネットワークエラーが発生しています ＜日付＞＜時刻＞
情報取得エラー	＜プリンタ名＞ プリンタの情報が取得できません ＜日付＞＜時刻＞
情報取得中	バルーンPopupなし

＊1 高度監視時のみ表示

＊2 MultiImpact 700EX では印刷を行わないと用紙なしを検出しません。常時検出にする場合は、ユーザーズマニュアルを参照して「メモリスイッチ2-2 用紙なし検出方法の切り替え」を ON にしてください。

＊3 MultiImpact 700XX2/700JX3/700LX2/700EX ではサポートしていません。

複数のプリンタを監視している場合は、プリンタエラー＞プリンタ警告＞プリンタ通常の優先度でアイコンを表示します。

- ステータス一覧
  以下はプリンタの状態通知の文字の一覧です。［状態］ダイアログでは、アイコンと下記の文字を合わせてプリンタの状態を表示します。

プリンタの状態	表示内容
印刷可能	印刷できます。 プリンタエラーは発生していません。印刷できます。
ドキュメント準備中	印刷ドキュメント準備中です。 プリンタに印刷ドキュメントを送信する準備をしています。（スプール中）
印刷中	印刷しています。 印刷ドキュメントをプリンタへ送信し、印刷しています。
ドキュメント削除中	印刷ドキュメントを削除中です。 プリンタに送信中の印刷ドキュメントを削除しています。
情報取得中	プリンタの情報を取得中です。 プリンタの現在の情報を取得しています。
ドキュメント一時停止	ドキュメントの印刷を一時停止中です。 プリンタフォルダでドキュメントの一時停止を解除してください。プリンタのアクセス権がない場合はシステム管理者に連絡してください。
プリンタ一時停止	プリンタは一時停止中です。 プリンタフォルダでプリンタの一時停止を解除してください。プリンタのアクセス権がない場合はシステム管理者に連絡してください。
他ポート使用中＊1	印刷ポートと異なるポートで処理しています。 印刷ポートと異なるポートで印刷中かもしれません。しばらくお待ちください。
オフライン	プリンタはオフラインです。 プリンタの状態を確認し、印刷可スイッチを押してください。
カバーオープン＊1	カバーが開いています。 カバーをきちんと閉じてください。
用紙なし＊2	用紙がありません。 用紙をセットしてください。
用紙サイズエラー＊1、＊3	正しい用紙サイズで印刷できませんでした。 指定された用紙がセットされているか確認してください。
紙づまり＊1	紙づまりです。 つまった用紙を取り除いてからカバーを閉じてください。
リボンジャム＊1、＊3	インクリボンがつまっています。 つまったインクリボンを取り除いてから新しいインクリボンをセットし、カバーを閉じてください。
プリンタ装置エラー＊1	プリンタで障害が発生しています。 プリンタの電源を入れ直してください。
電源OFF/ケーブル断	電源がOFFかケーブルが接続されていません。 プリンタの電源とケーブル接続を確認してください。
ネットワークエラー	ネットワークエラーが発生しています。 ネットワークの接続を確認してください。
情報取得エラー	プリンタの情報が取得できません。 このプリンタに対応していないプリンタドライバを使用して印刷中かもしれません。しばらくお待ちください。

＊1 高度監視時のみ表示

＊2 MultiImpact 700EX では印刷を行わないと用紙なしを検出しません。常時検出にする場合は、ユーザーズマニュアルを参照して「メモリスイッチ2-2 用紙なし検出方法の切り替え」を ON にしてください。

＊3 MultiImpact 700XX2/700JX3/700LX2/700EX ではサポートしていません。

複数のプリンタを監視している場合は、プリンタエラー>プリンタ警告>プリンタ通常の優先度でアイコンを表示します。

付録
技術情報

ここでは、本プリンタのテスト印刷サンプル、文字コード、その他の技術情報について説明します。

文字コード表

本プリンタは、8ビットコード、7ビットコードのうちの1つと漢字コードを使用することができます。
8ビットコードと7ビットコードの切り替えはメモリスイッチ2-6によって行います。工場設定は8ビットコードです。
また、メモリースイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は各国特殊文字の入らないコードです。
漢字コードは、半角文字、JIS第1水準の漢字や記号など、およびJIS第2水準の漢字を印刷するのに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります（JIS 1978年版準拠)。

<table>
<tr><th rowspan="5">文字種
印刷モード</th><th colspan="3">ANK</th><th rowspan="3">CG
グラフィック
56種</th><th>ANK</th><th rowspan="5">漢字*
7014種</th></tr>
<tr><th>英数字・記号
(SPを含む)
96種</th><th>カタカナ・記号
63種</th><th>ひらがな
55種</th><th rowspan="3">各国文字
15種</th></tr>
<tr><th colspan="3">214種</th></tr>
<tr><th colspan="4">270種</th></tr>
<tr><th colspan="5">285種</th></tr>
<tr><td>NHSパイカモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>HDパイカモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>コンデンスモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>エリートモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>プロポーショナルモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>漢字モード</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td></tr>
</table>

○：印刷可能

＊　漢字の詳細：

JIS第1水準漢字	2965種	
JIS第2水準漢字	3384種	
記号（SPを含む）	108種	
英数字	62種	
ひらがな	83種	計　7014種
カタカナ	86種	
ギリシャ文字	48種	
ロシア文字	66種	
半角文字（SPを含む）	212種	

1バイト系コード表

8ビットコード表

8ビットコード表　―カタカナモード―

					0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
b8					0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
b7					0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
b6					0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
b5					0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
b4	**b3**	**b2**	**b1**	**行＼列**	**0**	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**	**9**	**A**	**B**	**C**	**D**	**E**	**F**
0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	
1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	
1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	
1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	
1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	
1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	
1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

8ビットコード表　―ひらがなモード―

					0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
b8					0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
b7					0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
b6					0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
b5					0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
b4	**b3**	**b2**	**b1**	**行＼列**	**0**	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**	**9**	**A**	**B**	**C**	**D**	**E**	**F**
0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	▁	┴		ー	た	み	═	×
0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	あ	ち	む	╞	円
0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	い	つ	め	╪	年
0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▄	├	」	う	て	も	╡	月
0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▅	▔	、	え	と	や	◢	日
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	お	な	ゆ	◣	時
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	を	か	に	よ	◥	分
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ぃ	く	ね	り	♠	
1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ぅ	け	の	る	♥	
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ぇ	こ	は	れ	♦	
1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	▌	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	
1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	▋	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	
1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11	▊	╮	ゅ	す	へ	ん	○	
1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	▉	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	
1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	っ	そ	ま	゜	╲	

7ビットコード表

b8	b7	b6	b5						0 または 1							
	b7								0	0	0	0	1	1	1	1
		b6							0	0	1	1	0	0	1	1
			b5						0	1	0	1	0	1	0	1
b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7
				0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p
				0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q
				0	0	1	0	2		DC2	"	2	B	R	b	r
				0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s
				0	1	0	0	4	EOT	DC4	注2	4	D	T	d	t
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v
				0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w
				1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x
				1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
				1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z
				1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9
				1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10
				1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11
				1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12
				1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o	

注13（2〜5列）

<注1〜注12>　各国特殊文字
（メモリースイッチ1-1〜1-3で切り替えます）。

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

<注13>　2〜5列はキャラクタモードによって以下のように切り替わります。

行＼列	CGグラフィックモード				ひらがなモード				カタカナモード			
	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5
0	▁	┴	═	╳		ー	た	み		ー	タ	ミ
1	▂	┬	╞	円	。	あ	ち	む	。	ア	チ	ム
2	▃	┤	╪	年	「	い	つ	め	「	イ	ツ	メ
3	▄	├	╡	月	」	う	て	も	」	ウ	テ	モ
4	▅	▔	◢	日	、	え	と	や	、	エ	ト	ヤ
5	▆	─	◣	時	・	お	な	ゆ	・	オ	ナ	ユ
6	▇	│	◥	分	を	か	に	よ	ヲ	カ	ニ	ヨ
7	█	▕	◤	秒	ぁ	き	ぬ	ら	ァ	キ	ヌ	ラ
8	▏	┌	♠		ぃ	く	ね	り	ィ	ク	ネ	リ
9	▎	┐	♥		ぅ	け	の	る	ゥ	ケ	ノ	ル
A	▍	└	♦		ぇ	こ	は	れ	ェ	コ	ハ	レ
B	▌	┘	♣		ぉ	さ	ひ	ろ	ォ	サ	ヒ	ロ
C	▋	╭	●		ゃ	し	ふ	わ	ャ	シ	フ	ワ
D	▊	╮	○		ゅ	す	へ	ん	ュ	ス	ヘ	ン
E	▉	╰	╱		ょ	せ	ほ	゛	ョ	セ	ホ	゛
F	┼	╯	╲		っ	そ	ま	゜	ッ	ソ	マ	゜

漢字コード表（2バイト系コード表）

チェック

本プリンタでは,従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表にも対応しています。それらをコンピュータから切り替えるときは、拡張制御コードをご使用ください。詳しくは、「FS 05F　漢字コード表の選択」（111ページ）をご覧ください。

次の漢字コード表（半角文字、全角文字―JIS第1水準―、全角文字―JIS第2水準―）は、JIS1978年版に準拠しています。

漢字コード表　―半角文字―

行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

＜注＞　0列、0030行の「0」の書体はメモリスイッチ3-7により「Ø」に変更できます。

漢字コード表　—全角文字（JIS第1水準）—

第1バイト＼第2バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
21		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓																															
23																０	１	２	３	４	５	６	７	８	９								Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν
27	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я												
28																																													
29																																													
2A																																													
2B																																													
2C																																													
2D																																													
2E																																													
2F																																													
30	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲
34	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰
36	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠
42	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗
46	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩
49	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕
4C	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様
4E	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵
4F	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫

漢字コード表　―全角文字（JIS第1水準）―（続き）

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ							ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ				
の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω																																						
			а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
栂	摑	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	檮	棟	盗	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到
椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満
摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	藪	鑓	愉	愈	油	癒
洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
藁	蕨	椀	湾	碗	腕																																											

漢字コード表　―全角文字（JIS第2水準）―

第1バイト＼第2バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36
50	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢
51	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷
52	辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐
53	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓
55	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉
56	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑
58	悁	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷
59	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔
5A	據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽
5B	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸
5C	栝	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸
5D	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟
5E	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙
5F	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡
60	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇
61	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼
62	癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒
63	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧
64	筐	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒
65	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛
66	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔
67	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓
68	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇
69	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏
6A	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠
6B	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿
6C	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢
6D	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑
6E	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏
6F	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘
70	陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍
71	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠
72	髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘
73	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆
74																						

第1バイト＼第2バイト	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
50	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏
51	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤
52	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖
53	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟
54	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒
55	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪
56	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳
57	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑
58	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷
59	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈
5A	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃
5B	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩
5C	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨
5D	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕
5E	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪
5F	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝
60	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴
61	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝
62	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛
63	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷
64	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍
65	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲
66	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆
67	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁
68	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢
69	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱
6A	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢
6B	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬
6C	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤
6D	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙
6E	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉
6F	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞
70	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈
71	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘
72	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺
73	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝
74																							

漢字コード表　―全角文字（JIS第2水準）―（続き）

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	侭	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
埕	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	桧	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	梼	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	砿	砠	砺	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	窶	窅	窄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
緝	緘	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	迩	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	門	閇	閊	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
靂	靆	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
驚	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠

テスト印刷サンプル

（30%縮小）

←2バイト系　明朝体　全角文字（JIS第1水準）

←2バイト系　明朝体　全角文字（JIS第2水準）

←2バイト系　明朝体　半角文字

←1バイト系　標準　HDパイカ文字

←1バイト系　標準　NHSパイカ文字

←1バイト系　標準　コンデンス文字
←1バイト系　標準　エリート文字
←1バイト系　標準　プロポーショナル文字

←1バイト系　イタリック　HDパイカ文字

←1バイト系　イタリック　NHSパイカ文字

←1バイト系　イタリック　エリート文字
←1バイト系　イタリック　HDパイカ文字
←1バイト系　イタリック　プロポーショナル文字字

←1バイト系　クーリエ　HDパイカ文字

←1バイト系　クーリエ　NHSパイカ文字

←1バイト系　クーリエ　コンデンス文字
←1バイト系　クーリエ　エリート文字
←1バイト系　クーリエ　プロポーショナル文字

←1バイト系　ゴシック　HDパイカ文字

←1バイト系　ゴシック　NHSパイカ文字

←1バイト系　ゴシック　コンデンス文字
←1バイト系　ゴシック　エリート文字
←1バイト系　ゴシック　プロポーショナル文字

（以下省略）

制御コード一覧

以下の制御コード表の詳細については、別売の「日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル」を参照してください。

基本制御コード表

○：有

分類	コード	16新数	機能概要	機能の有無
印刷	CR	0D	印刷し復帰	○
改行	LF	0A	1行改行	○
水平タブの実行	HT	09	水平タブ位置へ移動	○
垂直タブの実行	VT	0B	垂直タブ位置へ移動	○
改ページ	FF	0C	改ページ	○
倍角文字コード および キャラクタモード	SO	0E	倍角文字モード設定（8ビットコード）	○
			カタカナモード設定（7ビットコード）	○
	SI	0F	倍角文字モード解除（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	○
	DC2	12	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード設定（7ビットコード）	○
	DC4	14	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード解除（7ビットコード）	○
キャンセル	CAN	18	バッファの印刷データをキャンセル	○
セレクト／ディセレクト	DC1	11	セレクト状態にする	○
	DC3	13	ディセレクト状態にする	○
VFUの設定	GS	1D	VFUの設定開始	○
	RS	1E	VFUの設定終了	○
n行改行	US	1F	0～72行改行	○
VFUの実行			VFUの実行	○
外字の登録終了	EOT	04	外字の登録終了	○
同期コード*	EM	19	印刷動作が終了するまでデータを受け付けない	○

＊マークの付いているコードは新しく追加されたコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」（110ページ）をご覧ください。

拡張制御コード表

○：有、×：無

分類	コード	16新数	機能概要	機能の有無
印刷モード	ESC N	1B 4E	HSパイカモード設定	○
	ESC H	1B 48	HDパイカモード設定	
	ESC Q	1B 51	コンデンスモード設定	
	ESC E	1B 45	エリートモード設定	
	ESC P	1B 50	プロポーショナルモード設定	
	ESC K	1B 4B	漢字（横印刷）モード設定	
	ESC t	1B 74	漢字（縦印刷）モード設定	
HSパイカモード	ESC n 0	1B 6E 30	NHSパイカモード設定	×
	ESC n 1	1B 6E 31	SHSパイカモード設定	
キャラクタモード	ESC $	1B 24	カタカナモード設定（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	
	ESC &	1B 26	ひらがなモード設定（8ビットコード）	
			ひらがなモード設定（7ビットコード）	
	ESC #	1B 23	無効（8ビットコード）	
			CGグラフィックモード設定（7ビットコード）	
スクリプト文字モード	ESC s 1	1B 73 31	スーパスクリプト文字モード設定	○
	ESC s 2	1B 73 32	サブスクリプト文字モード設定	
	ESC s 0	1B 73 30	スクリプト文字モード解除	
外字	ESC +	1B 2B	外字（24 x 24ドット）の登録	○
	ESC ＊	1B 2A	外字（16 x 16ドット）の登録	○
ダウンロード文字	ESC ℓ	1B 6C	ダウンロード文字の登録	○
	ESC ℓ+	1B 6C 2B	ダウンロード文字印刷	○
	ESC ℓ-	1B 6C 2D	プリンタ内蔵文字印刷	○
	ESC ℓ0	1B 6C 30	ダウンロード文字クリア	○
文字の拡大	ESC e	1B 65	縦横拡大率指定	○
キャラクタリピート	ESC R	1B 52	キャラクタリピート	○
強調印刷モード	ESC !	1B 21	強調印刷モード設定	○
	ESC "	1B 22	強調印刷モード解除	
アンダライン／オーバライン	ESC X	1B 58	ライン印刷モード設定	○
	ESC Y	1B 59	ライン印刷モード解除	○
	ESC _	1B 5F	ラインの指定	○
	FS 0 4 L	1C 30 34 4C	ラインの太さの指定	○
高速印刷モード	ESC d 0	1B 64 30	高速印刷モード設定	○
	ESC d 1	1B 64 31	高速印刷モード解除	
ドットスペース	ESC [00]$_H$	1B 00	0ドットスペース	○
	ESC [01]$_H$	1B 01	1ドットスペース	
	ESC [02]$_H$	1B 02	2ドットスペース	
	ESC [03]$_H$	1B 03	3ドットスペース	
	ESC [04]$_H$	1B 04	4ドットスペース	
	ESC [05]$_H$	1B 05	5ドットスペース	
	ESC [06]$_H$	1B 06	6ドットスペース	
	ESC [07]$_H$	1B 07	7ドットスペース	
	ESC [08]$_H$	1B 08	8ドットスペース	
	FS w	1C 77	固定ドットスペース	
ドット列印刷モード	ESC S	1B 53	8ビットドット列対応グラフィック印刷モード	○
	ESC I	1B 49	16ビットドット列対応グラフィック印刷モード	
	ESC J	1B 4A	24ビットドット列対応グラフィック印刷モード	

分類	コード	16新数	機能概要	機能の有無
ドット列印刷モード	ESC V	1B 56	8ビットドット列リピートモード	○
	ESC W	1B 57	16ビットドット列リピートモード	
	ESC U	1B 55	24ビットドット列リピートモード	
	ESC F	1B 46	ドットアドレッシング	
ドット対応グラフィックドット数	ESC D	1B 44	コピーモード設定	○
	ESC M	1B 4D	ネイティブモード設定	
印刷方向	ESC >	1B 3E	片方向印刷モード設定	○
	ESC]	1B 5D	両方向印刷モード設定	
水平タブ	ESC (	1B 28	水平タブセット	○
	ESC)	1B 29	水平タブ部分クリア	
	ESC 2	1B 32	水平タブオールクリア	
簡易VFU	ESC v	1B 76	VFUのセット	○
マージン	ESC L	1B 4C	レフトマージン設定	○
	ESC /	1B 2F	ライトマージン設定	
漢字半角文字の縦印刷モード	ESC h 1	1B 68 31	漢字半角文字の縦印刷モード設定	○
	ESC h 0	1B 68 30	漢字半角文字の縦印刷モード解除	
	ESC q	1B 71	漢字半角の組文字縦印刷モード設定	
倍率設定と縮小文字の組文字印刷モード	FS m	1C 6D	倍率設定	○
	FS P	1C 50	縮小文字の組文字印刷モード設定	
漢字文字幅と漢字文字サイズ	FS A	1C 41	漢字文字幅3/20インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	○
	FS B	1C 42	漢字文字幅1/5インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	
	FS C	1C 43	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント	
	FS D	1C 44	漢字文字幅2/15インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント相当	
	FS F	1C 46	漢字文字幅1/10インチ、漢字文字サイズ7ポイント相当	
	FS G	1C 47	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ12ポイント相当	
漢字文字幅	FS p	1C 70	漢字文字幅の切り替え	○
漢字文字サイズ	FS 0 4 S	1C 30 34 53	漢字文字サイズの切り替え	○
改行幅	ESC A	1B 41	1/6インチ改行モード設定	○
	ESC B	1B 42	1/8インチ改行モード設定	
	ESC T	1B 54	n/120インチ改行モード設定	
改行方向	ESC f	1B 66	順方向改行モード設定	○
	ESC r	1B 72	逆方向改行モード設定	
シートフィーダ制御	ESC a	1B 61	排出後吸入（シートフィーダ装着時）	○
	ESC b	1B 62	排出（シートフィーダ装着時）	
	FS f	1C 66	ホッパの切り替え（ダブルビンシートフィーダ装着時）	
ANK文字フォント	ESC O	1B 4F	ANK文字フォントの切り替え	○
	FS 0 6 F	1C 30 36 46	文字フォントの選択	
漢字フォント	ESC O	1B 4F	漢字フォントの切り替え	○
カラー	ESC C	1B 43	カラーの切り替え	○
文字修飾	FS c	1C 63	文字修飾の設定または解除	○
ソフトウェアリセット	FSC c 1	1B 63 31	初期状態にリセット	○
縮小設定*	FS 0 5 f	1C 30 35 66	縮小印刷の設定	○
書体選択*	FS 0 6 F	1C 30 36 46	書体の選択	○
パラメータリセット*	ESC c 8	1B 63 38	初期状態にリセット	○
漢字コード表の選択*	FS 0 5 F	1C 30 35 46	漢字コード表を選択する	○
カット紙の排出方向モードの切り替え	FS 0 2 ER FS 0 2 EF	1C 30 32 45 52 1C 30 32 45 46	カット紙手前側排出モードの設定 カット紙奥側排出モードの設定	○
用紙の選択	ESC m 1 ESC m 2 ESC m 3	1B 6D 31 1B 6D 32 1B 6D 33	連続紙（前）用紙モードの設定 カット紙用紙モードの設定○ 連続紙（後）用紙モードの設定	○
バーコード印刷*	FS '	1C 60	バーコードの印刷	○

＊マークの付いているコードは新しく追加されたコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」（110ページ）をご覧ください。

次の倍率に関する制御コードはプリンタに依存します。

(1)　ESC e
(2)　FS m

本プリンタの場合は、以下のようになります。

(1)　ESC e（縦横拡大率指定）
　　コマンド仕様
　　　ESC e　n1　n2
　　　n1:縦拡大率
　　　n2:横拡大率

(2)　FS m（倍率指定）
　　コマンド仕様
　　　FS m　n1/n2、n3/n4、P1.
　　　n1/n2:縦倍率
　　　n3/n4:横倍率

		横倍率　n3/n4								
		1/2	1/1	2/1	3/1	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1
縦倍率n1/n2	1/2	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	1/1	○	○	○	○	○	×	○	×	○
	2/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	3/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	4/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	5/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	6/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	7/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	8/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○

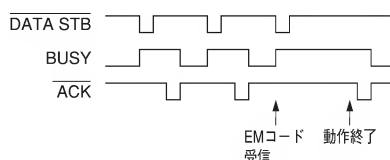
新制御コードのコマンド仕様

201PLリファレンス記載の制御コードに対して、本プリンタに新しく加わる制御コードについて説明します。

EM　　　　　　　同期コード

	EM
16進	19
10進	25

同期動作を行います。

- 同期コードは印刷開始コードの直後に入れてください。
- 同期コードを受信すると、受信バッファが空になり、印刷および改行などの機械的動作が終了するまで次のデータを受け付けません。
- 同期データ受信後、すべての動作終了までBUSY信号をHIGHに保ちます。すべての動作終了後、BUSY信号をLOWにしてACK信号を出力します。
- 動作例：印刷＋印刷開始コード＋同期コード

FS 05f　　　　　　　縮小設定

	FS	0	5	f	n_1	n_2	n_3	p_1
16進	1C	30	35	66	n_1	n_2	n_3	p_1
10進	28	48	53	102	n_1	n_2	n_3	p_1

縮小印刷を設定します。
n_1とn_2とn_3は縮小率を表し、組み合わせは次の中から選択します。

[1] [0] [0] …縮小率印刷解除
[0] [8] [0] …4/5縮小印刷
[0] [6] [7] …2/3縮小印刷

p_1は縮小基準位置を表します。設定は次のとおりです。

[L] …左端基準

- すべての文字コードに対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印刷します。
- 縮小印刷は、操作パネルを使っても設定できます。詳しい操作はユーザーズマニュアルの３章「メニューモードで設定変更をする」の「メニューモード」を参照してください。
- 縮小印刷は受信したデータを2/3または4/5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です
- プリンタがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- ハガキ印刷モードが選択されているとき、またはメモリスイッチの切り替えにより1行の文字数が80桁になっているときは、縮小印刷はできません。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また文字によっては見えにくくなるものがあります。

FS 06F　書体選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

使用する漢字フォントを直接指定します。

n_1は“2”を指定します。
n_{21}とn_{22}とn_{23}の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 0 …明朝体
2 0 0 …ゴシック体
8 5 1 …詳細は「カスタマバーコードを印刷する」（119ページ）を参照してください。
C L R …詳細は「カスタマバーコードを印刷する」（119ページ）を参照してください。

ESC c8　パラメータリセット

	ESC	c	8
16進	1B	63	38
10進	27	99	56

各種パラメータをリセットします。

リセットされる内容については、ユーザーズマニュアルの付録D「初期状態」をご覧ください。

FS 05F　漢字コード表の選択

	FS	0	5	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}
16進	1C	30	35	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}
10進	28	48	53	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}

漢字コード表を選択します。

n_1は“2”を指定します。
n_{21}とn_{22}の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 …JIS 1978年版（JIS C6226-1978）
0 1 …JIS 1983年版（JIS X0208-1983）
0 2 …JIS 1990年版（JIS X0208-1990）

- 本プリンタでは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表に対応しています。漢字コード表をコンピュータから切り替えるときは、この制御コードを使用してください。
- 本プリンタで印刷される文字は、基本的に上記 JIS に準拠していますが、デザイン処理などの都合により、多少字形の異なるものがあります。
- コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータのディスプレイと印刷結果の文字とが異なる場合があります。

FS 02 ER　カット紙手前側排出モードの設定

	FS	0	2	E	R
16進	1C	30	32	45	52
10進	28	48	50	69	82

カット紙を手前側（シートガイド）へ排出します。

FS 02 EF　カット紙奥側排出モードの設定

	FS	0	2	E	F
16進	1C	30	32	45	46
10進	28	48	50	69	70

カット紙を奥側（スタッカ）へ排出します。

ESC m 1　フロントトラクタフィーダモードの設定

	ESC	m	1
16進	1B	6D	31
10進	27	109	49

給紙方法をフロントトラクタフィーダにします。

- ディスプレイに“フロントトラクタフィーダ”と表示されます。
- 給紙方法がシートガイドまたはシートフィーダになっているときは用紙の排出を行い、リアトラクタフィーダになっているときはリアトラクタフィーダの用紙を退避します。

ESC m 2　カット紙用紙モードの設定

	ESC	m	2
16進	1B	6D	32
10進	27	109	50

印刷する用紙をカット紙にします。

- シートフィーダが装着されているときは、ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されます。
- シートフィーダが装着されていないときは、ディスプレイに“シートガイド”と表示されます。
- 給紙方法がフロントトラクタフィーダまたはリアトラクタフィーダになっているときは、フロントトラクタフィーダまたはリアトラクタフィーダの用紙を退避します。

ESC m 3　リアトラクタフィーダモードの設定

	ESC	m	3
16進	1B	6D	33
10進	27	109	51

給紙方法をリアトラクタフィーダにします。

- ディスプレイに“リアトラクタフィーダ”と表示されます。
- 給紙方法がシートガイトまたはシートフィーダになっているときは用紙の排出を行い、フロントトラクタフィーダになっているときはフロントトラクタフィーダの用紙を退避します。

特殊文字の印刷

本プリンタでは、「バーコード」と「OCR-B相当フォント」の印刷ができます。印刷するには、それぞれの制御コードを送ります。ここではプリンタ内部のフォントを使用する場合について説明しています。

バーコードを印刷する

- 印刷範囲内であれば、1行にいくつでもバーコードを印刷することができます。ただし、1つのバーコードが次の行にまたがる場合は、そのバーコードは印刷されずにその部分のデータが無効となります。
- 本プリンタで印刷したバーコードは、ドットの組み合わせで印刷するため、本来の規格と多少差異が生じます。したがってバーコードの読み取りは、十分評価を行ってから使用してください。
- インクが薄くなったインクリボンで印刷したバーコードは、読み取りができないことがあります。バーコードを印刷するときはなるべく新しいインクリボンを使用してください。
- バーコードと文字を同一行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。したがってバーコード印刷の制御コードを分解し、改行幅の指定が必要になります。
- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の縦の長さの方が大きい場合、バーコードの下端と下部に印刷される文字が離れることがあります（118ページ参照）。
- JANはJIS B 9550に準拠していますが、レフト／ライトガイドバー、センタバーは下方へ拡大できません。
- 印刷するバーコードの左右には、読み取り用の空白エリアが必要になります。水平タブ（HT）などを使用してください。
- バーコード／カスタマバーコードを印刷するときは、坪量81.4g/m^2（連量70kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。

制御コード

FS'　　バーコード印刷

	FS	`	n_{11}	n_{12}	,	n_2	,	n_3	,	n_{41}	n_{42}	,
16進	1C	60	n_{11}	n_{12}	2C	n_2	2C	n_3	2C	n_{41}	n_{42}	2C
10進	28	96	n_{11}	n_{12}	44	n_2	44	n_3	44	n_{41}	n_{42}	44

n_{51}	n_{52}	n_{53}	,	n_{61}	n_{62}	.
n_{51}	n_{52}	n_{53}	2C	n_{61}	n_{62}	2E
n_{51}	n_{52}	n_{53}	44	n_{61}	n_{62}	46

バーコードを印刷します。

n11、n12は2桁の10進数を指定します。

0 1 …NW-7（スタート／ストップキャラクタ指定）
0 2 …NW-7
0 3 …JAN標準
…JAN短縮
0 4 …CODE 39
0 5 …INDUSTRIAL 2 OF 5
0 6 …INTERLEAVED 2 OF 5

n2は1桁の10進数で、0、1、2のいずれかを指定します。

0 …ヒューマンリーダブルエリアの印刷なし
1 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの下部に印刷する
2 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの上部に印刷する

n3は2、3、4のいずれかのモジュール幅を1桁の10進数で指定します。

n41、n42は2桁の10進数で30を指定します。

3 0 …3:1（ワイド：ナロー＝3:1）

n51、n52、n53は0〜9までの数字で、バーコードの縦の長さ（n/160インチ）を3桁の10進数で指定します。

n61、n62は0〜9までの数字で、バーコードの桁数を2桁の10進数で指定します。

- バーコードを印刷するには、この制御コードに引き続き、n61、n62で指定した桁数分のバーコードデータを送ります。
- n11、n12が01であるときは、NW-7のスタート／ストップキャラクタの指定になります。このとき、n2〜n5は省略し、n6には2を指定します。この制御コードに引き続きスタートキャラクタとストップキャラクタを送ります。
- スタート／ストップキャラクタのディフォルト値はともに“a”とします。
- JAN標準（13桁）と短縮（8桁）の区別は、n61、n62に指定されたデータの桁数によって行います。
- ヒューマンリーダブルエリアは、バーコードの下部、または上部に OCR-B 文字にて指定されたデータキャラクタを印刷します。
- モジュール幅とは、バー 1本の印刷ドット数を意味します。
- INTERLEAVED 2 OF 5のデータ桁数は、偶数で指定してください。
- バーコードの縦の長さ（n/160インチ）のnの範囲は、1≦n≦999です。ただしn=0が指定された場合は、現在設定されている改行幅がバーコードの縦の長さになります。したがって、改行幅の切り替え機能と組み合わせることによって、最小0.212mm（1/120インチ）単位での設定が可能となります。ただし、実際の印刷はドットピッチで行うため、0.159mm（1/160インチ）単位で変換されます。

バーコードの概要

バーコードに関する概要を説明します。

バーコードの種類

名称	機能概要		桁数
NW-7（コーダバー）	データ	数字　0~9（10個）*1 記号　－$：／. ＋（6個）	可変（34）
	スタート、ストップ	abcdetn＊ABCDETN（15個）	
JAN標準	データ	数字　0~9（10個）	12+CD*2（13）
	レフトガードバー、センタバー、ライトガードバー		
JAN短縮	同上		7+CD（8））
Code 39	データ	数字　0~9（10個） 英字　A~Z（26個） 記号　－$／. ＋%SP（7個）	可変（34）
	スタート、ストップ	＊	
Industrial 2 OF 5	データ	数字　0~9（10個）	可変（34）
	スタート、ストップ		
Interleaved 2 OF 5	データ	数字　0~9（10個）	可変（34） （ただし偶数のみ）
	スタート、ストップ		

＊1　桁数の（　）内は最大桁数を表します。

＊2　CD とは、「チェックディジット」のことです。

バーコード指令の概要

バーコードは次の表のとおり、6つのパラメータで形成され、それぞれの指令により各種のバーコードが印刷できます。

単位：ドット

パラメータ	概要
n_1	バーコードの種類を指定する。
n_2	ヒューマンリーダブルエリアの有無を指定する。
n_3	バーコードのモジュール幅をドット数で指定する。
n_4	バーコードのワイドバーとナローバーの横の長さの比を指定する。
n_5	バーコードの縦の長さをドット数（n/160インチ）で指定する。
n_6	バーコードデータの桁数を指定する。チェックディジットは本プリンタでは自動付加しないためコンピュータから出力する。

バーコードの横の長さ

各バーコード種別によるバーコードの横の長さの算出は次のとおりです。

単位：ドット

種別	スタートバー	ストップバー	センタバー	データバー	備考
NW-7	14	13	—	14/12	0~9—$は12ドット ：／.+は14ドット
JAN標準	3	3	5	7	合計95ドット
JAN短縮	3	3	5	7	合計67ドット
Code 39	16	15	—	16	—
Industrial 2 OF 5	10	9	—	14	—
Interleaved 2 OF 5	4	5	—	18	データキャラクタ2桁で1個のデータバーとする

ただし、表はモジュール幅が1ドットの場合であり、実際のモジュール幅は「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせて求めることができます。JANの場合は、合計ドット数に「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせ求めることができます。

例：　NW-7（モジュール幅：3、桁数：6）

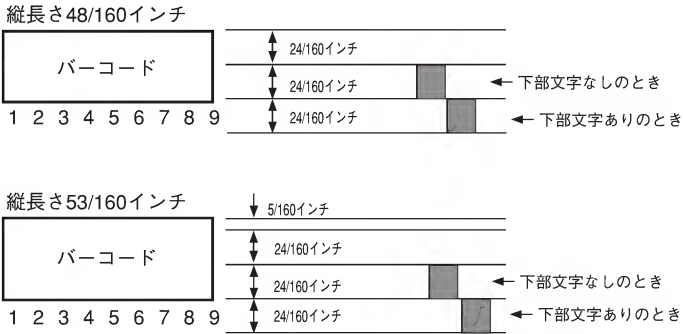
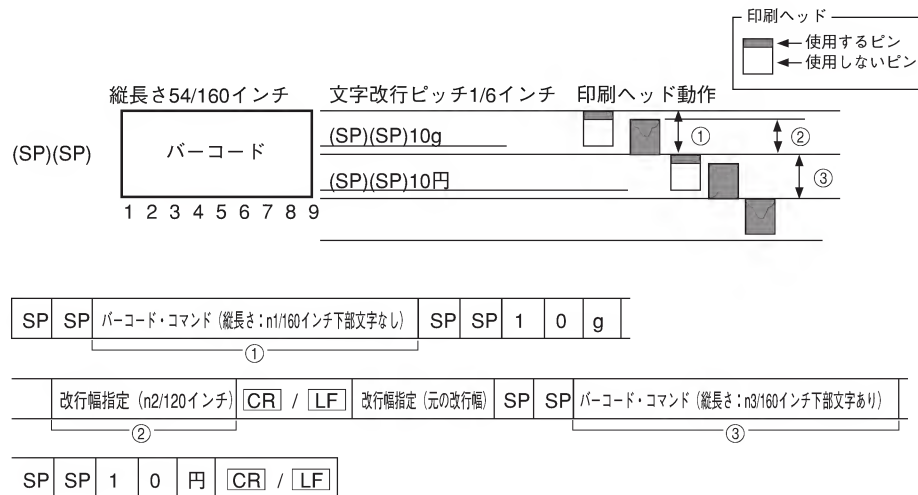
モジュール幅　スタート　データ　ストップ　　インチ・ミリ概算（固定）　印刷ドット密度（固定）

3 x （14 +（12x6） + 13）＝297 → 297 x 25.4 ÷ 160≒ 47mm

バーコード印刷時は、「上記で求めた長さ＋余白の長さ」が印刷範囲を超えないように注意してください。

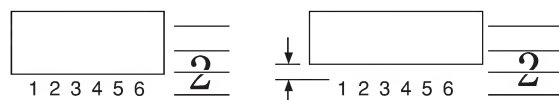
バーコード印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意

- 印刷開始位置は、次に印刷する文字の左上をバーコードの左上として印刷します。

- バーコード印刷は、印刷ヘッドの24ピン（24/160インチ）を基準に印刷処理を行うため、改行ピッチとの間にギャップがあるので、印刷終了時の印刷ヘッドの位置に注意してください。

- バーコードと通常の文字を同じ行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。その場合は、バーコードコマンドを分解し、n/120インチ改行命令により改行する必要があります。

① 文字ピッチ分のバーコードの幅の長さを指定します。
バーコードの縦の長さ　＝　改行ピッチ
＝　1/6インチ
≒　27/160インチ＊1
n1=27

② ①のコマンド終了時に、印刷ヘッドを次の印刷行に改行させせます。
改行幅　＝　印刷ヘッドの高さ
＝　24/160インチ
＝　18/120インチ
n2=18

③ 残りのバーコードを印刷します。
残りのバーコードの縦の長さ　＝　バーコードの縦の長さ－①のコマンドの縦の長さ
＝　54/160-27/160インチ
＝　27/160インチ
n3=27

- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の長さの方が大きい場合、バーコードの下端とその下部の文字が離れる場合があります。

＊1　バーコードの縦の長さを1/160インチに換算したときの端数は保持されます。この端数の累積による印刷位置ずれを防ぐためには、改ページコード（FF）で改ページするか、1/160インチ換算で端数のないバーコードの縦の長さを設定してお使いください。

カスタマバーコードを印刷する

本プリンタでは、カスタマバーコードは、通常の漢字と同様に2バイト文字として扱われます。したがって、201PLで定義された文字制御（文字幅、文字サイズ、アンダーライン、文字修飾など）の影響を受けます。しかし、カスタマバーコードの仕様から逸脱した文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾などが行われると、読み取り機で読み取れなくなってしまいますので注意が必要です。カスタマバーコードは文字サイズ9.5ポイント、文字幅2/15インチの設定で印刷してください。

カスタマバーコードに盛り込む情報は、文字、-（ハイフン）、およびアルファベットから構成される新郵便番号および住所表示番号*です。ただし住所の方書き部分にビル、マンション等の棟･室番号などが存在する場合には、これを含めます。（＊住所番号とは住所の文字部分をハイフンで結んだものであり、住所表示実施地域については丁目一番一号まで、住居表示未実施地域については番地一枝番までの情報を基本とします)。

- 住所表示実施地域の例
  〒153　世田谷区若林3丁目16番4号
  ↓
  154-0023　3-16-4
  新郵便番号　住所表示番号
- 住所表示実施地域の例
  〒213　川崎市高津区溝口1207-4
  ↓
  213-0001　1207-4
  新郵便番号　住所表示番号

カスタマバーコードフォントを指定する制御コード

<2バイト文字書体の選択>
[FS] [0] [6] [F] [2] [-] [n1] [n2] [n3]

[n1] [n2] [n3] は3桁の文字表現の10進数であり、書体番号を示します。
851　カスタマバーコード書体（回転なし）
CLR　2バイト文字書体を初期状態に戻す。

カスタマバーコードのフォーマット

以下にカスタマバーコードのフォーマットを示します。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号をつなぐハイフンは省くものとします。また、英字1文字は、制御コードと数字コードの組み合わせにより実現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット　：スタートコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックディジット＋ストップコード
バーコード桁数：　(1)　(7)　(13)　(1)　(1)

<住所表示番号が規定の桁数13桁に対して過不足のある場合>

- 13桁を超える場合　13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目にあたる場合、この制御コードに該当するバーコードまでを含めるものとする。
- 13桁に満たない場合　13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとする。

また、チェックディジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数になるように生成する。
各キャラクタのチェック用数字への置き換えは、次のとおりです。

キャラクタ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

<住所表示番号を抜き出すルール>

- 町域名以降の住所から、住所表示番号を抜き出す基本ルールは次のようになります。

① アルファベットの小文字は大文字に置き換える。
② “&”、“／”、“・”、“.”は取り除き、後ろのデータをつめる。
③ ①、②で整理されたデータから算用数字、ハイフン、連続していないアルファベット1文字を必要な文字情報として抜き出す。
④ 抜き出された文字の前にある「漢字」、「かな文字」、「カタカナ文字」、「漢数字」、「2文字以上連続したアルファベット文字」、「ブランク」はハイフン1文字に置き換える。
⑤ ④の置き換えで、ハイフンが連続する場合には1つにまとめる。
⑥ 先頭がハイフンの場合は取り除く。

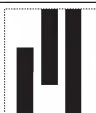
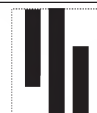
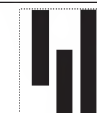
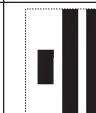
- さらに次のような補足ルールがあります。

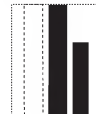
① 漢数字が下記の特定文字の前にある場合は抜き出し対象とし、算用数字に変換して抜き出す。
特定文字：「丁目」、「丁」、「番地」、「番」、「号」、「地割」、「線」、「の」、「ノ」
② 連続していないアルファベット 1文字は抜き出し対象となるが、算用数字に続くアルファベット1文字‘F’に限っては抜き出し対象としない。
③ ②に記述したように、算用数字に続くアルファベット1文字‘F’は抜き出し対象とならないが、さらに、‘F’以降のデータに抜き出し対象となる文字がある場合、F’はハイフン1文字に置き換える。
④ 抜き出し後のバーコードデータについて、アルファベット文字の前後にあるハイフンは取り除く。
⑤ ④の処理でアルファベット文字の前後に当たるハイフンを取り除いた結果、2文字以上の連続したアルファベット文字が残った場合、取り除かないでそのままにする。

例）　住所表示番号抜き出し例

東3丁目ー20ー5　郵便・A&bコーポB603号
↓　（基本ルール①）
東3丁目ー20ー5　郵便・A&BコーポB603号
↓　（基本ルール②）
東3丁目ー20ー5　郵便ABコーポB603号
↓　（基本ルール③、④）
ー3ーー20ー5ーB603
↓　（基本ルール⑤、⑥）
3ー20ー5ーB603
↓　（補足ルール④）
3ー20ー5B603

例）カスタマバーコードの生成例

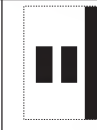
ー 住所
千葉県鎌ケ谷市右京塚　東3丁目ー20ー5　郵便・A&bコーポB603号
ー 新郵便番号（273ー0102）+住所表示番号（3ー20ー5B603）
273ー01023ー20ー5B603
ー 郵便番号の3〜4桁目間のハイフンを省く
27301023ー20ー5B603
ー 英字は制御コード+数字に置き換える
27301023ー20ー5CC1　1　603
ー 住所表示部分が13桁になるまで制御コードCC4を付加する
27301023ー20ー5CC1　1　603　CC4　CC4
ー チェックディジット（CD）を計算する
2+7+3+0+1+0+2+3+10+2+0+10+5+11+1+6+0+3+14+14+CD=94+CD=19の倍数
CD=(19 x 5)ー94=1
ー CD、スタートコード、ストップコードを付加する
STC　27301023ー20ー5CC1　1　603　CC4　CC4　1　SPC
ー それぞれのコードを読み取る
<27301023ー20ー5a1603dd1>
ー プリンタの印刷モードを漢字（横印刷）モード設定にするため、ESC Kコマンドをプリンタに送信する。
ー 読み替えたコードをプリンタに送信する。

カスタマバーコードのコード体系

- 数字（0～9）
- ハイフンおよびスタート・ストップコード
- 制御コード（英語用制御コード3種・予備用制御コード5種）
- 英字（A～Z）

以下の文字コード以外が指定されたときは、全角スペースを印刷します。

数字

キャラクタ	0	1	2	3	4
コード割付	2330h 数字「0」	2331h 数字「1」	2332h 数字「2」	2333h 数字「3」	2334h 数字「4」
カスタマバーコード					
コード組合せ	－	－	－	－	－
バー種類	144	114	132	312	123

キャラクタ	5	6	7	8	9
コード割付	2335h 数字「5」	2336h 数字「6」	2337h 数字「7」	2338h 数字「8」	2339h 数字「9」
カスタマバーコード					
コード組合せ	－	－	－	－	－
バー種類	141	321	213	231	411

ハイフンおよびスタート・ストップコード

キャラクタ	－	スタート（STC）	ストップ（STP）
コード割付	215Dh マイナス「－」	2163h 不等号「<」	2164h 不等号「>」
カスタマバーコード			
コード組合せ	－	－	－
バー種類	414	13	31

制御コード（英字用制御コード、予備用制御コード）

英字用制御コード

キャラクタ	CC1	CC2	CC3
コード割付	2361h 英数字「a」	2362h 英数字「b」	2363h 英数字「c」
カスタマバーコード			
コード組合せ	ー	ー	ー
バー種類	324	342	234

予備用制御コード

キャラクタ	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
コード割付	2364h 英数字「d」	2365h 英数字「e」	2366h 英数字「f」	2367h 英数字「g」	2368h 英数字「h」
カスタマバーコード					
コード組合せ	ー	ー	ー	ー	ー
バー種類	432	243	423	441	111

英字

キャラクタ	A	B	C	D	E
コード割付	2361h+ 2330h	2361h+ 2331h	2361h+ 2332h	2361h+ 2333h	2361h+ 2334h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC1+0	CC1+1	CC1+2	CC1+3	CC1+4
バー種類	324144	324114	324132	324312	324123

キャラクタ	F	G	H	I	J
コード割付	2361h+ 2335h	2361h+ 2336h	2361h+ 2337h	2361h+ 2338h	2361h+ 2339h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC1+5	CC1+6	CC1+7	CC1+8	CC1+9
バー種類	324141	324321	324213	324231	324411

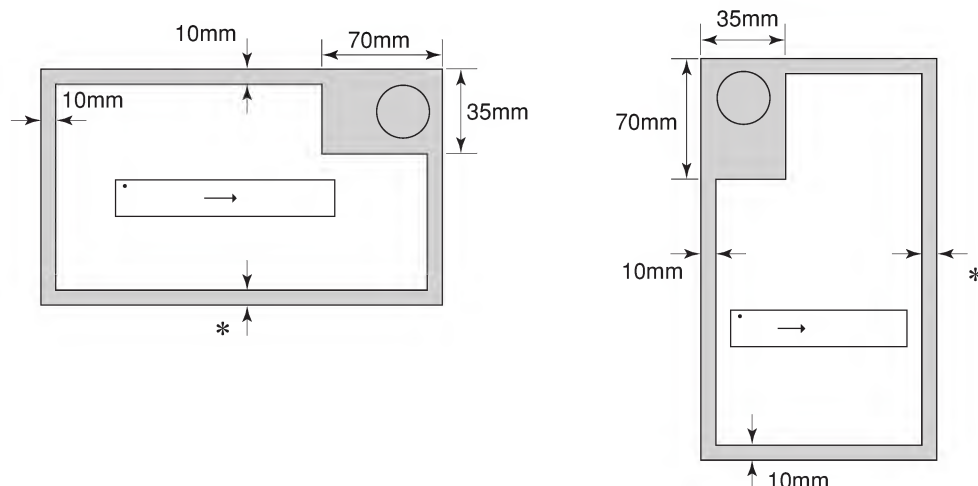
キャラクタ	K	L	M	N	O
コード割付	2362h+ 2330h	2362h+ 2331h	2362h+ 2332h	2362h+ 2333h	2362h+ 2334h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC2+0	CC2+1	CC2+2	CC2+3	CC2+4
バー種類	342144	342114	342132	342312	342123

キャラクタ	P	Q	R	S	T
コード割付	2362h+ 2335h	2362h+ 2336h	2362h+ 2337h	2362h+ 2338h	2362h+ 2339h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC2+5	CC2+6	CC2+7	CC2+8	CC2+9
バー種類	342141	342321	342213	342231	342411

キャラクタ	U	V	W	X	Y
コード割付	2363h+ 2330h	2363h+ 2331h	2363h+ 2332h	2363h+ 2333h	2363h+ 2334h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC3+0	CC3+1	CC3+2	CC3+3	CC3+4
バー種類	234144	234114	234132	234312	234123

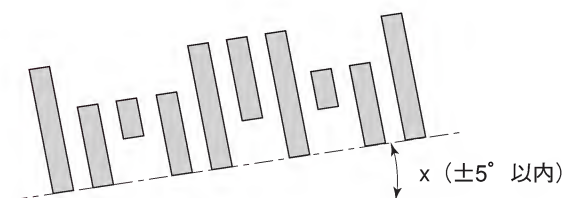
キャラクタ	Z
コード割付	2363h+ 2335h
カスタマ バーコード	
コード組合せ	CC3+5
バー種類	234141

カスタマバーコードの印刷位置

カスタマバーコードの上下左右には2mm以上の余白を設けるものとなっています。ただし、窓枠の上下左右とカスタマバーコードの間の空白は封筒と内容物のズレにかかわらず、常に2mm以上必要です。
宛名を横書きする場合には、宛先氏名の直下にカスタマバーコードを単独で印刷します。
宛名を縦書きする場合には、左右または下部に単独で印刷します。
カスタマバーコードは郵便物の表面縁から10mmおよび消印領域である70mm x 35mmを除いた範囲内で印刷することができます。
ただし、＊部分はできるだけ15mm以上空けてください。
印刷方向は「・」を先頭とし、→の方向です。

カスタマバーコードが印刷される下地

カスタマバーコードが印刷されるバーコードの下地は白色または地模様のない淡い色のみです。

カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が、5度以内となるようにしてください。

使用するインクリボン

カスタマバーコードを印刷する時は黒のなるべく新しいインクリボンを使用してください。インクが薄くなったインクリボンで印刷するとバーコード読み取りができなくなる場合があります。

印刷品質

カスタマバーコード印刷面には反射率50%以上の紙を使用してください。印刷面とカスタマバーコードとの反射率PCSは0.6以上必要です。また、カスタマバーコードにはインクのにじみやかすれなどがないようにしてください。

OCR-B相当フォントを印刷する

OCR-B相当フォントとは次のようなフォントです。

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOI

以下の制御コードでANK文字の書体をOCR-B相当に指定することにより、ANK文字を印刷する際の書体がOCR-B相当になります。

FS 0 6 F　書体選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

ANK文字フォントのうちどれを使うかを直接指定します。

n_1は“1”にします。
n21、n22、n23の組み合わせは次の中から選択します。

[0] [0] [0] …標準フォント
[0] [0] [1] …イタリック
[0] [0] [2] …クーリエ
[0] [0] [3] …ゴシック
[0] [0] [4] …OCR-B相当

索引

数字

1 バイト系コード表 97
2 バイト系コード表 99
7 ビットコード表 98
8 ビットコード表 97

N

NEC Print Server Port のインストール方法 25

O

OCR-B 相当フォント
　～を印刷する 125

P

PrinterSignalStation
　アイコン一覧 92
　～が正しく動作しないときは 89
　環境設定 83
　状態 82
　ステータス 88
　ステータス一覧 94
　ソフトウェアの起動 77
　タスクトレイアイコン 77
　トレイアイコン 88
　～に関する注意事項 76
　～の使用できる環境 75
　バルーンポップアップ 78
　バルーンポップアップ一覧 93
　プリンタ一覧 82
　ヘルプを見る 87
　メニューの起動 79
　リモートパネルの起動 87

W

Windows 98 日本語版
　NEC Print Server Port 25
Windows Me/98 日本語版
　[色の管理] シート 36
　印刷先の変更 28
　印刷の詳細設定 32
　印刷の手順 24
　給紙方法について 39
　[共有] シート 36
　共有プリンタに設定する 30
　[グラフィックス] シート 40
　[詳細] シート 35
　[全般] シート 35
　[デバイスオプション] シート 42
　プリンタドライバの選択 27
　用紙サイズについて 38
　[用紙] シート 37
Windows NT 4.0 日本語版
　印刷先の変更 45
　印刷の詳細設定 48
　印刷の手順 43
　[既定のドキュメントのプロパティ]
　ダイアログボックス 48
　給紙方法と用紙の割り当てについて 64
　給紙方法について 54
　[共有] シート 61
　共有プリンタに設定する 47
　[詳細] シート 55
　[スケジュール] シート 61
　[セキュリティ] シート 61
　[全般] シート 60
　[デバイスの設定] シート 62
　プリンタドライバの選択 44
　[プロパティ] ダイアログボックス 48
　[ページ設定] シート 52
　[ポート] シート 60
　ユーザー定義用紙サイズの登録 65
　用紙サイズについて 53
Windows XP/2000/Server 2003 日本語版
　[色の管理] シート 18
　印刷先の変更 4
　[印刷設定] ダイアログボックス 7
　印刷の詳細設定 7
　給紙方法と用紙の割り当てについて 21
　給紙方法について 13
　[共有] シート 17
　共有プリンタに設定する 6
　[詳細設定] シート 18
　[セキュリティ] シート 19
　[全般] シート 17
　[デバイスの設定] シート 19
　プリンタドライバの選択 3
　[プロパティ] ダイアログボックス 7
　[ポート] シート 18
　ユーザー定義用紙サイズの登録 22
　用紙サイズについて 16
　[用紙 / 品質] シート 12
　[レイアウト] シート 11

オ

オンラインマニュアルの使い方 v

カ

拡張制御コード表 107
カスタマバーコード
　～の印刷位置 124
　～のコード体系 121
　～のフォーマット 119
　フォントを指定する制御コード 119
　～を印刷する 119
漢字コード表 99

キ

技術情報 95
基本制御コード表 106

シ

新制御コードのコマンド仕様 110

セ

制御コード一覧 106

テ

テスト印刷サンプル 104

ト

特殊文字の印刷 114

ハ

バーコード
　～印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意 117
　カスタマバーコード 119
　指令の概要 116
　制御コード 114
　～の概要 116
　～の種類 116
　～の横の長さ 117
　～を印刷する 114
はじめに iv

フ

プリンタドライバ
　Windows Me/98 日本語版 24
　Windows NT 4.0 日本語版 43
　Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 2

マ

マニュアルの構成 iv

モ

文字コード表 96

リ

リモートパネル
　システムメニュー 69
　設定変更手順 74
　ツールバー 72
　～の起動 68
　～の使い方 69
　プロパティシート 73
　メニューバー 70